

静岡県立美術館

第三者評価委員会評価報告書

平成 31 年 3 月

静岡県立美術館第三者評価委員会

目次

はじめに	1
------------	---

【報告編】

1 静岡県立美術館第三者評価委員会について	2
2 平成 29 年度 静岡県立美術館第三者評価委員会評価総括表	5
2-1 基本方針別自己評価	7

【資料編】

1 展覧会に関する自己点検評価表（平成 29 年度）	11
2 調査・研究に関する自己点検評価報告書（平成 29 年度）	17
3 定性評価の状況（平成 29 年度）	28
4 静岡県立美術館評価業務 報告書（平成 30 年 3 月）	37
5 平成 29 年度第三者評価委員会での意見と対応状況	134
6 平成 29 年度設置者の取組状況	137

はじめに

本委員会は、評価を通じて静岡県立美術館の自律的かつ継続的な運営改善を推進することを目的として、平成 18 年 9 月に発足しました。

本委員会の使命は三つあります。第一は、県立美術館が自ら行う自己評価（一次評価）に対して、外部の視点から二次評価することです。第二には、美術館に対する県庁（本庁）の支援体制を委員会が独自の視点に立って評価することです。第三は、美術館の運営及び評価の方法について、次年度の改善に向けた提言をすることです。

本年度の活動としては、平成 30 年 8 月に第三者評価委員会を開催し、平成 29 年度の美術館自己評価に対する二次評価、設置者の取組に対する意見、今後の改善課題について討議しました。この報告書はその結果に基づき作成したものです。

本報告書が県庁と県立美術館のますますの発展と充実に資することを願います。

平成 31 年 3 月

静岡県立美術館第三者評価委員会

委員長 村田 眞宏

1 静岡県立美術館第三者評価委員会について

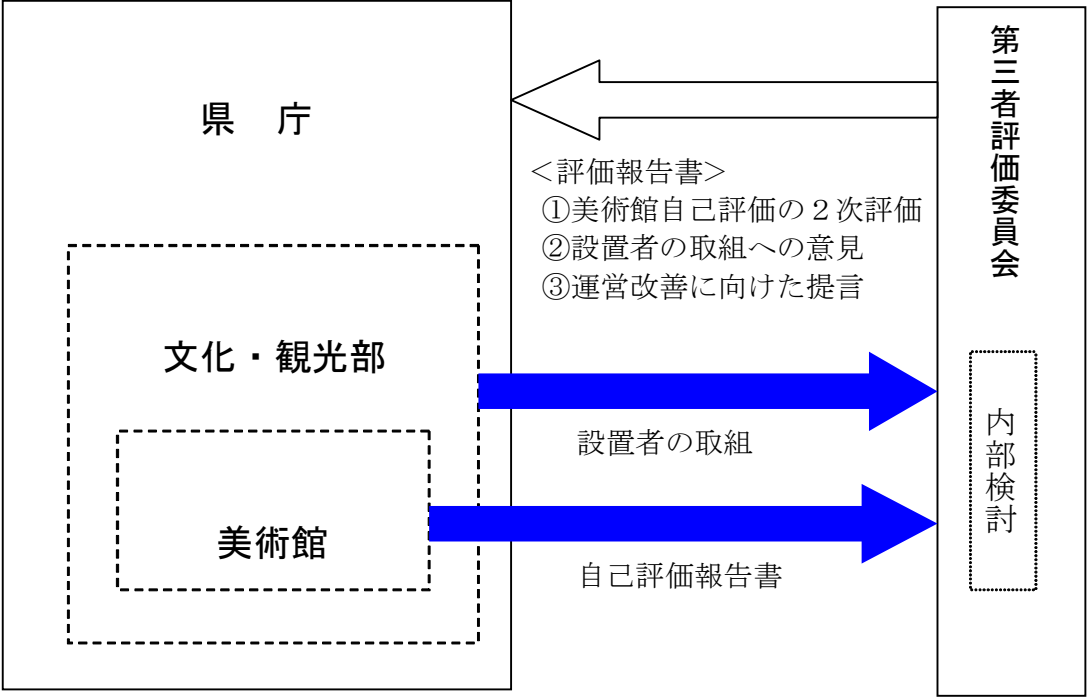
静岡県立美術館第三者評価委員会委員名簿（敬称略、五十音順）

	候補者	役職
委員長	むらた まさひろ 村田 眞宏	豊田市美術館館長
委員	かみやま まり 神山 眞理	日本大学教授
〃	きんばら ひろゆき 金原 宏行	一般財団法人名都美術館理事
〃	たなか ひらき 田中 啓	静岡文化芸術大学教授
〃	さくらい とおる 櫻井 透	公益財団法人静岡県産業振興財団理事長
〃	やまぐち ゆみ 山口 裕美	株式会社 YY ARTS 代表

平成 28 年度の活動

会議名等	内容等
第 1 回第三者評価委員会	日時：平成 30 年 8 月 7 日（火）13:30～16:30 会場：静岡県立美術館 講座室ほか 内容：（1）平成 29 年度の取組に対する評価 （2）企画展視察

評価システム全体図（第三者評価委員会の位置付け）



静岡県立美術館第三者評価委員会設置要綱

(設置)

第1条 静岡県立美術館（以下「美術館」という。）では、より良いサービスの提供を図るため、事業の運営等の効果について、多面的かつ客観的な測定・評価を行う自己評価活動を実施しているが、美術館の自律的かつ継続的な運営改善を推進するため、美術館の自己評価及び県庁の支援体制等を第三者の視点から評価する「静岡県立美術館第三者評価委員会」（以下「委員会」という。）を設置する。

(所掌事務)

第2条 委員会は、次に掲げる事項を所管する。

- (1) 美術館の自己評価に対する2次評価
- (2) 県庁の支援体制等に関する評価
- (3) 評価結果の報告及びそれに基づく美術館の運営改善に向けた提言
- (4) その他、この委員会の目的達成に関すること

(委員)

第3条 委員は、知事が委嘱する。

2 委員の人数は、10名以内とする。

3 委員の任期は2年とする。ただし、その委員が欠けた場合における補欠の委員の任期は、前任者の残任期間とする。

4 委員は、再任されることができる。

(委員長)

第4条 委員会に、委員長1人を置く。

2 委員長は、知事が指名する。

3 委員長は、会務を総理し、会議の議長となる。

(会議)

第5条 委員会は、委員長が招集する。

2 委員会は公開とし、その傍聴に関して必要な事項は、別に定める。

3 委員会は、必要に応じて個別課題検討のための分科会を置くことができる。

4 委員会及び分科会には、委員以外の者に出席を求めることができる。

(事務局)

第6条 委員会の事務を処理するため、事務局を静岡県文化・観光部文化政策課内に置く。

(その他)

第7条 この要綱に定めるもののほか、委員会の運営に必要な事項は、委員長が別に定める。

附 則

1 この要綱は、平成18年9月21日から施行する。

2 この要綱の施行の日に委嘱する委員の任期は、第3条第3項の規定にかかわらず、平成20年3月31日までとする。

(最終改正 平成23年6月17日)

【使命】＝美術館のめざす姿
 静岡県立美術館は、創造的で多様性に富んだ社会を実現していくために存在します。
 そのためにコレクションを基盤として人々が美術と出会い新たな価値を見出す体験の場をより多く提供するとともに、地域をパートナーと考える経営を行い、日本の新しい公立美術館となります。

基本方針	計画(P)			実施状況(D)		評価(C)	
	重点目標	評価指標	目標	実績		自己評価	第三者評価
A 人々の感性を豊かにし、生活に新たな感動をもたらすような展覧会を開催します	1 新たな視点や工夫に基づく企画展を積極的に開催します	1 展覧会の来館者数(人)	166,000 人	164,861 人	【成果】 ・利用者の多様なニーズに応えるため、様々な種類の展覧会をバランス良く開催した。「展覧会の来館者数」は、目標には僅かに及ばなかったが、16万人余の多くの方に充実した作品をご覧いただけた。 ・なかでも、「美しき庭園画の世界」展は、学芸員の研究を生かした充実した内容となり、「展覧会に対する外部評価【定性】」でも、高い評価を得た。 ・展覧会の研究的・質的な内容を評価する「調査研究に関する外部評価【定性】」では、一定の成果が評価され、また来館者の満足度を示す「作品やテーマに興味を持った割合」では、目標の88.0%には及ばなかったが、84.0%という高い数値を得た。 ・「展覧会における新規来館者の割合」は、目標20.0%に対して、25.5%を達成することができた。この要因としては、「直虎展」の県西部に対する広報が成功したことが大きい。 ・「収蔵品展の観覧者数」は、目標の12,000人に対して、13,503人を達成することができ、学芸員の日ごろの研究にもとづく充実した内容の展示が評価された。 【課題】 ・「展覧会の来館者数」は、目標166,000人には僅かに及ばず、実績値164,861人で、今後の広報戦略等に課題を残した。 ・独自性の高い展覧会において、その意義を広く伝えることは難しいが、その方法について検討していく必要がある。	・県立美術館のコレクションの目玉となるような作品について、県民の認知度を高めるための取組が必要である。(山口18) ・展覧会毎にターゲットとなる年代を設定し、内容の企画や広報手段の選択を行うべきではないか。(山口22) ・チームとして展覧会の準備や広報に取組むという体制は日本の公立美術館に欠けている。(村田25)	
		2 自主企画・企画参加型の展覧会の回数(回)	4 回	2 回			
		3 作品やテーマに興味を持った人の割合(%)	88.0 %	84.0 %			
		4 展覧会における新規来館者の割合(%)	20.0 %	25.5 %			
		5 展覧会に対する外部評価【定性】	—				
	2 他の美術館・大学との連携を進め、企画力を強化します	6 調査研究の発表回数(回)	15 回	10 回			
		7 内部セミナー・研究会・研修の回数(回)	14 回	10 回			
		8 他の美術館や大学と連携した取組件数(回)	5 回	3 回			
		9 調査研究に関する外部評価【定性】	—				
	3 特徴あるコレクションを形成し、効果的に活用します	10 収蔵品展の観覧者数	12,000 人	13,503 人			
		11 収蔵品の公開件数	500 件	340 件			
		12 作品購入件数・価格(件・千円)	— 千円	2 件 500 千円			
		13 作品寄贈件数・価格(件・千円)	10 件	7 件 42,500 千円			
		14 公開・貸し出した展覧会における学芸員のレポート【定性】	—				
B 地域や学校教育との連携を深め、質の高い芸術教育と普及活動を展開します	1 質の高い芸術教育と普及のプログラムを開発します	15 学校教育と連携した取組数(件)	300 件	214 件	【成果】 ・学校との連携を強化するため、学校向けプログラムの充実を図り、参加校の高い満足度を得た。 ・「講演会等の開催件数」では、目標値160回に対して、153回と微減はしたが、学芸員による講座に加えて、作家を交えたトークなど来館者のニーズに対応した様々なプログラムを実施した。また実技プログラム参加者を展示室に誘う試みも行った。 ・「地域住民と連携した取組数」では、昨年度同様6件を実施。草薙地域を中心とした「まちづくり」の検討会や様々な取組に参加し、ビジョン策定に積極的に取り組んだ。 ・「館内空間を利用した催事の件数・参加者数」でも、目標の5,000人に対して、10,328人の実績を得ることができた。 【課題】 ・「新指導要領」に従い、これまで以上に、学校との連携を強化するための取組を積極的に行なっていくことが課題である。 ・引き続き、利用者のニーズに対応した多様で充実した教育普及プログラムを実施していく必要がある。 ・今後も、中長期的な視点に立ち、草薙地域を中心とした「まちづくり」のビジョン策定に積極的に参加していく必要がある。	・文教地区である草薙地区のまちづくりの主体は、県立美術館、県立大学やSPACであり、美術館としても積極的に提案していく必要がある。(櫻井15)	
		16 鑑賞系プログラム数(件)	20 件	22 件			
		17 コレクションを活用したプログラム数(件)	20 件	20 件			
		18 普及・教育プログラムに関する美術館職員のレポート【定性】	—				
	2 講座・講演会・シンポジウム・演奏会等を充実します	19 講演会等の開催件数(回)	160 回	153 回			
		20 学芸員のフロアレクチャー等の数(回)	120 回	97 回			
	3 地域住民、企業、NPO等と連携した美術館活動を充実します	21 地域住民等と連携した取組数(件)	6 件	6 件			
		22 館内空間を生かした催事の件数・参加者数(件・人)	90 件 5,000 人	60 件 10,328 人			
		23 地域空間、住民等と連携した取組に関する職員レポート【定性】	—				

C さらに積極的な広報を工夫し、美術館活動の情報発信に努めます	1	広報戦略を策定し、広報の質を高めます	24	美術館に関する情報が「入手しやすい」とする人の割合(%)	70.0	%	71.9	%	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ホームページをリニューアルし、ロダン館のページや館蔵品データベースについても、スマートフォン対応としたことで、「美術館に関する情報が「入手しやすい」とする人の割合は、目標の70.0%を達成することができ、アクセス件数も、目標を大きく上回る1,108,771件に達した。 ・「観光業界や他のイベントとの広報連携の取組数」では、草薙・有度地域を中心とした様々な取組やイベントに積極的に参加し、美術館の広報を展開するなど、目標7件に対して、9件の実績を得た。 ・「ロダン・ウィーク」が定着し、8,000人を超える集客を得たことは、ロダン館の認知度を高めることに貢献したといえる。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・SNSなどの急速な普及により、情報発信の媒体が多様化しており、多様なニーズに応じた発信方法を検討する必要がある。 ・草薙駅周辺の再開発に積極的に参加し、「美術館のある町」づくりを進め、観光との連携を図ることが今後の課題である。 ・「丘の上のロダンマルシェ」には多くの方が参加したが、それを美術館内に誘うことが大きな課題である。 		
			25	ホームページのアクセス件数(件)	600,000	件	1,108,771	件			
			26	ホームページの満足度(%)	75.0	%	72.7	%			
	2	観光業界等と連携した新たな広報チャンネルの開拓に取り組みます	27	観光業界や他のイベントとの広報連携の取組数(件)	7	件	9	件			
			28	広報手法における新たな取組状況に関しての美術館職員のレポート【定性】	—						
	3	ロダン館の認知度を高め、来館者を増やします	29	ロダン館の入場者数(人)	80,000	人	88,528	人			
	D 常に施設の改善に努め、美術館の快適度を高めていきます	1	館内施設を充実させ、満足度を高めます	30	美術館利用者数(人)	282,028	人	286,651		人	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「美術館利用者数」は、目標282,028人を超え、286,651人に達したことは、大きな成果である。展示会の観覧者数のみならず、広く美術館を利用した方が多かったということは、それだけ美術館が県民をはじめとする多くの方に愛されているということの証左である。 ・展示室温湿度環境の改善等に向けた本館展示室内装断熱改修工事及び展示ケース内照明等をLED照明に更新する工事をはじめとして、美術館の維持・管理の根幹にかかわる重要な工事に着手することができた。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・昨年度の「美術館利用者数」の目標は、254,800人で、実績は316,223人である。今年度は、昨年度の実績数値を下回っており、今後も、継続して広く利用者に愛される美術館を目指して取り組んでいくことが課題である。 ・「レストラン・カフェに対する満足度」については、目標75.0%に対して73.2%と目標値を若干下回る結果となり、メニューや接客などを含めたサービスの改善を図ることが課題である。 ・開館から30年が経過して、施設の老朽化が随所に見受けられる。今後は、工事計画を立てて、必要な工事にかかわる検討を進めていくことが課題である。
				31	鑑賞環境に対する満足度(%)	90.0	%	86.9		%	
32				レストラン・カフェに対する満足度(%)	75.0	%	73.2	%			
33				ミュージアムショップに対する満足度(%)	85.0	%	90.5	%			
2		周辺環境やアクセスリ便を向上させます	34	来館者のアクセス満足度(%)※再掲 ※上段：公共交通機関利用、下段：自家用車利用	80.0 80.0	%	72.5 62.6	%			
設置者の取組	取組の状況				第三者評価委員意見						
	<ul style="list-style-type: none"> ・美術館企画展等の広報において、報道機関への情報提供や他県への周知等を行い協力した。 ・県立美術館、グランシップ、SPACの三館が連携して、今後の企画事業等を共同で実施するよう、推進役として三館の協議の場を設けた。 ・月1回開催されている美術館企画運営会議に文化政策課長又は課長代理が出席して情報共有を図った。 ・美術館の広報委員会に担当職員が出席し、「県民だより」等の広報媒体の情報共有を図った。 ・経年化に伴い不具合が生じている施設・設備の更新を計画的に実施している。 ・今後予定している大規模修繕の内容について、美術館と協議して詳細の検討を行った。 ・県内中学生を対象とする芸術鑑賞推進事業を実施し、美術館展示会を鑑賞する機会を提供した。 				<ul style="list-style-type: none"> ・県立美術館のアイデンティティについて、設置者である県の認識や、県民の持つイメージを把握する必要がある。(村田18) ・開館後30年間の館の総括的な評価を行い、今後取り組むべき課題を検討するべきではないか。(村田21) ・文化振興基本計画に基づき美術館の姿を中長期的に描いたうえで、年度ごとの工程表を作成して評価を行うことが望ましい。(櫻井21) 						

基本方針	A 人々の感性を豊かにし、生活に新たな感動をもたらすような展覧会を開催します
------	--

計画(P)			実施状況(D) H30.3.31現在			評価(C)
重点目標	評価指標	目標	実績	担当	特記事項	自己評価
1 新たな視点や工夫に基づく企画展を積極的に開催します	1 展覧会の来館者数(人)	166,000 人	164,861 人	三谷	◆は、自主企画・企画参加型展覧会。 ※収蔵品の公開件数は、 ・収蔵品展(7室+名品コーナー) <232件> ・企画展「庭園画展」<5件> ・企画展「アートのかなぞ」<23件> ・他館への貸出件数 <80件>を合計したものである。	【成果】 ・人気の高い文明展である「黄金のファラオと大ピラミッド」展、テレビ番組とのタイアップにより郷土の歴史を見直す「戦国！井伊直虎から直政へ」展、学芸員の研究成果を活かした「美しき庭園画の世界」展、名高い個人コレクションと当館コレクションを併せて展示し、オリジナリティのある現代美術展となった「アートのなぞなぞ」展というように、本年度も多様な内容の展覧会をバランス良く展開することができた。 ・「黄金のファラオと大ピラミッド」展では、入場者数の多さにもかかわらず、館内の協力により混乱無く誘導することができた。 ・学芸員の研究成果を活かした「美しき庭園画の世界」展は、とりわけ日本美術専門家の高い評価を得ることができた。 【課題】 ・「美しき庭園画の世界」展や「アートのなぞなぞ」展は、当館ならではのオリジナルな展覧会であり、運営上大きな意義があるが、そのオリジナリティを広く伝える努力を今後行っていくことが求められる点が認識された。 ・「戦国！井伊直虎から直政へ」展は、連携したテレビ番組の視聴者層と本展のような歴史系展覧会の愛好者層とが必ずしも重なっておらず、こうしたずれが誘客にも影響するため、今後同種の展覧会を開催することがあれば、このような点にも対処が必要と考えられる。 ・展覧会広報におけるSNS利用のあり方について、今後も研究していくことが必要と思われた。
	黄金のファラオと大ピラミッド(69日間)	80,000 人	93,098 人			
	戦国! 井伊直虎から直政へ(52日間)	40,000 人	32,624 人			
	◆美しき庭園画の世界(44日間)	10,000 人	7,116 人			
	◆アートのなぞなぞ(54日間)	14,000 人	10,982 人			
	収蔵品展	12,000 人	13,503 人			
	移動美術展	10,000 人	7,538 人			
	2 自主企画・企画参加型の展覧会の回数(回)	4 回	2 回			
	3 作品やテーマに興味を持った人の割合(%)	88.0 %	84.0 %			
	4 展覧会における新規来館者の割合(%)	20.0 %	25.5 %			
5 展覧会に対する外部評価【定性】	—	別添				
2 他の美術館・大学との連携を進め、企画力を強化します	6 調査研究の発表回数(回)	15 回	10 回	三谷	【成果】 ・館長出席のもと、学芸員による研究会をほぼ毎月のペースで実施し、コレクションについての研究を深めた。 ・7については6と同じ。 ・8については、以下の3件。①静岡大学ロダン館活用授業への協力②静岡県博物館協会事務局としての活動③静岡県立大学の展覧会見学授業の実施など、当館だけではできない事業を推進することができた。 ・9については、学芸員の調査研究に対して一定の成果が評価され、今後の活動の指針として活用されている。 【課題】 ・コレクションの形成と収蔵品展の充実のため、学芸員の研究をさらに深める必要がある。	
	7 内部セミナー・研究会・研修の回数(回)	14 回	10 回			
	8 他の美術館や大学と連携した取り組み件数(回)	5 回	3 回			
	9 調査研究に関する外部評価【定性】	—	別添	村上		
3 特徴あるコレクションを形成し、効果的に活用します	10 収蔵品展の観覧者数(人)	12,000 人	13,503 人	泰井 南	【成果】 ・日頃の学芸員の研究をもとに内容の充実した特色のある収蔵品展を開催した。 ・富士山をモチーフとした作品の購入、寄贈に加えて、現代美術の優れた作品が寄贈された。 ・寄贈が、質と量ともに充実してきており、当館コレクションの核となりつつある。 【課題】 ・充実したコレクション形成と収蔵品展の開催には、学芸員の研究の継続と質を保つことが重要である。 ・購入についての継続的な予算化を図るとともに、寄贈についても、質の高い作品を収集していくことが今後も課題である。	
	11 収蔵品の公開件数(件)	15 回	340 回			
	12 作品購入件数・価格(件・千円)	— 千円	2 千円 500 円			
	13 作品寄贈件数・価格(件・千円)	10 件	7 千円 42,500 円			
	14 公開・貸し出した展覧会における学芸員のレポート【定性】	—	別添			

基本方針	B 地域や学校教育との連携を深め、質の高い芸術教育と普及活動を展開します
------	--------------------------------------

計画(P)			実施状況(D) H30.3.31現在			評価(C)
重点目標	評価指標	目標	実績	担当	特記事項	自己評価
1 質の高い芸術教育と普及のプログラムを開発します	15 学校教育と連携した取り組み数	300 件	214 件	石津	※プログラムの内訳は、別紙。	【成果】 ・学校向け美術館教室「ねんど教室」「えのぐ教室」は参加希望校も多く、実施後のアンケートからも高い満足度を保つことができています。 ・後期から、観覧予定のなかった「ねんど教室」参加団体に声をかけ、教室終了後に短時間の展覧会観覧の時間を確保してもらい展示室へ誘導した。当初観覧予定のなかった全団体が観覧を行った。 【課題】 ・学校向け「ボランティアスタッフとの鑑賞」プログラム参加校や県文化政策課主催「こどもたちの文化芸術鑑賞推進事業」での美術館来館希望校は減少傾向にある。 ・「美術館アートカード」の貸出は、H27年度の貸出開始時から、H28年度は大幅に利用校・利用者数が増加したが、H29年度は微減となった。
	16 鑑賞系プログラム数	20 件	22 件			
	17 コレクションを活用したプログラム数	20 件	20 件			
	18 普及・教育プログラムに関する美術館職員のレポート【定性】	—	別添			
2 講座・講演会・シンポジウム・演奏会等を充実します	19 講演会等の開催件数	160 回	153 回	石上	※数値内訳 No.20＝美術講座(8回)+フロアレクチャー(32回)+オリエンテーション(42回)+出張美術講座(13回)+展覧会関連普及事業(2回) No.19＝上記+特別講演会・シンポジウム(7回)+ボランティア等によるギャラリーツアー(49回)	【成果】 ・学芸員による講座やトークのほか、作家を交えたアーティストトークや対談など様々な形式を試みた。 ・展覧会関連事業として、シネギャラリーとのコラボ企画やコンサートなどを行った。 【課題】 ・昨年度は開館30周年記念として講義系イベントを強化した実績があり、比較して今年度の実施回数は若干の減少となった。 ・引き続き、展覧会の内容に対応しつつ利用者のニーズに適応したプログラムを工夫する。加えて、多彩な形式による講座や講演会のあり方を検討・試行する。
	20 学芸員のフロアレクチャー等の数	120 回	97 回			
3 地域住民、企業、NPO等と連携した美術館活動を充実します	21 地域住民等と連携した取組数	6 件	6 件	松下	・地域住民と連携した取組に関する詳細は、【定性レポート】を参照。 ・館内空間を生かした催事については、本館エントランスを使用した「ちょこっと体験」実施、「ドット若冲マス目掻き」の作品展示、「めぐるりアート」の展示、ボランティアによるロダン館ギャラリーツアーを実施した。	【成果】 ・地域住民と連携した取組としては、「産・官・学・民」が一体となって草薙駅周辺のまちづくりの検討を行う「草薙駅周辺まちづくり検討会議」に参加し、「まちづくりビジョン」の実現化のための検討を続けている。 ・また、草薙商店会企画の「つながるくさなぎ」に参加し、夏フェス・冬フェスにて実技体験講座を開催した。 ・県大・県立図書館・美術館など、ムセイオン静岡参加施設を紹介する「ふじのくに文化の丘フェスタ2017」に参加し、静岡県立大学などとの共同事業を引き続き実施した。 ・館内空間を生かした催事は、ちょこっと体験2,384人、めぐるりアート7,435人、ギャラリーツアー509人の参加者があり、目標数値大幅に超える成果を得た。 【課題】 ・地域住民と連携した取組については、美術館を核とした地域づくりに努め、様々な取組を定着させるべく努力していくことが課題である。 ・ロダン館内部空間を利用した催事では、他の観覧客が観覧制限を受けたり、普段生じない騒音が発生したりするため苦情が発生するケースがある。催事と観覧客の調整が重要課題となる。
	22 館内空間を生かした催事の件数・参加者数	90 件 5,000 人	60 件 10,328 人			
	23 地域住民等と連携した取組に関する職員レポート【定性】	—	別添			

基本方針	C さらに積極的な広報を工夫し、美術館活動の情報発信に努めます
------	---------------------------------

計画(P)			実施状況(D) H30.3.31現在			評価(C)
重点目標	評価指標	目標	実績	担当	特記事項	自己評価
1 広報戦略を策定し、広報の質を高めます	24 美術館に関する情報が「入手しやすい」とする人の割合	70.0 %	71.9 %	浦澤	<ul style="list-style-type: none"> ・展覧会・イベントについての情報や来館案内をホームページに掲載。 ・フェイスブック、インスタグラムなどのSNSやブログも活用しており、随時、情報発信を行った。 ・開館30周年を機にホームページの全面的なリニューアルを行った。 	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成28年度中にリニューアル作業を進めたホームページを本年度直前に公開した。概ね好評を博しており、特にデザイン面においては、一般のみならず、他の美術館からも評価をいただくことができた。その結果、アクセス件数で目標600,000件を大きく上回る1,108,771件を達成することにつながった。 ・前年度の作業に盛り込めなかった、ロダン館ページおよび館蔵品データベースについても、スマートフォン対応表示を含む全面リニューアルを行い本年度末に公開することができた。 ・本年度から試験的にTwitterの運用も開始した。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ホームページ、ブログ、SNSと情報発信の手段が多様化しており、用途に応じた使い分けや、今後の運営体制を整える必要がある。
	25 ホームページのアクセス件数	600,000 件	1,108,771 件			
	26 ホームページの満足度	75.0 %	72.7 %			
2 観光業界等と連携した新たな広報チャンネルの開拓に取り組みます	27 観光業界や他のイベントとの広報連携の取組数	7 件	9 件	松下	<ul style="list-style-type: none"> ・観光業界や他のイベントとの広報連携の取組 「有度山フレンドシップ協定」 「静岡大学ロダン館ギャラリートーク」 「草薙商店会等との協働」 「草薙駅周辺まちづくり検討会議」 「企画展における企業との連携」 「ムセイオン静岡」 「めぐりアート静岡」 「JR東海さわやかウォーキング」 「ふじのくに文化の丘フェスタ2017」 詳細は【定性レポート】を参照。 	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「有度山フレンドシップ協定」参加施設による地域を一体とした誘客PR(大商談会)、草薙商店会との連携(つながるくさなぎフェス、マルシェ)、JR東海の草薙駅周辺地区のまちづくり検討会議への参加等を行った。 ・展覧会ごとに、新たな広報に向けた会議やイベントの実施、チラシの配布、企業の協力要請など、様々な取組を実施し、積極的な広報を展開した。 ・平成28年度にリニューアルしたホームページを活用した情報発信に加え、フェイスブックやインスタグラムにより若年層に対する発信を強化した。様々な媒体を用いて積極的な広報を実施した。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・観光業界や他のイベントとの広報連携については、美術館単独では静岡県外の誘客を図ることが困難なため、「有度山フレンドシップ協定」参加施設により協働する。
	28 広報手法における新たな取組状況に関しての美術館職員のレポート【定性】	—				
3 ロダン館の認知度を高め、来館者を増やします	29 ロダン館の入場者数	80,000 人	88,528 人	松下	<p>平成29年(2017)がロダン没後100年に当たることから、地域や大学等と連携しロダン館を一層活性化させるために平成26年度から開催している「ロダンウィーク」をその記念事業の一環と位置づけて開催した。</p> <p>また、ロダンの命日である11月17日からは、芳賀徹名誉館長の記念講演やロダンの弟子でもあるカミーユクローデルを題材にした朗読・音楽・パフォーマンスの公演をロダン館内で開催しロダン館の全国的認知の向上を図った。</p>	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・例年開催しているロダン賞コンサート、静岡大学によるパフォーマンス、丘の上のロダンマルシェなどが地域に定着してきており、8,000人を超える集客があり、ロダン館を中心にした地域の賑わい創りを創造することができた。 ・ロダン没後100年記念事業として開催した「ワルツ」公演では、県外からの観覧者が多く、またNHK「日曜美術館」でも取り上げられる等全国的認知度の向上が図られた。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「丘の上のロダンマルシェ」等の屋外イベント参加者を美術館内へ誘導させる仕組みがほとんどなく、イベントと美術館展示との相乗効果が十分に発揮できていない。 ・ロダン館における大規模イベントの設営準備、リハーサル等に係る効率的な運営方法の検討することが課題である。 ・夜間帯イベントにおける来館者の交通手段の案内、確保方法の検討することが課題である。

基本方針	D 常に施設の改善に努め、美術館の快適度を高めていきます
------	------------------------------

計画(P)			実施状況(D) H30.3.31現在			評価(C)
重点目標	評価指標	目標	実績	担当	特記事項	自己評価
1 館内施設を充実させ、満足度を高めます	30 美術館利用者数	282,028 人	286,651 人	伊藤	平成29年度は次の工事(小規模を除く)を行った。 ・本館冷温水発生機他更新工事 ・本館展示室内装断熱改修工事(施工中) ・本館展示室他照明改修工事(施工中)	【成果】 ・特記事項に記したとおり本館冷温水発生機他更新工事を実施し、展示室温湿度環境の改善等に向けた本館展示室内装断熱改修工事及び展示ケース内照明等をLED照明に更新する本館展示室他照明改修工事を実施中である。その他に必要な改修工事等を実施し、良好な施設・設備の維持管理に努めた。 ・屋外の園地緑地環境についても、計画的な植栽・池の管理など委託業者等と連携して良好な環境整備に努めた。 ・レストラン・カフェの満足度は昨年度の76.7%から今年度は73.2%に低下し、目標75.0%を下回った。 ミュージアムショップの満足度は90.5%で昨年度の92.9%からわずかに低下したものの目標値85.0%は上回った。特に企画展に合わせて商品のレイアウトの工夫し、お客様の満足度向上に努めた。 【課題】 当館は開館から30年以上が経過し、経年劣化等により建築及び各設備に多くの不具合が生じている。このため中長期的には建築及び各設備の大規模改修計画の具体化に向けて検討を進めている。短期的には劣化診断結果等をもとに、大規模改修計画の検討状況を踏まえつつ、緊急度の高い施設・設備の修繕等を計画的に実施する。 ・レストラン・カフェの運営については、新たな委託業者に営業を委託しているが、美術館レストランとして質の高いサービスの提供に努め、一層のお客様のニーズの把握に努めることが求められる。
	◆展覧会観覧者数	156,000 人	157,323 人			
	◆移動美術展	10,000 人	7,538 人			
	◆教育普及プログラム参加者数	27,028 人	31,241 人			
	◆ミュージアムコンサート入場者数	200 人	560 人			
	◆県民ギャラリー入場者数	40,000 人	35,774 人			
	◆講堂入場者数	8,000 人	7,827 人			
	◆レストラン・カフェ利用者数	20,000 人	28,527 人			
	◆ミュージアムショップ利用者数	20,000 人	17,287 人			
	◆図書閲覧室利用者数	800 人	574 人			
31 鑑賞環境に対する満足度	90.0 %	86.9 %				
32 レストラン・カフェに対する満足度	75.0 %	73.2 %				
33 ミュージアムショップに対する満足度	85.0 %	90.5 %				
2 周辺環境やアクセスしやすさを向上させます	34 来館者のアクセス満足度 ※上段:公共交通機関利用 下段:自家用車利用	80.0 %	72.5 % 62.6 %	伊藤	【成果】 ・当館への利用交通機関で最も多い自家用車でのアクセス満足度は62.6%と目標値80.0%には達しなかった。来館者の多い企画展、ゴールデンウィークやロダンウィーク等のイベントの際には、交通渋滞を招かないように隣接する県立大学の職員駐車場の借用、交通誘導員を配置などの対応を行った。 【課題】 ・自家用車・公共交通機関ともアクセス満足度は目標値を下回った。自家用車利用者のアクセスについては、敷地内に無料の駐車場があるものの、収容台数が約400台と限られているために近くの駐車場から順次満車になり、駐車できるまでに時間がかかるうえ、美術館までの徒歩区間が長くなってしまふことがアクセスに満足できない要因になっていると思われる。公共交通機関を利用される場合についてはお客様からのアクセスに関する問合せに対して、「JR草薙駅から運行する100円バスを利用するのが便利であること」を引き続き周知するよう配慮しているものの、来館者の多い日曜日と祝日の運行が1時間間隔(平日及び土曜日は30分間隔)であることなどが影響していると考えられる。今後はバス会社への増便等の協力要請を含め対策を検討する必要がある。	

【資料編】

展覧会に関する自己点検評価表（平成 29 年度）

- 1 「戦国！井伊直虎から直政へ」展
- 2 「美しき庭園画の世界」展
- 3 「アートのなぞなぞ—高橋コレクション」展

(様式1)

展覧会自己点検評価表

展覧会名	2017年NHK大河ドラマ「おんな城主 直虎」特別展 戦国！井伊直虎から直政へ
------	--

期 間	8月14日(月)～10月12日(木) (52日間)
場 所	静岡県立美術館第1～6展示室

担当者名	石上充代
------	------

学芸員の企画への参加の有無	有・無	学芸員の企画への参加状況 ※カタログ執筆、出品交渉等	有・無
マスコミ等による共催の有無	有・無	巡回の有無	有・無

記入日	企画	2017年5月31日(水)
	実績	2017年12月26日(火)

企画		実績・検証	
目的・内容	<p>・2017年NHK大河ドラマ「おんな城主 直虎」の関連展。戦国時代後期に遠江・井伊谷(いいのや)の領主となった井伊直虎と、その跡継ぎでのちに彦根藩井伊家の祖となった直政を軸に、戦国期の遠江・駿河の歴史を掘り起こしつつ、動乱の時代をたどる。</p> <p>1章 今川、武田、織田など周辺の有力戦国大名の動向を紹介し、当時の井伊谷が置かれた状況を浮き彫りにする。</p> <p>2章 今に伝わる数少ない直虎関連資料を展観、あわせて平安以来の名門・井伊氏の歴史をたどる。</p> <p>3章 井伊直政が仕えた徳川家康と、直政含む「徳川四天王」の活躍を、合戦にまつわる資料、武具などから紹介する。</p> <p>4章 「井伊の赤備え」から彦根城築城資料まで、戦国の世の終焉と井伊家の発展を物語る歴史資料を展観する。</p>	【研究活動評価委員会からの意見(要約)】 (評価対象外)	
期待される成果 ・ねらい ・主なターゲット	<p>【ねらい】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・戦国時代の遠江・駿河に関する歴史について、初公開資料を交えて紹介する。これまで詳しく紹介されることの少なかった地域の歴史を見直し、今日に伝わる貴重な文化財を知る機会とする。 ・当館で展示機会の少ない歴史資料について、多数の重要文化財作品を含めて展観する。 <p>【ターゲット】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中・西部地域を中心とした県内居住者 ・歴史に興味のある中高年層の男性 	【アンケートにみる特徴】	<ul style="list-style-type: none"> ・男女比は男性38.0%、女性62.0%であり、当館の標準的な数値であった(28平均男性37.8%、女性62.1%)。年齢層は40歳代が23.6%、50歳代が22.6%と多く、これ以外は特に高年齢層に偏ることもなかった。結果として当初想定したターゲット層とはズレがあったが、大河ドラマそのものが典型的な歴史ファンに向けた作りではなかったことが、これらの来館者属性にも反映していると考えられる。 ・県西部地域からの来館者は31.5%。静岡市内の33.2%に拮抗する数値であり、この点は見込み通りといえる。 ・全体満足度の肯定的回答は82.0%とやや低めであった(28平均88.6%、27平均90.3%)。一方で、作品やテーマへの興味・関心の深まりは89.6%と良好な数値であった(28平均88.4%、27平均84.7%)。
指標(数値目標)	観覧者数見込 40,000人	観覧者数 32,624人(対見込81.6%)	
収支計画	<ul style="list-style-type: none"> ・歳出 20,000千円 ・歳入 21,628千円 ・特財率 108.1% 	<ul style="list-style-type: none"> ・歳出 19,243千円 ・歳入 15,064千円 ・特財率 79.1% 	
広報戦略 主な取組	<ul style="list-style-type: none"> ・NHK静岡放送局の広報力を生かして、大河ドラマ視聴者を中心とした本展に興味を持つ層にアピールする。 ・静岡西部地域に強い中日新聞を通して、ご当地である浜松方面からの誘客を図る。 ・静岡の歴史・文化に触れる好機であることから、学校の団体観覧を促すための情報提供を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・主催の企画であるNHK静岡放送局が、情報番組や自社事業広報枠を活用して積極的な広報を行った。 ・同じく主催者の中日新聞東海本社は、作品紹介連載や紙面広告を通して積極的な広報を展開し、会期前から終了直前まで紙面への露出機会は多かった。 ・開会式に列席した「直虎ちゃん」「家康くん」「ひこにゃん」のほか、会期後半には「今川さん」の来場機会をつくり、内容に関連したゆるキャラの登場で広報契機を作った。 	
自己評価 今後の課題	<p>・当県の知られざる戦国時代の歴史を掘り起こす展覧会であり、大河ドラマの主要な舞台となった県西部、関連地域である県中部の歴史文物を多数紹介することができた。地域の歴史に直結した文化的貢献ができ、県立館としてこれを開催できた意義は大きい。</p> <p>・集客面では目標を達成できなかった。戦国から江戸初期までを扱う展覧会の内容は決して地味なものではなかったが、「井伊直虎」というマイナーな人物から、出品作の具体的なイメージが浮かびづらかったことも一因かもしれない。ただし、巡回3会場の合計入場者数は約12万人で、日割入場者でいえば歴代の大河ドラマ展のなかで好成绩といえる実績とのこと。</p> <p>・中世から近世にかけての日本の文化財を扱う展覧会であるが、3会場を巡回し、全体会期も長い。作品保全のための会場ごとの作品の入替えや会期中での展示替えが頻発し、やむをえないことではあるが、関係者への負担は大きかった。内容の充実や収支などを考慮しつつも、安全な運営のための全体の枠組みづくりについては早い段階から慎重に行っていく必要があると感じた。</p>		

(様式1)

展覧会自己点検評価表

展覧会名	美しき庭園画の世界 -江戸絵画にみる現実の理想郷-
------	------------------------------

期 間	10月21日(土)~12月10日(日) (44日間)
場 所	静岡県立美術館第1~6展示室

担当者名	野田麻美
------	------

学芸員の企画への参加の有無	有・無	学芸員の企画への参加状況 ※カタログ執筆、出品交渉等	有 無
マスコミ等による共催の有無	有・無	巡回の有無	有・無

記入日	企画	2017年4月3日(月)
	実績	2018年2月6日(火)

企画	実績・検証	
目的・内容	<p>・江戸時代に描かれた庭園画に焦点を当てた展覧会。江戸時代には、千を超える大名庭園がひしめく、世界でも類稀なる「庭園都市」江戸をはじめ、全国の城下町には大名庭園が数多く作られ、多くの名園が絵画化された。一方、江戸時代以前より数多くの名園があった京都でも、江戸時代中期以降、個人の居宅の庭園を描いた名品が生み出された。これらの庭園画のなかには、江戸絵画史上重要な作品も少なくない。</p> <p>本展は、江戸時代の風景画のなかで重要なジャンルを形成していた「庭園画」の成立と展開を、江戸時代初期から幕末に至る絵画によってとらえようとする初めての試みである。本展では、大名庭園の成立とともに江戸狩野派が確立した庭園画、関西の南画家による居宅図・訪隠図・雅集図系統の庭園画という大きな二つの流れを指摘した上で、関東画壇において江戸狩野派と南画家が影響しあって展開した江戸時代後期の庭園画を紹介する。また、南画家による実景図と庭園画の関係に注目することで、庭園画の成立背景を考察する。</p>	<p>【研究活動評価委員会からの意見(要約)】</p> <p>・江戸時代の庭園画を一堂に集め、「庭園画」という概念、関西・関東画壇における様式の成立と展開を提示した初めての展覧会。その内容と視点は新しく、新しい概念を提示したこと自体重要である。</p> <p>また、それにかかわりのある真景図・実景図を集めた点が面白い。</p> <p>江戸絵画史にける庭園画にとどまらず、日本絵画史全体を見通したうえで庭園画の概念を提示することを期待する(榊原委員)</p> <p>・中国の庭園画、狩野派の庭園画など、庭園画の成立と展開を、歴史的な変遷に沿って区分けした点が興味深い。庭園画の展開と行方が理解できるように展示構成されており、庭園画の世界を満喫できた。十分な広報活動をし、広く県民に展覧会が周知されることを望む。(金原委員)</p>
期待される成果 ・ねらい ・主なターゲット	<p>【アンケートにみる特徴】</p> <p>・庭園というテーマに関心のある客層が多かった。</p> <p>・ジャンルの発掘展であり、教科書に載っているような有名画家の作品が少なかったため、内容が難解、情報量が多い、あるいは、もっと有名な画家の作品をみたいという意見があった。</p> <p>・東京や京都など、遠方からの来館者には、作品の質量に対する高い満足度を示す意見が多かった。</p> <p>・一方、県内の来館者からは、より分かり易い、大規模な巡回展などへの希望がいくつか寄せられており、客層が二分された。</p>	
指標(数値目標)	観覧者数見込 10,000人	観覧者数 7,116人
収支計画	・歳出 10,711千円 ・歳入 4,870千円 ・特財率 45.5%	・歳出 10,791千円 ・歳入 3,081千円 ・特財率 28.6%
広報戦略 主な取組	<p>・本展は広報費が無いため、新聞やテレビでの広報が見込めない。ポスター・チラシの送り先に庭園に関心のある場所に焦点を当てるなど、ねらいを定めた印刷物の送付を行う。</p> <p>・本展の直前に開催される直虎展来館者に対し、集中的に館内チラシを配り、歴史ファン・江戸時代、江戸絵画に関心のある層に集中的にアピールを行う。</p> <p>・専門性の高い内容のため、庭園関連の研究会などで告知を行い、江戸絵画・庭園研究者に対する幅広い広報を行う。</p>	<p>・来館者は研究者の割合が高く、半日程度かけて熱心に会場での作品のメモを取る人がかなりいた。</p> <p>・奈良文化財研究所で10月29日に行われた庭園研究会において担当が展覧会内容を発表した際、展覧会に興味を持った参加者が、展覧会チラシを関西・中部地方の全国大会で配布してくれたことなどが功を奏し、口コミで全国から研究者が来館した。それに伴い、多くの研究者が図録を購入したため、図録の売上も、来館者数に対し、やや高めとなったように思われる。</p>
自己評価 今後の課題	<p>・来館者数は目標を達成できなかったが、当館で開催する風景画に関する展覧会の一つとして、当館らしい企画内容であったという評価を研究者には頂いた。また、江戸絵画史のうちに「庭園画」というジャンルを発掘した点に関して、江戸絵画の研究者からも一定の評価を得たように思う。</p> <p>・一般の来館者には、難解な内容の展覧会と受け止められたようであり、新ジャンルの発掘展において、作品を分かり易く展示、解説することの困難さを感じた。今後、内容をより明快に鑑賞者に伝える一層の努力をする必要性を感じた。</p> <p>・展覧会を通じ、これまで当館に来館することの無い客層の人々にご来館いただいた。今後、大名庭園や明清の庭園画の研究をすすめ、本展のテーマを深く掘り下げた展示や研究を行うことで、当館の展覧会活動の幅、客層の裾野を広げられるよう努めたい。</p>	

(様式1)

展覧会自己点検評価表

展覧会名	アートのなぞなぞ—高橋コレクション展
------	--------------------

期 間	12月23日(土)~2月28日(日) (54日間)
場 所	静岡県立美術館第1~6展示室

担当者名	川谷承子
------	------

学芸員の企画への参加の有無	有・無	学芸員の企画への参加状況 ※カタログ執筆、出品交渉等	有・無
マスコミ等による共催の有無	有・無	巡回の有無	有・無

記入日	企画	2017年5月31日(水)
	実績	2018年3月31日(土)

企画		実績・検証	
目的・内容	現代美術のコレクターとして知られる精神科医・高橋龍太郎氏が、日本の若手作家を中心に収集したコレクションを紹介する展覧会。2500点以上におよぶコレクションのエッセンスを、高橋龍太郎氏が提唱するいくつかのキーワードに沿って紹介する。加えて、「日本の古美術と1990年代以降の日本の現代アートとは分かちがたく結びついている」との高橋氏の考えにインスパイアされた当館の学芸員が、出品作品に共鳴する作品を静岡県美コレクションから選び、併せて展示します。現代美術と古美術との組み合わせの妙を楽しむ。	【研究活動評価委員会からの意見(要約)】 ・コレクションを受動的に借用するのではなく、内容を理解した上で、コンセプトに基づいた作品のセレクションを行っただけでなく、それを歴史的文脈との対比の中で見せることで、鑑賞者の理解を積極的にリードする展覧会として構築したことは評価に値する。美術館のコレクションと比較展示することで、主役である現代美術の見え方、受け止め方に新たな領域を拓こうとする展示になっており、刺激的で十分に楽しめるものになっている。・展覧会のタイトルが少し知的に過ぎると思う。観客が、やみくもにいかねばらばと思う、ゾクゾクするようなタイトルはなかっただろうか。(潮江) ・「なぞらえ」の章で「日本近代洋画への複雑な想い」として立項され、図録で高橋氏が本題として述べた日本近代洋画の評価は、1990年代以降の日本の造形にとって大きなテーマであるとともに、西洋化が近代化とほぼイコールであった世界の諸地域にも共通する問題である。その問題が本展の大きな裏テーマであったと思うが、それは近代主義への懐疑を共有する者たち自身(作家達・鑑賞者を含め)未解決の問題の為、それが本展で示唆されただけで意義深い。(山梨)	
期待される成果 ・ねらい ・主なターゲット	【ねらい】 ・高橋コレクションの真髄を紹介しつつ、従来とは違った切り口で作品を提示することにより、鑑賞者に作品から奥行き、深さ、新たな視点を発見してもらおう。 ・現代アートの中に、伝統的芸術に通じる特性を見出し、時代を超えた、日本の美術的想像力について検証する。 【ターゲット】 ・静岡県内、東海、関東地方に住む10代~50代の男女。 ・静岡市近郊のファミリー層	【アンケートにみる特徴】 ・男女比は男性47.5%、女性52.5%で、当館の標準的な数値と比較して男性の比率が10%程高かった。(28平均男性37.8%、女性62.1%)。年齢層は20歳代が17.5%、40歳代が22.2%、50歳代が20.6%と多く、60歳代、70歳代はそれぞれ7.8%と少なかった。当初想定したターゲット層とほぼ合致していたが、20歳代と比較して、30歳代が少ないことから、小さい子供を持つ世代の家族連れでの来館が、少し伸び悩んだのではないかと、考えられる。 ・静岡市内から40%で最も多く、次いで、県中東西部よりも、県外からの来館者が多かった。 ・展覧会に来たきっかけは、「ホームページ、facebookなどを見て」が最も多く、年齢別には20~40歳代で、割合が高い傾向にある。 ・満足度は88.3%とほぼ平均並みであった。作品やテーマへの興味・関心の深まりは平均をわずかに下回る80.2%であった。	
指標(数値目標)	観覧者数見込 14,000人	観覧者数 10,982人(対見込78.4%)	
収支計画	・歳出 18,912千円 ・歳入 8,206千円 ・特財率 43.4%	・歳出 19,117千円 ・歳入 5,389千円 ・特財率 28.1%	
広報戦略 主な取組	・静岡朝日テレビに名義共催ではいってもらうことから、テレビCMでの広報宣伝効果が期待できる。 ・広報印刷物等の少し早めの製作・配布を行い、展覧会開催情報の地域での浸透を図る。 ・年齢の若い鑑賞者層に向けて、SNSを活用した広報展開を行う。 ・出展作家の許可を取って、撮影可能なスポットを設け、話題作りを行う。	・名義共催の静岡朝日テレビがテレビCMや展覧会記念事業としてクラシックコンサートを行う等して広報を行った。 ・NHK静岡の「たっぷりしずおか」のアートコーナーで展覧会の広報を行った。 ・松坂屋静岡店の外壁に大型懸垂幕を設置し展覧会の広報を行った。	
自己評価 今後の課題	・エントランスでの大型作品のインスタレーション、6室でのインタラクティブ作品、ロダン館でのVRなど、展示設営費に多くの経費を費やしたが、その効果もあって来場者の満足度は高かった。 ・観覧者数が、見込みに届かなかった点は、反省せねばならず、見込観覧者数を達成するためには、いったい何が足りなかったのかを、十分検討しなければならない。一つには、写真撮影を可能にした作品点数が少なかった点があげられる。アーティストに撮影許可を承諾してもらうための手続きにかかる時間と手間を、あらかじめ展示計画に含んでおく必要があった。 ・現代アートの関心のある層に向けての、個別の広報に力を注ぐべき必要を感じた。 ・一方で、後半から入場者が伸びた理由としては、NHKのたっぷり静岡での紹介に加え、会期中から始めたツイッターの効果が大きく影響していると考えられる。展覧会の評判は、もっぱらツイッターとインスタグラムによって拡散される傾向にあると考える。 ・県外に住む、年齢が若い鑑賞者が、移動することが可能な、ゴールデンウィーク、夏、正月に会期を組み込むことができると良い。		

【資料 2】

調査・研究に関する自己評価点検評価報告書（平成 29 年度）

調査・研究に関する自己点検 報告書

提出日 平成30年4月16日	
職・氏名	学芸課長・三谷理華
●専門分野	美術史
●所属学会	美術史学会、美学会、日仏美術学会、ジャポニスム学会、九州藝術学会、Société de l'histoire de l'art français、ICOM
●主要研究テーマ	ヨーロッパ近代美術史、日仏文化交流史
1. 今年一年間に執筆した主な論文 (カタログ論文・研究紀要・学術論文・学会発表・その他美術・美術館に関わる研究論文等)	
1 「ラファエル・コランとブランシュ・コラン——兄と妹の新出書簡類をめぐって」 『静岡 県立美術館 紀要』第33号、2018年3月30日、pp.17-77。	小計
1本	
2. 今年1年間に携わった展覧会及び普及事業	
1 出張授業 静岡県立駿河総合高等学校 3年生 10月20日	
	小計 1本
3. 上記以外の専門領域活動及びその他の活動	
1 “Mamoru Abe : The Richness of Unchangingness” , <i>Surveyed Map Mamoru Abe</i> , Kuala Lumpur, Museum of Asian Art, University of Malaya, 2017, p.11.	
2 ジャポニスム学会学芸員勉強会代表幹事	
3 文化庁新進芸術家海外派遣研修 (長期)	
4 ふじのくに芸術祭2017企画委員、美術部門美術展審査員	
5 ふじのくに子ども芸術大学実行委員会委員	
6 ふじのくに文化芸術センター運営委員	
7 『美術史』[美術史学会誌] 第185冊 査読委員	
	小計 7本
4. 収蔵作品に関する論文・発表等	
	小計 0本

合計 9本

調査・研究に関する自己点検 報告書

提出日 平成 30 年 4 月 1 日

職・氏名 上席学芸員 ・ 南 美幸

- 専門分野 美学・美術史
- 所属学会 美術史学会、日仏美術学会
- 主要研究テーマ 西洋美術史、ロダン関連

1. 今年一年間に執筆した主な論文
(カタログ論文・研究紀要・学術論文・学会発表・その他美術・美術館に関わる研究論文等)

- 1 論文「ロダンの写真観－マイブリッジへの見解において」(『アマリリス』127号、平成29年10月)

小計 1 本

2. 今年 1 年間に携わった展覧会及び普及事業

- 1 「ロダン没後 100 年に寄せて」企画・実施
 - vol. 1 「動き」を求めて : マイブリッジ、ロダン、オノデラユキ
 - vol. 2 フォーカス! 《地獄の門》 : ロダンの彫刻写真(ファクシミリ)、安斎重男による《地獄の門》
 - vol. 3 彫刻を撮る : ロダン、ブランクーシの彫刻写真
- 2 「ロダン没後 100 年に寄せて」関連美術講座「ロダン没後 100 年と《地獄の門》」
- 3 「ロダン没後 100 年に寄せて」 vol. 1、vol. 3 フロアレクチャー 各 1 回
- 4 「“ロダン没後 100 年に寄せて”と静岡シネギャラリーとのコラボ 映画“ロダン カミーユと永遠のアトリエ” 公開記念トーク」
- 5 新収蔵品展 フロアレクチャー
- 6 ロダン館タッチ・ツアー 2 回

小計 6 本

3. 上記以外の専門領域活動及びその他の活動

小計 本

4. 収蔵作品に関する論文・発表等

小計 本

合計 7 本

調査・研究に関する自己点検 報告書

提出日 平成 30 年 3 月 29 日

職・氏名 上席学芸員 新田建史

- 専門分野 美学美術史
- 所属学会 地中海学会、保存修復学会
- 主要研究テーマ 西洋 16～18 世紀美術、東西美術交流史、東西版画史、文化財保存

1. 今年一年間に執筆した主な論文
(カタログ論文・研究紀要・学術論文・学会発表・その他美術・美術館に関わる研究論文等)

「ピラネージ『古今ローマの様々な景観』に見られるクローズアップについて」、『アマリス』125号、pp. 6, 7.
「ピラネージのピラミッドと七不思議について」、『静岡県立美術館紀要』、2018年3月、pp. 7～15、78

小計 2 本

2. 今年 1 年間に携わった展覧会及び普及事業

- ・「黄金のファラオと大ピラミッド」展担当
- ・特別講演会「古代エジプトのファラオと巨大ピラミッドの謎」4月9日(日) 11:00～、14:00～
- ・講演会「古代エジプトの埋葬と来世観」5月20日(土)
- ・「学芸員によるフロアレクチャー」4月15日(土)、5月12日(金)
- ・わくわくアトリエ「太陽の船をつくろう」6月4日(日)
- ・「黄金のファラオと大ピラミッド」展作品紹介 『静岡新聞』夕刊、4月3日(月)～7日(金)

小計 12 本

3. 上記以外の専門領域活動及びその他の活動

- ・「愛知県立芸術大学集中講義」9月19日(火)、20日(水)
- ・「静岡県における博物館の防災連携体制」、日本博物館協会研究協議会テーマ 1「博物館と防災」、2018年2月8日(木)、9日(金)

小計 2 本

4. 収蔵作品に関する論文・発表等

小計 0 本

合計 16 本

調査・研究に関する自己点検 報告書

提出日 平成 30 年 4 月 6 日

職・氏名 上席学芸員・村上 敬

- 専門分野 日本近代美術・デザイン史、文化資源学
- 所属学会 美学会、美術史学会、明治美術学会、文化資源学会
- 主要研究テーマ 明治・大正期を中心とした近代日本洋画等

1. 今年一年間に執筆した主な論文

(カタログ論文・研究紀要・学術論文・学会発表・その他美術・美術館に関わる研究論文等)

(1) 口頭発表「川村清雄《海底に遺る日清勇士の髑髏》再考」(広島芸術学会第 31 回大会 [サテライトキャンパスひろしま]), 7/16

小計 1 本

2. 今年 1 年間に携わった展覧会及び普及事業

- ・収蔵品展「明治 150 年 静岡県美の明治洋画」展(主担当)
- ・収蔵品展「明治 150 年 静岡県美の明治洋画」展フロアレクチャー (4/8)

小計 2 本

3. 上記以外の専門領域活動及びその他の活動

- ・静岡市芹沢銈介美術館協議会委員
- ・富士市美術展審査員 (洋画)

小計 2 本

4. 収蔵作品に関する論文・発表等

(1) 口頭発表「川村清雄《海底に遺る日清勇士の髑髏》再考」(広島芸術学会第 31 回大会 [サテライトキャンパスひろしま]), 7/16

小計 1 本

合計 6 本

調査・研究に関する自己点検 報告書

提出日 平成 30 年 3 月 29 日

職・氏名 上席学芸員 泰井良

- 専門分野 日本近代洋画、ロダン、ミュージアムマネジメント、文化政策
- 所属学会 美術史学会、明治美術学会、文化経済学会
- 主要研究テーマ 明治美術会から太平洋画会、明治から昭和期の美術

1. 今年一年間に執筆した主な論文

(カタログ論文・研究紀要・学術論文・学会発表・その他美術・美術館に関わる研究論文等)

- ・「北川民次《山村初春(高草山風景)》について(平成 28 年度新収蔵作品)」静岡県立美術館ニュース『アマリリス』No. 126 平成 29 年 7 月
- ・「北川民次《山村初春(高草山風景)》について」静岡県立美術館紀要第 33 号 平成 30 年 3 月

小計 2 本

2. 今年 1 年間に携わった展覧会及び普及事業

- ・移動美術展「富士山と静岡ゆかり画家たち」展【三島市郷土資料館】(主担当)
- ・移動美術展「富士山と静岡ゆかりの絵画」展【富士山かぐや姫ミュージアム】(主担当)
- ・収蔵品展「富士山と静岡ゆかりの画家たち」(主担当)
- ・移動美術展フロアレクチャー(9/24、10/8、11/12、11/26)
- ・収蔵品展フロアレクチャー「富士山と静岡ゆかり画家たち」(12/24、1/28、2/11)
- ・静岡大学比較言語文化各論 I 講師(講義 2 回、リハーサル 1 回、7/17、7/22、11/5 にギャラリートーク実施)

小計 16 本

3. 上記以外の専門領域活動及びその他の活動

- ・一般財団法人地域創造公立美術館活性化事業企画検討委員
- ・全国美術館会議地域美術研究部会幹事
- ・一般社団法人浜松市創造都市協議会理事
- ・磐田市文化協会工芸部門審査員
- ・一般財団法人地域創造「美術館出前(オーダーメイド型)ゼミ」【熊本市現代美術館】(11/27)

小計 5 本

4. 収蔵作品に関する論文・発表等

- (・「北川民次《山村初春(高草山風景)》について(平成 28 年度新収蔵作品)」静岡県立美術館ニュース『アマリリス』No. 126 平成 29 年 7 月
- ・「北川民次《山村初春(高草山風景)》について」静岡県立美術館紀要第 33 号 平成 30 年 3 月)

(小計 2 本)

合計 25 本

調査・研究に関する自己点検 報告書

提出日 平成 30 年 4 月 12 日

職・氏名 上席学芸員 川谷承子

- 専門分野 現代美術
- 所属学会
- 主要研究テーマ 戦後美術

1. 今年一年間に執筆した主な論文

(カタログ論文・研究紀要・学術論文・学会発表・その他美術・美術館に関わる研究論文等)

- ・エッセイ「大庭大介の絵画について」『DAISUKE OHBA』平成 29 年 9 月、SCAI THE BATHHOUSE 発行
- ・カタログ論文「共振するか反発するか？」『アートのなぞなぞー高橋コレクション展』、平成 29 年 12 月、静岡県立美術館発行

- ・エッセイ「西歐的人体解釈と、「彫り物」のハイブリディティ」『記録集 めぐるりアート静岡 まち ひと とき、むすぶ』、平成 30 年 2 月、静岡大学発行

(*『アマリリス』の研究ノートを論文として執筆された方はここに記載してください。)

- ・研究ノート「地域の美術館としてのあり様を探る」(『アマリリス』No. 128 2017 年度冬号)

小計 4 本

2. 今年 1 年間に携わった展覧会及び普及事業

○新収藏品展

- ・フロアレクチャー

○収藏品展 白の表現力

- ・フロアレクチャー

○めぐるりアート静岡

○アートのなぞなぞー高橋コレクション展

- ・美術講座

- ・西尾康之×高橋龍太郎トーク

- ・鴻池朋子アーティストトーク (聞き手)

- ・職員向け夜間講座

- ・友の会向けフロアレクチャー

- ・フロアレクチャー

- ・鼎談「闘論！高橋コレクションをめぐって、がらがらぼん！」

(*展覧会のフロアレクチャーをされた方はここに記載してください。)

小計 展覧会 4 本、普及事業 9 本

3. 上記以外の専門領域活動及びその他の活動

寄贈・寄託作品の受け入れに関わる作品調査、資料作成

小計 1 本

4. 収蔵作品に関する論文・発表等

- ・エッセイ「大庭大介の絵画について」『DAISUKE OHBA』平成 29 年 9 月、SCAI THE BATHHOUSE 発行
- (*おのずから「1」で挙げたものと重なってきます。「1」に記載された論文・発表のうち収蔵作品に関わるものをここに再掲するかたちに統一します)

小計 1 本

合計 19 本

調査・研究に関する自己点検 報告書

提出日 平成 30 年 4 月 5 日

職・氏名 上席学芸員・石上充代

- 専門分野 近世・近代の日本画
- 所属学会 美術史学会
- 主要研究テーマ 日本近世近代絵画史

1. 今年一年間に執筆した主な論文 (カタログ論文・研究紀要・学術論文・学会発表・その他美術・美術館に関わる研究論文等)

1 論文「直虎、直政の時代を知るために—絵画から探る—」(『2017 年 NHK 大河ドラマ「おんな城主直虎」特別展 戦国! 井伊直虎から直政へ』図録、平成 29 年 7 月)

小計 1 本

2. 今年 1 年間に携わった展覧会及び普及事業

- 1 企画展『2017 年 NHK 大河ドラマ「おんな城主 直虎」特別展 戦国! 井伊直虎から直政へ』主担当
- 2 同展 美術講座「直虎の時代の絵画—式部輝忠「富士八景図」から探る」1 回
- 3 同展 フロアレクチャー 4 回
- 4 企画展『庭園画の世界』副担当
- 5 企画展『アートのなぞなぞ 高橋コレクション展』副担当
- 6 出張美術講座 1 回

小計 6 本

3. 上記以外の専門領域活動及びその他の活動

- 1 静岡市三保松原保全活用計画推進専門委員会委員

小計 1 本

4. 収蔵作品に関する論文・発表等

小計 本

合計 8 本

調査・研究に関する自己点検 報告書

提出日 平成 30 年 3 月 29 日

職・氏名 主任学芸員・野田麻美

- 専門分野 日本近世絵画
- 所属学会 美術史学会
- 主要研究テーマ 狩野派を中心とする桃山末～江戸時代の絵画

1. 今年一年間に執筆した主な論文
(カタログ論文・研究紀要・学術論文・学会発表・その他美術・美術館に関わる研究論文等)

- 「概論 美しき庭園画の世界へのいざない—江戸絵画史における〈庭園画〉の消長と史的位置」
(『美しき庭園画の世界—江戸絵画にみる現実の理想郷』平成 29 年 10 月 21 日刊行)
- 「各論 池大雅『蘭亭曲水図』試論—明清の扇面画とのかかわりを中心に」(『美しき庭園画の世界—江戸絵画にみる現実の理想郷』平成 29 年 10 月 21 日刊行)
- 「江戸時代〈庭園画〉史 概論—大名庭園を描いた作品を中心に—」(『平成 29 年度 庭園の歴史に関する研究会 (近世庭園)』平成 29 年 10 月 29 日 於奈良文化財研究所 口頭発表)
- 「『美しき庭園画の世界』展の出品作品について—狩野派模本作品を中心に」(『近世狩野派を中心とした図様継承と絵画制作システムに関する研究 (基盤研究(A))』研究会 平成 29 年 11 月 24 日 於静岡県立美術館 口頭発表)
- 「雪舟の倣古図と〈筆様〉—江戸時代前期の倣古図と雑画帖」(『雪舟発見!展 シンポジウム』平成 29 年 12 月 9 日 於山口県立美術館 口頭発表)
- 「江戸時代〈庭園画〉史 概論—大名庭園を描いた作品を中心に」(『平成 29 年度 庭園の歴史に関する研究会 回遊式庭園と庭園文化 報告書』奈良文化財研究所 平成 30 年 3 月末刊行)

小計 6 本

2. 今年 1 年間に携わった展覧会及び普及事業

- 『美しき庭園画の世界』展 (平成 29 年 10 月 21 日～12 月 10 日)
同展美術講座 1 回 (平成 29 年 11 月 23 日)
同展フロアレクチャー 3 回 (平成 29 年 11 月 3 日、11 月 28 日、12 月 3 日)

小計 4 本

3. 上記以外の専門領域活動及びその他の活動

小計 0 本

4. 収蔵作品に関する論文・発表等

- 「各論 池大雅『蘭亭曲水図』試論—明清の扇面画とのかかわりを中心に」(『美しき庭園画の世界—江戸絵画にみる現実の理想郷』平成 29 年 10 月 21 日刊行)

小計 1 本

合計 11 本

調査・研究に関する自己点検 報告書

提出日 平成 30 年 4 月 13 日

職・氏名 主任学芸員 植松 篤

- 専門分野 現代美術
- 所属学会 美学会、広島芸術学会
- 主要研究テーマ 戦後美術

1. 今年一年間に執筆した主な論文
(カタログ論文・研究紀要・学術論文・学会発表・その他美術・美術館に関わる研究論文等)

小計 0 本

2. 今年 1 年間に携わった展覧会及び普及事業

- ・「アートのなぞなぞ—高橋コレクション展」副担当
- ・「めぐりアート静岡 まち ひと とき、むすぶ」副担当

アートのなぞなぞ—高橋コレクション展 フロアレクチャー 2018 年 1 月 7 日

小計 3 本

3. 上記以外の専門領域活動及びその他の活動
VOCA 展推薦委員

小計 1 本

4. 収蔵作品に関する論文・発表等

(*おのずから「1」で挙げたものと重なってきます。「1」に記載された論文・発表のうち収蔵作品に関わるものをここに再掲するかたちに統一します)

小計 0 本

合計 4 本

調査・研究に関する自己点検 報告書

提出日 平成 30 年 4 月 12 日

職・氏名 主任学芸員 浦澤倫太郎

- 専門分野 日本美術史
- 所属学会 美術史学会
- 主要研究テーマ 近世絵画

1. 今年一年間に執筆した主な論文
(カタログ論文・研究紀要・学術論文・学会発表・その他美術・美術館に関わる研究論文等)

口頭発表「日本絵画にみる浙江省への憧れ—静岡県立美術館収蔵品を中心に」
11月14日 会場：浙江美術館（杭州市）

小計 1 本

2. 今年 1 年間に携わった展覧会及び普及事業

展覧会

「日本画入門！」7月14日（金）～8月4日（金）

普及事業

「日本画入門！」フロアレクチャー 3回

「新収蔵品展」フロアレクチャー 1回

小計 5 本

3. 上記以外の専門領域活動及びその他の活動

出張美術講座【富士宮市立井宮北小学校】9/21

小計 1 本

4. 収蔵作品に関する論文・発表等

(再掲)口頭発表「日本絵画にみる浙江省への憧れ—静岡県立美術館収蔵品を中心に」
11月14日 会場：浙江美術館（杭州市）

小計 1 本

合計 7 本

定性評価の状況（平成29年度）

【美しき庭園画の世界 展】〈自主企画展〉

(金原委員)

総評：充実した出品作品により美しき庭園画を満喫できる魅力ある展覧会となっている。十分な広報活動がなされなかった故か、観客数は思ったよりも少ないように見受けられた。広く県民にこうした展覧会が周知されるように望みたい。

今後の課題：今回の展覧会には大雅の「東山清音帖」は出品されていない。この作品の版本は優れたものであるが、正本は詩文の讚文などにまだ検討の余地があるとおもわれる。

図録に「東山清音帖」の考察など必要とすると述べられているので、さらなる検討、考察を進められることを期待している。

(榊原委員)

総評：「庭園画」と云う名でまとめることのできる作品とそれに係わりのあると考えられる真景図・実景図を可能な限り集め、しかも関西画壇、関東画壇においてそれがどのように成立し展開したか見通しをつけようとした試みは面白いし、大いに評価したい。その中であって原派の真景図群の位置づけは興味あるところだが、今後の問題であろう。

今後の課題：庭園を描いた絵となれば神泉苑を描いたものがまず思い出される。となればやまと絵の成立とも係わるもので日本絵画史の重要なテーマになるかも知れない。そのことも踏まえ庭園画の概念をもう一度考えてみて欲しい。

【アートのなぞなぞ-高橋コレクション-展】〈自主企画展〉

(潮江委員)

総評：一定の現代美術のコレクションから、受動的に借用するのではなく、当該コレクションの内容を理解した上で、コンセプトに基づいた作品のセレクションを行っただけでなく、それを歴史的な文脈との対比の中で見せることで、鑑賞者の理解を積極的にリードする展覧会として構築したことは評価に値する。

今後の課題：基本となる三つのコンセプトを前提とすれば、展覧会のタイトルが「アートのなぞなぞ」になるのかもしれないが、これは、少し知的に過ぎると思う。観客が、やみくもに行かなければと思う、ゾクゾクするようなタイトルはなかっただろうか。余計なことですが・・・。

(山梨委員)

総評：高橋龍太郎氏のコレクションは2000年代半ばからたびたび紹介されており、既に有名になった作品も数多いが、同氏のコレクションの特色となっている「幼形成熟」、「不在の感覚」、他者への同調、を「おとなこども」「いないいないばあ」「なぞらえ」と読みかえて、それぞれをよく表す作品群で構成し、また、異なる時代に制作された館藏品と対比させることで、1990年代以降の造形の特徴のいくつかがよく伝わる展覧会となった。1990年代後半から今日までの約四半世紀の日本造形作品をまとめてみるよい機会となった。

「なぞらえ」の章で「日本近代洋画への複雑な想い」として立項され、図録で高橋氏が本題として述べておられる日本近代洋画の評価は、1990年代以降の日本の造形にとって大きなテーマで

あるとともに、西洋化が近代化とほぼイコールであった世界の諸地域にも共通する問題と考える。その問題が本展の大きな裏テーマであったと思うが、それは近代主義への懐疑を共有する者たち自身（作家達・鑑賞者を含め）未解決の問題の為、それが本展で示唆されただけで意義深い。

今後の課題：開館当初から現代美術をコレクションの柱の一つとしてきた静岡県立美術館が本展を開催した意義は大きいですが、一方で、県立美術館として今後、どのように現代アートのコレクションを形成していくかという大きな課題が残されたように思う。予算の制約もあり、また、公立美術館コレクションは国民の財産としての作品を保存するのが責務のひとつでもあるところから、所蔵できる作品の保存の困難さが収集の足かせとなる場合もある。作品の素材も技法も多様化する中であって、本展は公立美術館において現代美術の収集と展示を今後どのようにしていくかを検討するきっかけのひとつともなるであろう。

① 研究紀要 新田建史「ピラネージのピラミッドと七不思議について」

(坂本委員)

西欧の古典文化の「きまりごと」のように数え上げられている「7つの不思議」とか「驚異」を、近世・近代中心の学会では無視しても全く問題がなかったが、16世紀の「世界図」の展開を辿ってみると、再三、こういうものに出会う。ピラネージなど、版画史関係の研究がさっぱり拡大しない日本で、地味な研究を継続している研究者の存在は、大変ありがたい。

(潮江委員)

ピラネージの版画を、「ファンタジー」や「カプリッチョ」に止めず、作家の発想の源泉を問い直そうとする意味で、意欲的な論考である。ピラネージが生きた18世紀の時点で、彼が目にしたり、読んだりした文献を丁寧に当たり、彼の想像力の形成に関与した要素を解き明かそうとする内容であり、建築の図像学ともいえる研究姿勢が今後とも展開していくことが期待される。

② 研究紀要 三谷 理華「ラファエル・コランとブランシュ・コラン—兄と妹の新出書簡類をめぐって」

(坂本委員)

膨大な手紙をよくきれいに整理復刻・翻訳を果たされたことに感心した。美術に関係するものとしては、師弟の関係、展覧会の入選、作品の設置場所なども極めて具体的に察知されるが、それ以外にもある程度以上の人々の交友圏の一端を伺うことのできるドキュメントとしても貴重。フランス人の生活誌としての資料となるであろう。

(潮江委員) 当該論文は、著者が培ってきた研究経歴の厚みとそこに由来する炯眼とによって、日本近代絵画史に大きな影響を与えたラファエル・コラン及びその近親者をめぐる書簡類という新出一次資料を紹介する論考となっている。また、論考だけでなく、丁寧に新出書簡類の全訳を掲載されたことで、ラファエル・コランのようなアカデミーの画家たちが、日常どのように生活し、弟子たちを指導していたのかが、具体的に推量できる。

③ 研究紀要 泰井 良「北川民次《山村初春（高草山風景）》について」

(金原委員)

作品寄贈がされる経緯を十分に考察して、次いで作品論に入っており、作品についての検討が奥深いものとなっている。帰国から戦中期という北川の制作が少ない時期の貴重な作品に果敢に取り組んで、いかに画風を確立していったかという重要な時代の作品に、どの場所でいかに描いたか、追究している意欲的な論考である。

(山梨委員)

新出の北川民次作品の来歴について基礎的報告を行い、またその画風を北川の画業の中に位置づける基礎的考察を行った論考である。帰国して間もない時期の作品は希少であり、本作について考察することは、北川の全画業を跡づけ、その精神的背景を探る上でも、重要である。同時期の類作と比較するとともに、北川の言葉を手がかりに、メキシコの児童画との関連を指摘した本稿は、作品解釈において独自性を持っている。

(西洋)

西洋作品は、絵画・彫刻・版画・水彩の全てのジャンルにわたって貸出実績があり、6本の展覧会に計18点の作品を貸し出した。主な実績概要は下記のとおりである。

神奈川県立近代美術館が開催したマックス・クリンガーの生誕160年を記念する展覧会には、同作家の連作『死について 第2部』が全点出品された。

兵庫県立美術館と上野の森美術館で開催された「怖い絵」展には、崇高の美学を体現する海難画として、クロード＝ジョゼルネの《嵐の海》が出品された。

国立新美術館と豊田市美術館による「ジャコモッティ展」では、国内では貴重な作家の初期作品として、《横たわる女》が紹介された。

(日本画)

13件の展覧会に39件の作品を貸し出した。

京都国立博物館「海北友松展」には《禅宗祖師・散聖図屏風》を出品。制作年の明らかな作品としては最も遅い時期の作で、友松の画歴をときほぐし丹念にたどる同展のなかで改めてその位置が明確にされた。サントリー美術館「天下を治めた絵師 狩野元信展」には、当館の特色である狩野派のコレクションから所蔵品・寄託品3件を出品、展覧会の充実に貢献した。その他、愛知県美術館「開館25周年記念 長沢芦雪展」、高松市美術館「没後45年 鏑木清方展」、富山県水墨美術館「生誕140年 尾竹竹坡展」等々の個展に所蔵品・寄託品を出品、それぞれの作家の特色を示す重要作として位置づけられた。

また、島田市博物館「森田安次と大井川流域の書家たち」展に、森田安次《風の又三郎》及び《水》を出品。島田出身の近代詩文書の先駆者・森田安次の代表作として展覧会には欠かせない作品であり、当県ゆかり作家のコレクションを通して県内博物館の活動に貢献した。

当館開催の企画展では、「戦国！井伊直虎から直政へ」展、「高橋コレクション—アートのなぞなぞ」展に出品。前者では、桃山から江戸初期の絵画の諸相をとおしてこの時代の美意識の一端を示し、後者では現代アートと当館の近世・近代の絵画を組み合わせることで、互いの魅力を引き出し、新鮮な鑑賞体験を提供した。

(現代)

現代ジャンルでは、草間彌生《無題》とジョアン・ミッチェル《湖》を、それぞれ国内の展覧会に出品した。いずれも1950年代に制作された大型の絵画で、1995年に購入により当館の収蔵品に加わり、購入以後に再評価が進んでいる作家の作品である。前者は、作家を代表する作品として、後者は、モネを継承する現代作家として解釈され紹介された。

草間彌生は、1989年のアメリカの国際現代美術センターでの展覧会を契機に再評価が進み、近年は、海外の主要な美術館で回顧展が開かれてきた。国内では、2016年度に、東京の国立新美術館で12年ぶりの大回顧展が開催されたことが記憶に新しい。今年度出品した、松本市美術館で開催の「草間彌生 ALL ABOUT MY LOVE」展は作家の故郷の地、松本市で開かれるという点で意義深く、原点となる松本時代から初公開作品を含む「わが永遠の魂」シリーズまでの作家の変遷が通観できる展覧会となっていた。作家と松本市美術館が所蔵する作品を主体に、当館所蔵の絵画と、豊田市美術館所蔵の彫刻作品を1点ずつ加えた構成からなり、当館所蔵作品は、草間のニューヨーク時代の絵画を象徴する1点として、位置づけられていた。

ジョアン・ミッチェル《湖》は、名古屋市美術館と横浜美術館で共同開催される「モネ、それからの100年」展に出品した。同展覧会は、モネの影響が、印象派を超えて現代にまでつながっているという考えに基づき、モネ作品と、アメリカの抽象表現主義の作品、および日本の現代作家と作品とを並置させて、比較検討するという意欲的な試みの展覧会であった。当館収蔵作品は、第1章「新しい絵画―立ち上がる色彩と筆触」の中で、モネの筆触と色彩への強いこだわりに着目し、それが現代の作家たちにどのように受け継がれていったのかを検証する試みの1つとして取り上げられた。

(日本洋画)

平成29年度の日本洋画の公開・貸出については、開催館の開館周年記念展及び学芸員の研究成果を活かした回顧展への貸出が顕著となった。

目黒区美術館の開館30周年を記念した「日本パステル畫事始-武内鶴之助と矢崎千代二、二人の先駆者を中心に-」展には、当館コレクションの中から武内鶴之助《英国風景》《紀州瀨峽》《伊豆福浦海岸》の3点が出品された。いずれも、武内の代表作として、鑑賞者の最も見やすい場所に展示された。図録の中でも、図版が大きく掲載され、さらに表現の細部を見せるための部分図が掲載されるなど、当館コレクションが研究と鑑賞に活用された。

常葉美術館開館40周年記念「曾宮一念展 未来へ続く、色彩の風景画家」では、《種子静物》《自画像》《毛無連峯》など8点が出品された。本展は、長女・曾宮夕見氏が所蔵していた早稲田中学校及び東京美術学校時代に制作されたスケッチ類が初めて展示された展覧会として意義深い。その中で、当館コレクションは、曾宮一念の画業を代表する、とりわけ質の高い作品として紹介された。

練馬区独立70周年記念展「没後20年 麻田浩展 静謐なる楽園の廃墟」において、当館所蔵の大作《旅・影》は、試行錯誤を繰り返し漸く到達した麻田独自の画境に位置する作品として紹介され、また最も鑑賞者の目にふれる場所に展示されたことは、当館コレクションが高く評価されたことを示すものである。

<一般向け>

「黄金のマスクと大ピラミッド」展と関連させて行ったちょこっと体験「みんなで黄金のピラミッドをつくろう」や、「アートのかなぞなぞ—高橋コレクション—」展示作家の梅津庸一氏による実技講座「X『マスだよ！パーブルーム予備校の体験入学会』」など、展覧会と関連させた内容の普及活動をバランスよく行い、展示と鑑賞を結びつけた静岡県立美術館ならではの教育普及活動を展開することができた。

ロダン没後 100 年事業として、若村麻由美氏の「ワルツ～カミーユ・クローデルに捧ぐ～」や静岡大学「ロダンのいたパリ～音と光のコンサート～」などを開催した。「ワルツ」は新聞等でも大きく報道をされ、公演自体も全公演満員となり好評を博した。

一般向け実技室プログラム「ロダン館デッサン会」「実技講座」などの利用者は、高齢者リピーターが多かったが、フェイスブックやツイッターなどの SNS を活用した情報発信を行う事で、今までは少なかった 10～30 代の参加率が増加傾向にある。

<学校向け>

県総合教育センター主催で 4 年継続して行っている教員向け鑑賞教育研修や富士宮市教育委員会との連携で 3 年連続実施をした上井出小学校での《曾我物語図屏風》を題材にした出張事業など、静岡県立美術館との連携による教育的効果が認められ、単年度実施で終わるのではなくその後も継続する活動となるケースが増えている。

平成 32 年度から全面実施となる新学習指導要領では総授業時数が増加となり、現行指導要領以上に授業としての美術館への来館は難しくなることが予想される。一方で新指導要領の内容では図画工作科・美術科の「鑑賞」分野について「美術館や博物館との連携を図ったり、それらの施設や文化財を積極的に活用したりすること」と、より明確な表現への改訂となるため、出張美術講座の充実や収蔵品の新規レプリカ製作等の継続的な教材開発・提供など、アウトリーチでの学校連携を模索する必要がある。

これまでの地域等の連携をさらに深め、地域をパートナーと考える経営を推進した。

地域・企業・教育機関等

- (1) 開館以来、活動を続けている県立美術館ボランティアは活動任期为3年であり、平成28年度当初に新たに117名を採用し、活動方針に沿って積極的に活動を行った。
 - ・活動期間（任期）：平成28年4月1日～平成31年3月31日（3年間）
 - ・活動方針：「来館者サービスの充実、美術館運営支援、地域連携推進」
- (2) 美術館ボランティア草薙ツアーグループによる来館者サービスのお茶会を、「黄金のファラオと大ピラミッド展」開催期間及びロダンウィークに併せて実施した。
- (3) 有度山地域に立地する5施設（県立美術館、SPAC、日本平ホテル、日本平動物園、久能山東照宮）による「有度山フレンドシップ協定」による協働
 - ・各施設を廻る観光モデルコースのパンフレット化の検討を進めている。
 - ・「ふじのくにしずおか観光大商談会」等への協働参加、誘客促進を図った。
東京6月7日、名古屋9月5日、大阪2月7日
- (4) 静岡大学と連携し、前期授業の単位に認定した「大学生によるロダン館ギャラリートーク」を実施した。参照（8）
- (5) 草薙商店会等との協働
 - ・地域の活性化を目指す地元有志等との定期的な連絡会（朝活）への参加
 - ・草薙商店会主催の「つながるくさなぎ」にて実技体験を実施。夏フェス（缶バッジ作成）及び冬フェス（銅版画製作）
 - ・草薙地域で活動しているグループと連携して美術館前の広場でロダンウィーク「丘の上のマルシェ」を開催
- (6) 草薙駅周辺まちづくりへの協力
 - ・草薙駅周辺の「産官学民」が一体となり、草薙駅周辺地区のまちづくりの検討を行う「草薙駅まちづくり検討会議」に参加し、「まちづくりビジョン」の実現化のための検討を続けている。
平成29年2月には「一般社団法人 草薙カルテッド」が設立され、活動を進めている。
- (7) 企画展における企業との連携による効果
 - ・「黄金のファラオと大ピラミッド展」では、静岡新聞社創刊75周年・SBS開局65周年記念事業としての位置付けにより静岡新聞社・静岡放送と実行委員会を組織したため、新聞広告・テレビCMなど多大な協力を得ることができ効果的な広報を実施できた。
SBSにより清水銀行の特別協力を得て実施した特別講演会（展覧会監修者：吉村作治氏、4月9日午前午後各1回、河合望氏、5月20日午後1回）は、いずれも全席指定事前申し込み制で、抽選により満席となった。
 - ・「おんな城主 直虎」特別展では、実行委員会組織相手の中日新聞により、パネル展、中部・西部地区への新聞折込チラシ配布（9月13日127,500枚）、西部地区発の観覧バスツアー計画などの特別広報の協力を得た。
NHK静岡放送局により特別講演会開催、エントランスでのフォトセット展、小道具等を展示するダイジェスト展、ドラマの裏側を体験するVRブースの設置、小中学生向けの展覧会ガイドブック配布などの協力を得た。
また、静岡鉄道と同社日本平ロープウェイとは、共通チケット販売を行った。
日本平ホテルとの協働により「おんな城主 直虎」特別展の観覧チケット提示により、ワンド

リンクサービス（ランチ時）を実施した。

広報が行き届かなかったのか、実績としては少なかった。（2組4人）

浜松市、彦根市の協力によりマスコットキャラクター「家康くん」「直虎ちゃん」「ひこにゃん」に開会式へ出席してもらい、また、今川さん製作委員会の協力により「今川さん」の観覧客お出迎え、記念撮影会などを開催してもらった。

- ・「庭園画の世界」展では、東京都内の庭園を管理する東京都公園協会に広報物の配布を依頼し、六義園では図録販売のポップ広告を掲示いただいた。
- ・「アートのなぞなぞ—高橋コレクション展」では、銀座蔦谷書店、NADiffa/p/a/r/t（東京・恵比寿）にて図録の販売を委託し、同社のネット等でも東京を中心に情報を発信した。

（8）職員による教育支援等の講義

- ・静岡大学の「新入生セミナー」（浦澤：6月19日）
- ・静岡大学との連携「大学生によるロダン館ギャラリートーク」（静岡大学「比較言語文化論Ⅰ」）の実施（泰井：講義2回、リハーサル1回を踏まえ、7月17日、22日、11月5日に実施）
- ・江戸東京博物館の講座「えどはくカルチャー」で「直虎の時代の絵画」をテーマに講義（石上：7月20日）
- ・愛知県立芸術大学の「博物館実習（集中講義）」（新田：9月19、20日）
- ・静岡県立大学の国際関係学部ムセイオン講座「MUSEUMと文化」にて、企画展ごとに、受講生にレクチャー（新田：4月18日、泰井：6月13日、野田：11月1日）
- ・東海大学の「博物館実習」（浦澤：11月26日）
- ・一般財団法人地域創造主催 第1回「美術館出前（オーダーメイド）型ゼミ」講師（泰井：「学芸員からみた行政」を講演、11月27日）
- ・「ロダン没後100年に寄せて」と静岡シネギャラリーとのコラボ企画・映画「ロダン カミーユと永遠のアトリエ」公開記念トーク（南：12月9日）
- ・研修機関との連携
自治研修所主催「新規採用職員研修」講義4回（泉：6月15、22、29日、泰井：7月6日）
自治研修所主催県職員向け夜間講座「美しき庭園画の世界」（野田：11月1日）
〃 「アートのなぞなぞ」（川谷：2月7日）

ムセイオン静岡

谷田地域の文化教育6機関（県立大学、美術館、中央図書館、埋蔵文化財センター、SPAC、グランシップ、ふじのくに地球環境史ミュージアム）が多分野における連携を進め、更なる文化の情報発信を目指した。

（1）「静岡協働イベント「文化の丘フェスタ」の実施

ムセイオン7施設を巡るスタンプラリー

平成29年10月21日（土）から11月5日（日）に実施し、76通の応募があった。

昨年度に引き続き、様々な広報手段を活用し、県内外への広報を推進した。

特に本年度は、県外への広報を強化した。

さらに、地域の文化施設や協賛企業等との協働による具体的な広報を進めた。

広報活動

- ① ホームページ、Facebook による情報発信に加え、インスタグラム、ツイッターを開始した
- ② 展覧会等イベント情報のマスコミへの資料提供
- ③ ポスター、チラシの配布、駅貼り、車内吊り
- ④ 県広報課との連携（県民だより、県政番組、ラジオ番組出演）
- ⑤ 広報サポーターへの情報提供
- ⑥ 展覧会共催者（新聞社・テレビ局）、協賛者（企業等）等との連携
- ⑦ 美術館ニュース「アマリリス」の発行
- ⑧ Google Art のサイト上でのコレクション画像やロダン館ストリートビューをPR

県有文化施設と協働した広報

- ① JR東海「さわやかウォーキング」9月18日清水駅コース、「2017 アート&トレイン」（7月14日～12月10日）への参加
- ② 「ふじのくに文化の丘フェスタ 2017」文化の丘スタンプラリーに参加
- ③ 「めぐりアート静岡」への参加

新たな広報

- ① インスタグラム、ツイッターによる情報発信
- ② 松坂屋静岡店の国道1号側壁面懸垂幕を、企画展毎に定期的活用

新たな取組

2017年がロダン没後100年に当たることから、ロダン没後100年記念事業として、フランスの女性彫刻家カミーユ・クローデルを題材にした朗読・音楽・パフォーマンス「ワルツ」の公演を開催して、国内で唯一ロダン作品を屋内で鑑賞できる当館の全国的認知の向上を図った。

女優の若村麻由美氏とパフォーマー坂東裕子氏の公演を、11月18、19日の夜間（18：30～）、ロダン館にて開催。チケットはチケットぴあに委託販売して完売し、全国からの観覧者を集めた。

また、ロダンの命日11月17日には、公開プレビューを行い多くのマスコミにとりあげられた。

若村麻由美氏がNHK日曜美術館に出演し、ロダン没後百年について語った際には、当館学芸員もゲスト出演し対談する等マスコミへの露出が増え、ロダン館のPRとなった。

平成 29 年度
静岡県立美術館評価業務
報 告 書

平成 30 年 3 月
静岡県立美術館

平成 29 年度 静岡県立美術館評価業務 報告書

目 次

1	調査概要	1
(1)	調査目的	1
(2)	実施概要	1
(3)	報告書内のデータ記述について	1
2	調査結果概要	2
(1)	結果概要	2
(2)	提言	2
3	美術館評価指標の現状値	3
4	展覧会アンケート結果	4
(1)	回収状況	4
(2)	観覧者の属性	6
(3)	観覧者の行動	12
(4)	展覧会の評価	24
5	レストランアンケート結果	44
(1)	実施数(回答数)	44
(2)	アンケート結果	44
6	カフェアンケート結果	51
(1)	実施数(回答数)	51
(2)	アンケート結果	51
7	ミュージアム・ショップアンケート結果	57
(1)	実施数(回答数)	57
(2)	アンケート結果	57
8	美術館ホームページアンケート結果	62
(1)	実施数(回答数)	62
(2)	アンケート結果	62
9	自由意見	65
<A	感想>	65
<B	要望>	74
<C	苦情>	79

1 調査概要

(1) 調査目的

静岡県立美術館では、評価委員会提言「評価と経営の確立に向けて」（平成 17 年 3 月）を踏まえ、館長公約を柱とする自己評価システムの体系を構築している。

今般、館の全体像を把握する評価指標を整理するためアンケートを実施した。

(2) 実施概要

	戦国！井伊直虎から直政へ		美しき庭園画の世界		アートのなぞなぞ	
会 期	平成 29 年 8 月 14 日 ～10 月 12 日		平成 29 年 10 月 21 日 ～12 月 10 日		平成 29 年 12 月 23 日 ～平成 30 年 2 月 28 日	
開催日数	52 日		44 日		55 日	
観覧者数	32,624 人		7,116 人		10,982 人	
1 日あたり平均観覧者数	627 人／日		162 人／日		200 人／日	
アンケート実施日	8 月 14 日 ～9 月 1 日	58 件	10 月 22 日 ～11 月 4 日	14 件	12 月 24 日 ～1 月 14 日	54 件
	9 月 2 日 ～9 月 22 日	30 件	11 月 10 日 ～11 月 23 日	15 件	1 月 18 日 ～2 月 7 日	120 件
	9 月 23 日 ～10 月 12 日	451 件	11 月 24 日 ～12 月 10 日	280 件	2 月 8 日 ～2 月 25 日	209 件
アンケート実施数	539 件		309 件		383 件	
回収率 ※観覧者数に占める実施の割合	1.7%		4.3%		3.5%	

平成 28 年度までは、展覧会の初盤、中盤、終盤の任意の日に調査員による対面調査により行っていた。平成 29 年度の今年度より展覧会開催中、調査票を出口付近に置き、来館者の自記式により調査を行った。回答が少ない展覧会では、調査票を配布または対面調査を行った。

(3) 報告書内のデータ記述について

- ・比率は全て百分率で表し、小数点第 2 位を四捨五入して算出した。そのために、比率の合計が 100% にならないことがある。
- ・基数とすべき実数は、表中に「件数」として記載した。比率はこの基数を 100% として算出している。
- ・質問の選択肢から複数回答を認めている場合、比率の合計は通常 100% を超える場合がある。
- ・平成 27 年度以前の報告書は、無回答を除いて割合を算出している。平成 28 年度は無回答を含み集計しており、平成 29 年度の今年度と比較をしたいため、本報告書中では無回答を含み集計をし、比較をしている。また、本報告書中の表で無回答がないのは、無回答が 0% である。

2 調査結果概要

(1) 結果概要

	戦国！井伊直虎から直政へ	美しき庭園画の世界	アートのなぞなぞ		
①展覧会満足度（展覧会別）	82.0%	84.1%	88.3%		
	平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度
②展覧会満足度（経年）	90.9%	94.2%	90.3%	88.6%	84.5%
③レストラン満足度	78.8%	73.1%	65.7%	76.7%	73.2%
④ミュージアム・ショップ満足度	86.1%	87.2%	92.1%	92.9%	90.5%
⑤ホームページ満足度	73.9%	72.5%	70.7%	72.2%	72.7%

(2) 提言

満足度と評価の相関係数

問	Q 4 ①	Q 4 ②	Q 4 ③	Q 4 ④	Q 4 ⑤	Q 4 ⑦
評 価	作品やテーマへの興味・関心の深まり	会場における観覧時の心地よさ	スタッフの対応の適切さ	展覧会のことを勧めたいか	情報の入手しやすさ	交通機関の利用のスムーズさ
戦国！井伊直虎から直政へ	0.615	0.572	0.571	0.492	0.467	0.492
美しき庭園画の世界	0.597	0.484	0.378	0.481	0.220	0.305
アートのなぞなぞ	0.594	0.604	0.573	0.568	0.446	0.476
全 体	0.589	0.559	0.523	0.510	0.393	0.437

※算出方法：展覧会の評価【Q 4 ①～⑦】の5段階評価を1点～5点に置き換えて相関係数を算出した。ただし無回答については「どちらともいえない（3点）」と換算した。

※相関係数：-1～1をとる係数で、0に近いほど相関は薄い。1に近づくほど正の相関がある、-1に近づくほど負の相関がある。(0.0～±0.2…ほとんど相関がない／±0.2～±0.4…やや相関がある／±0.4～±0.7…相関がある／±0.7～±0.9…強い相関がある／±0.9～±1.0…極めて強い相関がある)

相関係数をみると、評価が高いほど満足度も高い傾向にある項目は、下表のとおり。

戦国！井伊直虎から直政へ	1位	作品やテーマへの興味・関心の深まり	0.615
	2位	会場における観覧時の心地よさ	0.572
	3位	スタッフの対応の適切さ	0.571
美しき庭園画の世界	1位	作品やテーマへの興味・関心の深まり	0.597
	2位	会場における観覧時の心地よさ	0.484
	3位	展覧会のことを勧めたいか	0.481
アートのなぞなぞ	1位	会場における観覧時の心地よさ	0.604
	2位	作品やテーマへの興味・関心の深まり	0.594
	3位	スタッフの対応の適切さ	0.573
全 体	1位	作品やテーマへの興味・関心の深まり	0.589
	2位	会場における観覧時の心地よさ	0.559
	3位	スタッフの対応の適切さ	0.523

3 美術館評価指標の現状値

			H28 実績	H29 実績	展覧会			
					A*	B*	C*	
A	2	展覧会リピート率	80.4%	74.2%	70.1%	77.0%	77.8%	
	3	展覧会満足度	88.6%	84.5%	82.0%	84.1%	88.3%	
	8	鑑賞環境満足度	90.5%	86.9%	84.8%	87.7%	89.3%	
B	23	風景美術館認知度	72.8%	64.2%	56.2%	65.0%	74.7%	
C	25	情報が「入手しやすい」	75.2%	71.9%	76.3%	67.6%	69.2%	
	26	公共交通機関アクセス満足度	77.5%	72.5%	70.1%	74.1%	73.8%	
	27	自家用車アクセス満足度	76.0%	62.6%	53.2%	66.1%	73.5%	
	29	スタッフ対応満足度	85.0%	82.4%	77.7%	85.1%	86.7%	
	34	レストラン満足度	76.7%	73.2%				
	36	ミュージアム・ショップ満足度	92.9%	90.5%				
D	46	ホームページ満足度	72.2%	72.7%				
	51	展覧会での新規観覧者の割合	19.0%	25.5%	29.9%	22.7%	21.7%	
	52	展覧会での新規観覧者満足度	91.5%	85.7%	83.2%	82.9%	92.8%	
	53	地域別利用者割合	東部	16.8%	11.8%	10.6%	12.0%	13.3%
			中部	58.0%	49.1%	44.9%	53.7%	51.4%
			西部	12.9%	20.7%	31.5%	10.7%	13.6%
			県外	11.6%	17.5%	12.2%	22.3%	20.9%
54	2・3世代観覧割合	32.8%	37.8%	41.3%	23.6%	42.1%		

* 展覧会 A・・・戦国！井伊直虎から直政へ
 展覧会 B・・・美しき庭園画の世界
 展覧会 C・・・アートのなぞなぞ

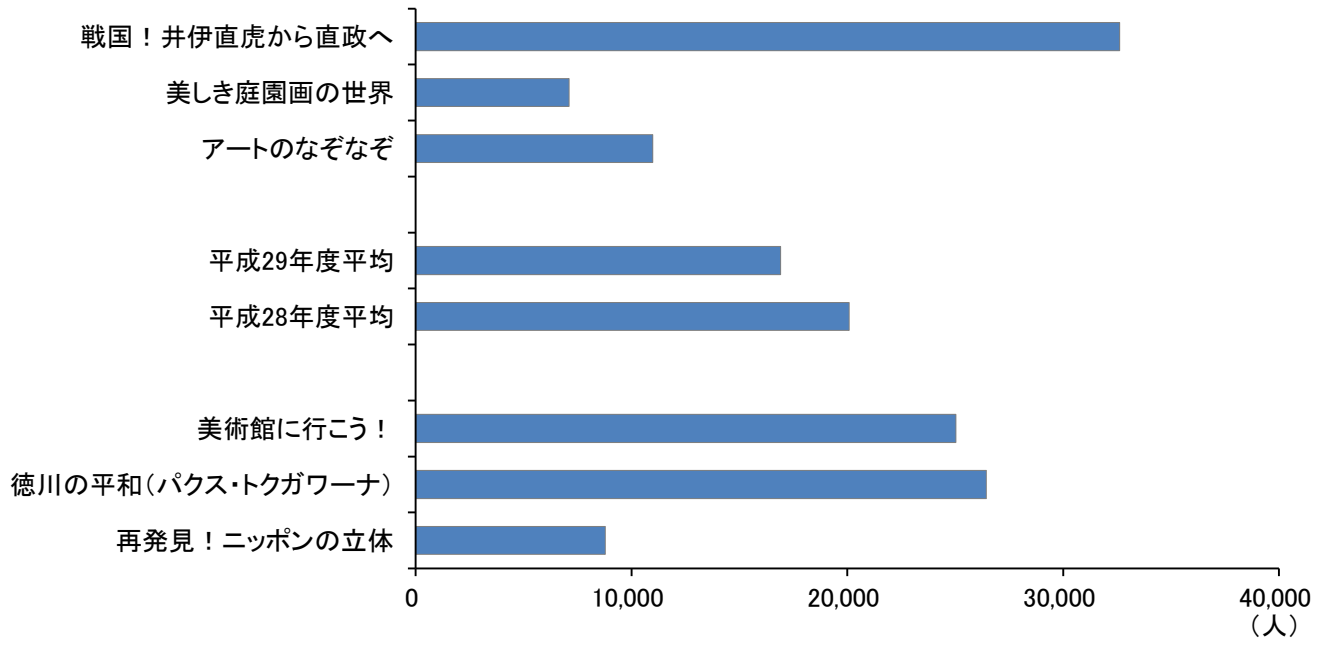
4 展覧会アンケート結果

(1) 回収状況

		観覧者数 (人)	回収数 (件)	回収率 (%)
平成 29 年度	戦国！井伊直虎から直政へ	32,624	539	1.7
	美しき庭園画の世界	7,116	309	4.3
	アートのなぞなぞ	10,982	383	3.5

経 年	平成 29 年度平均	16,907	410	2.4
	平成 28 年度平均	20,085	412	2.1

平成 28 年度	美術館に行こう！	25,030	392	1.6
	徳川の平和（パクス・トクガワーナ）	26,442	447	1.7
	再発見！ニッポンの立体	8,783	398	4.5



(2) 観覧者の属性

① 性別

全体

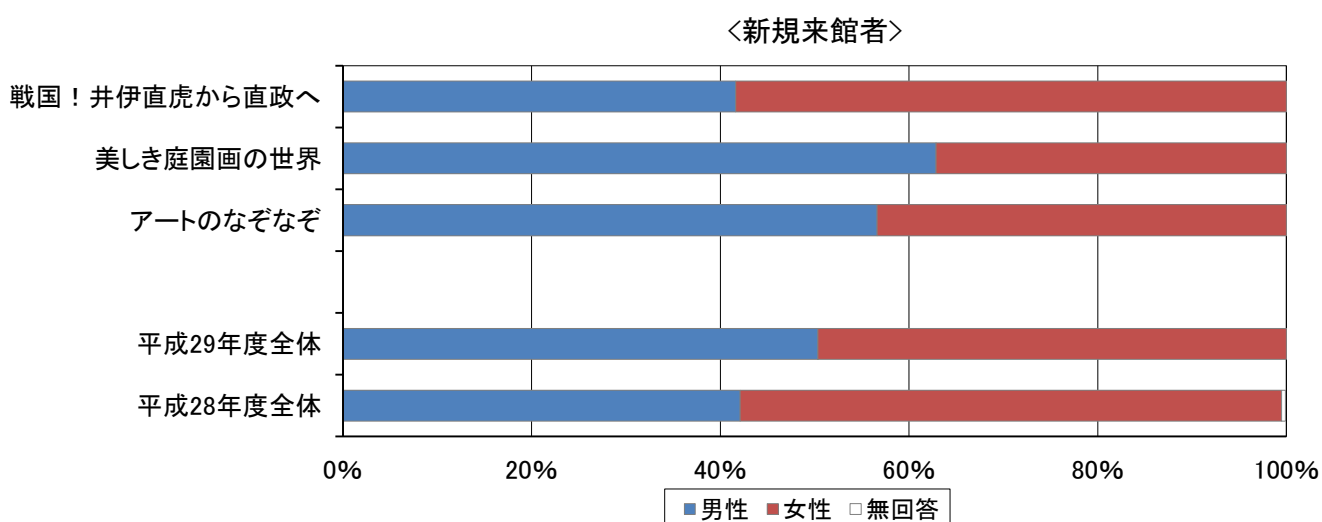
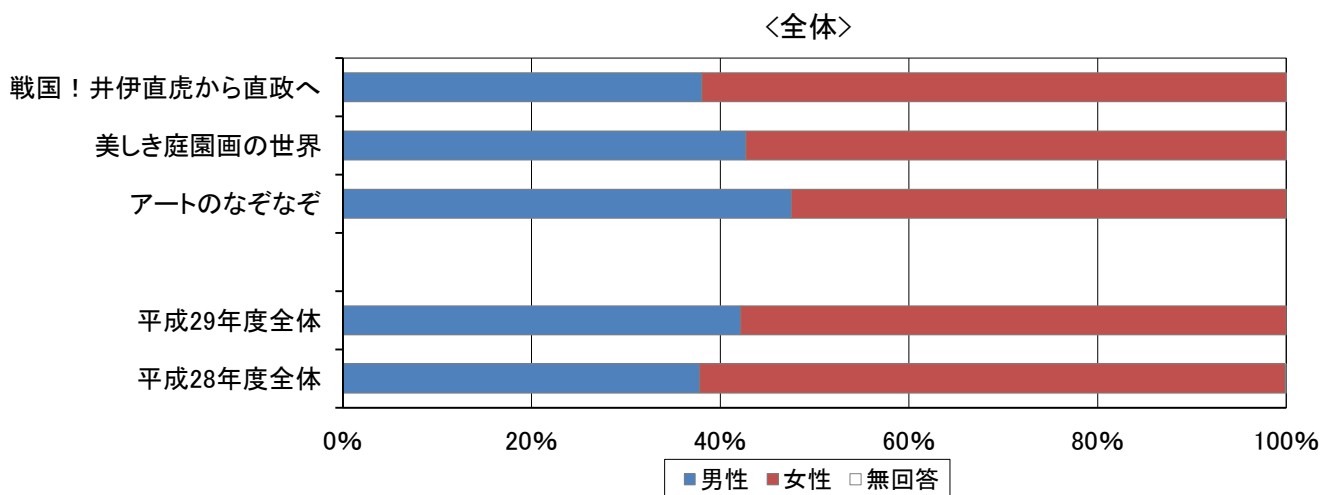
		件数 (件)	男性	女性	無回答
平成 29 年度	戦国！井伊直虎から直政へ	539	38.0	62.0	0.0
	美しき庭園画の世界	309	42.7	57.3	0.0
	アートのなぞなぞ	383	47.5	52.5	0.0
経 年	平成 29 年度全体	1231	42.2	57.8	0.0
	平成 28 年度全体	1237	37.8	62.1	0.1
平成 28 年度	美術館に行こう！	392	23.5	76.5	0.0
	徳川の平和（パクス・トクガワーナ）	447	43.0	56.8	0.2
	再発見！ニッポンの立体	398	46.2	53.8	0.0

単位：％

新規来館者

		件数 (件)	男性	女性	無回答
平成 29 年度	戦国！井伊直虎から直政へ	161	41.6	58.4	0.0
	美しき庭園画の世界	70	62.9	37.1	0.0
	アートのなぞなぞ	83	56.6	43.4	0.0
経 年	平成 29 年度全体	314	50.3	49.7	0.0
	平成 28 年度全体	235	42.1	57.4	0.4
平成 28 年度	美術館に行こう！	92	26.1	73.9	0.0
	徳川の平和（パクス・トクガワーナ）	81	46.9	51.9	1.2
	再発見！ニッポンの立体	62	59.7	40.3	0.0

単位：％



性別について、平成 29 年度全体は、「男性」が 42.2%、「女性」が 57.8%と、平成 28 年度全体より「男性」が 4.4 ポイント高くなり、「女性」が 4.3 ポイント低くなっている。

展覧会別にみると、「男性」が最も高いのは、『アートのなぞなぞ』の 47.5%となっている。「女性」が最も高いのは、『戦国！井伊直虎から直政へ』の 62.0%となっている。

新規来館者の平成 29 年度全体は、「男性」が 50.3%、「女性」が 49.7%と、平成 28 年度全体より「男性」が 8.2 ポイント高くなり、「女性」が 7.7 ポイント低くなっている。

展覧会別にみると、「男性」が最も高いのは、『美しき庭園画の世界』の 62.9%、「女性」が最も高いのは、『戦国！井伊直虎から直政へ』の 58.4%となっている。

② 年齢

全体

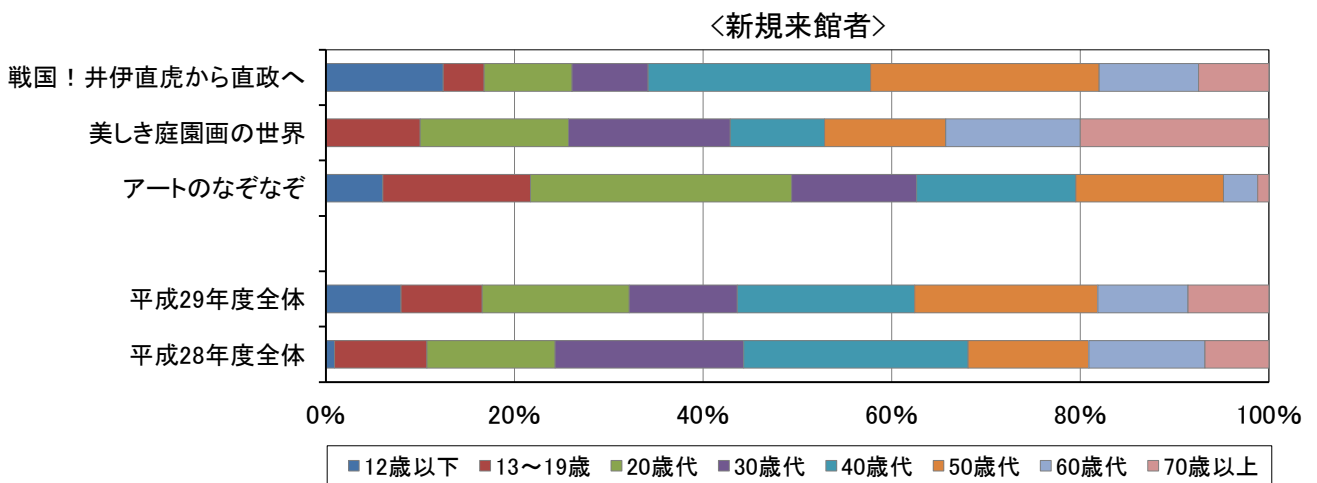
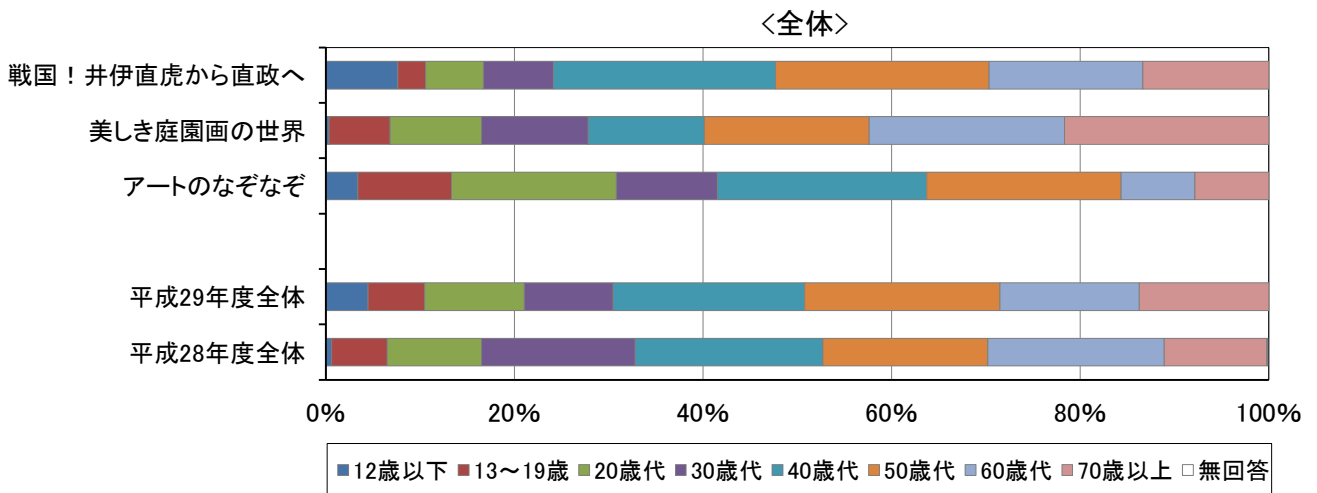
		件数 (件)	12 歳 以下	13 ～ 19 歳	20 歳 代	30 歳 代	40 歳 代	50 歳 代	60 歳 代	70 歳 以上	無 回 答
平成 29 年度	戦国！井伊直虎から直政へ	539	7.6	3.0	6.1	7.4	23.6	22.6	16.3	13.4	0.0
	美しき庭園画の世界	309	0.3	6.5	9.7	11.3	12.3	17.5	20.7	21.7	0.0
	アートのなぞなぞ	383	3.4	9.9	17.5	10.7	22.2	20.6	7.8	7.8	0.0
経 年	平成 29 年度全体	1231	4.5	6.0	10.6	9.4	20.3	20.7	14.8	13.7	0.0
	平成 28 年度全体	1237	0.6	5.9	10.0	16.3	19.9	17.5	18.7	10.9	0.1
平成 28 年度	美術館に行こう！	392	0.5	10.5	14.0	31.6	21.7	13.0	5.4	3.3	0.0
	徳川の平和（パクス・トクガワーナ）	447	0.4	1.6	5.1	7.6	17.2	19.7	31.1	17.0	0.2
	再発見！ニッポンの立体	398	1.0	6.3	11.6	11.1	21.1	19.6	17.8	11.6	0.0

単位：%

新規来館者

		件数 (件)	12 歳 以下	13 ～ 19 歳	20 歳 代	30 歳 代	40 歳 代	50 歳 代	60 歳 代	70 歳 以上
平成 29 年度	戦国！井伊直虎から直政へ	161	12.4	4.3	9.3	8.1	23.6	24.2	10.6	7.5
	美しき庭園画の世界	70	0.0	10.0	15.7	17.1	10.0	12.9	14.3	20.0
	アートのなぞなぞ	83	6.0	15.7	27.7	13.3	16.9	15.7	3.6	1.2
経 年	平成 29 年度全体	314	8.0	8.6	15.6	11.5	18.8	19.4	9.6	8.6
	平成 28 年度全体	235	0.9	9.8	13.6	20.0	23.8	12.8	12.3	6.8
平成 28 年度	美術館に行こう！	92	2.2	18.5	18.5	38.0	17.4	3.3	1.1	1.1
	徳川の平和（パクス・トクガワーナ）	81	0.0	1.2	7.4	6.2	23.5	18.5	27.2	16.0
	再発見！ニッポンの立体	62	0.0	8.1	14.5	11.3	33.9	19.4	9.7	3.2

単位：%



年齢について、平成29年度全体は、「50歳代」が20.7%と最も高く、次いで「40歳代」が20.3%、「60歳代」が14.8%の順となっている。

展覧会別にみると、『美しき庭園画の世界』では他の展覧会と比べて「70歳以上」が21.7%と高く、また『アートのなぞなぞ』では「20歳代」が17.5%と高くなっている。

新規来館者の平成29年度全体は、「50歳代」が19.4%と最も高く、次いで「40歳代」が18.8%、「20歳代」が15.6%の順となっている。

展覧会別にみると、『戦国！井伊直虎から直政へ』では「50歳代」が24.2%、「40歳代」が23.6%と高く、次いで「12歳以下」が12.4%と他の展覧会と比べて高くなっている。『美しき庭園画の世界』では「70歳以上」が20.0%と他の展覧会と比べて高くなっている。『アートのなぞなぞ』では「20歳代」が27.7%と他の展覧会と比べて高くなっている。

③ 居住地

全体

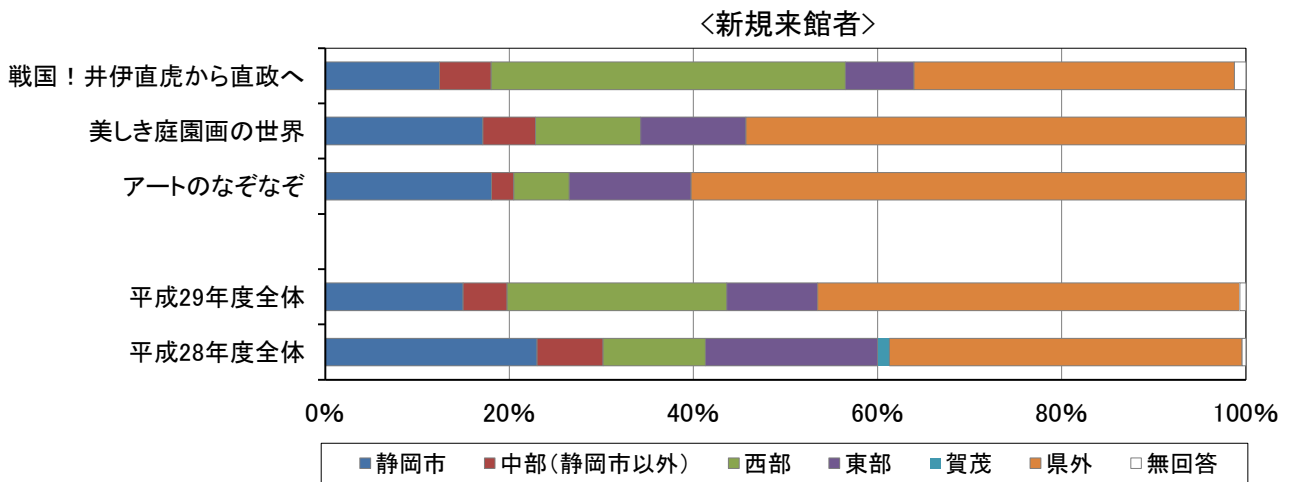
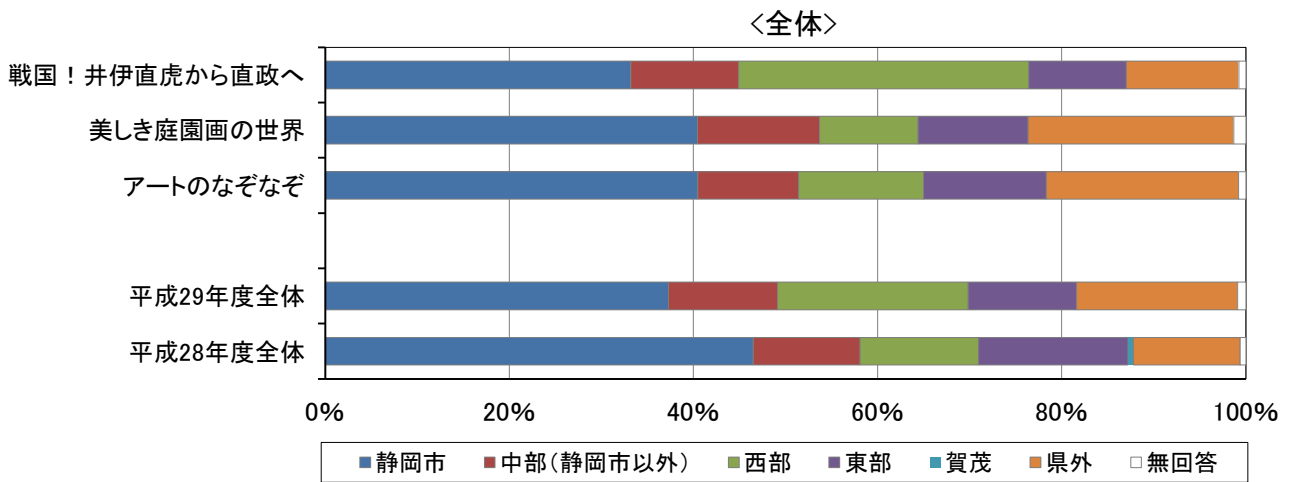
		件数 (件)	静岡市	中部 (静岡市以外)	西部	東部	賀茂	県外	無回答
平成 29 年度	戦国！井伊直虎から直政へ	539	33.2	11.7	31.5	10.6	0.0	12.2	0.7
	美しき庭園画の世界	309	40.5	13.3	10.7	12.0	0.0	22.3	1.3
	アートのなぞなぞ	383	40.5	11.0	13.6	13.3	0.0	20.9	0.8
経 年	平成 29 年度全体	1231	37.3	11.9	20.7	11.8	0.0	17.5	0.9
	平成 28 年度全体	1237	46.5	11.6	12.9	16.2	0.6	11.6	0.6
平成 28 年度	美術館に行こう！	392	54.8	12.8	9.4	16.3	0.3	5.9	0.5
	徳川の平和（パクス・トクガワーナ）	447	36.9	11.4	15.7	17.2	0.4	18.1	0.2
	再発見！ニッポンの立体	398	49.0	10.6	13.3	15.1	1.0	10.1	1.0

単位：％

新規来館者

		件数 (件)	静岡市	中部 (静岡市以外)	西部	東部	賀茂	県外	無回答
平成 29 年度	戦国！井伊直虎から直政へ	161	12.4	5.6	38.5	7.5	0.0	34.8	1.2
	美しき庭園画の世界	70	17.1	5.7	11.4	11.4	0.0	54.3	0.0
	アートのなぞなぞ	83	18.1	2.4	6.0	13.3	0.0	60.2	0.0
経 年	平成 29 年度全体	314	15.0	4.8	23.9	9.9	0.0	45.9	0.6
	平成 28 年度全体	235	23.0	7.2	11.1	18.7	1.3	38.3	0.4
平成 28 年度	美術館に行こう！	92	42.4	13.0	10.9	21.7	0.0	12.0	0.0
	徳川の平和（パクス・トクガワーナ）	81	7.4	2.5	9.9	12.3	0.0	66.7	1.2
	再発見！ニッポンの立体	62	14.5	4.8	12.9	22.6	4.8	40.3	0.0

単位：％



居住地について、平成29年度全体は、「静岡市」が37.3%と最も高く、次いで「西部」が20.7%、「県外」が17.5%の順となっている。

展覧会別にみると、『戦国！井伊直虎から直政へ』では「西部」が31.5%と他の展覧会と比べて高くなっている。また、『美しき庭園画の世界』と『アートのなぞなぞ』では、「静岡市」と「中部（静岡市以外）」を合わせた「中部」が半数を超えている。

新規来館者の平成29年度全体は、「県外」が45.9%と最も高く、次いで「西部」が23.9%、「静岡市」が15.0%の順となっている。

展覧会別にみると、『戦国！井伊直虎から直政へ』では「西部」が38.5%と他の展覧会と比べて高くなっている。『美しき庭園画の世界』と『アートのなぞなぞ』では「県外」が半数を超えている。

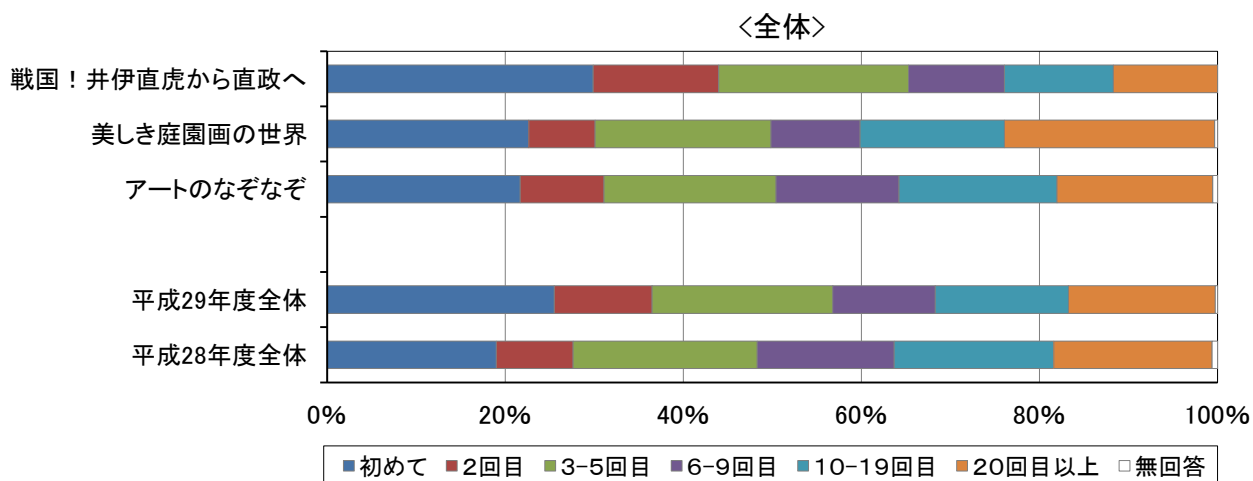
(3) 観覧者の行動

① 美術館への来館回数

全体

		件数 (件)	初めて	2 回目	3 - 5 回目	6 - 9 回目	10 - 19 回目	20 回目 以上	無 回 答
平成 29 年度	戦国！井伊直虎から直政へ	539	29.9	14.1	21.3	10.8	12.2	11.7	0.0
	美しき庭園画の世界	309	22.7	7.4	19.7	10.0	16.2	23.6	0.3
	アートのなぞなぞ	383	21.7	9.4	19.3	13.8	17.8	17.5	0.5
経 年	平成 29 年度全体	1231	25.5	11.0	20.3	11.5	14.9	16.5	0.2
	平成 28 年度全体	1237	19.0	8.6	20.7	15.4	17.9	17.8	0.6
平成 28 年度	美術館に行こう！	392	23.5	11.0	23.0	16.3	14.0	12.0	0.3
	徳川の平和（パクス・トクガワーナ）	447	18.1	6.9	18.8	17.2	20.6	17.0	1.3
	再発見！ニッポンの立体	398	15.6	8.0	20.6	12.6	18.8	24.4	0.0

単位：％



美術館への来館回数について、平成29年度全体は、「初めて」が25.5%と最も高く、次いで「3-5回目」が20.3%、「20回目以上」が16.5%の順となっている。

展覧会別にみると、「初めて」が最も高いのは『戦国！井伊直虎から直政へ』の29.9%で、次いで『美しき庭園画の世界』が22.7%、『アートのなぞなぞ』が21.7%の順となっている。

② 来館時の人数

全体

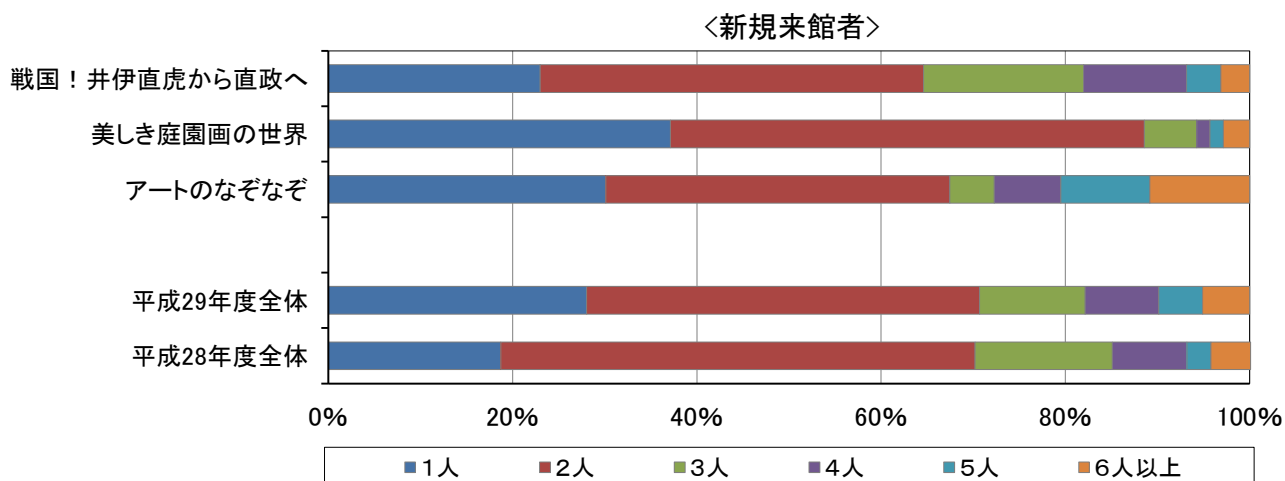
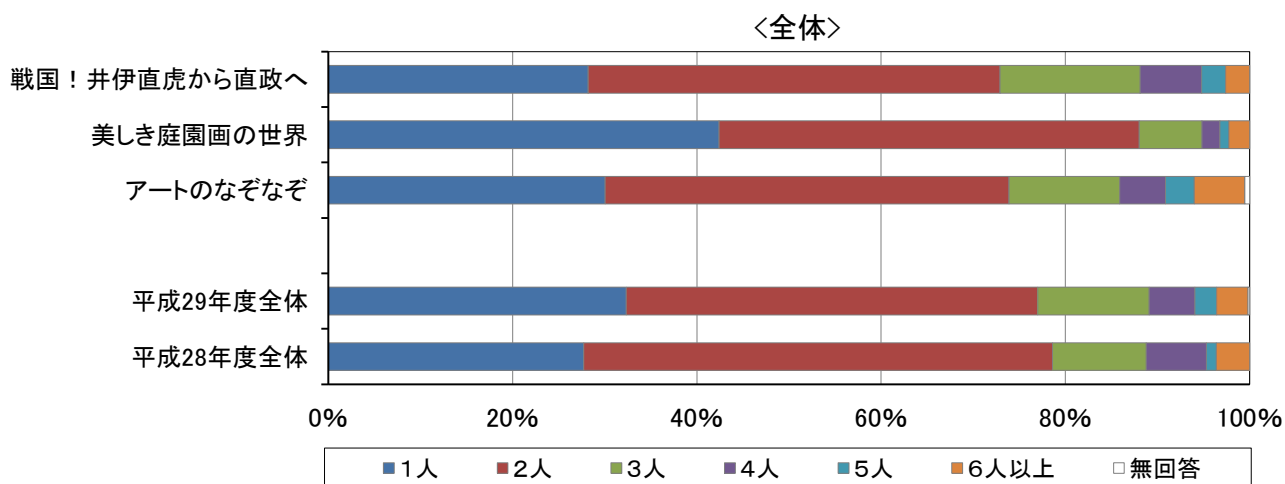
		件数 (件)	1 人	2 人	3 人	4 人	5 人	6 人以上	無 回 答
平成 29 年度	戦国！井伊直虎から直政へ	539	28.2	44.7	15.2	6.7	2.6	2.6	0.0
	美しき庭園画の世界	309	42.4	45.6	6.8	1.9	1.0	2.3	0.0
	アートのなぞなぞ	383	30.0	43.9	12.0	5.0	3.1	5.5	0.5
経 年	平成 29 年度全体	1231	32.3	44.7	12.1	5.0	2.4	3.4	0.2
	平成 28 年度全体	1237	27.7	50.9	10.2	6.5	1.1	3.6	0.0
平成 28 年度	美術館に行こう！	392	19.1	43.9	18.6	11.5	2.0	4.8	0.0
	徳川の平和（パクス・トクガワーナ）	447	26.2	60.4	7.2	3.1	0.4	2.7	0.0
	再発見！ニッポンの立体	398	37.9	47.2	5.3	5.3	1.0	3.3	0.0

単位：％

新規来館者

		件数 (件)	1 人	2 人	3 人	4 人	5 人	6 人以上
平成 29 年度	戦国！井伊直虎から直政へ	161	23.0	41.6	17.4	11.2	3.7	3.1
	美しき庭園画の世界	70	37.1	51.4	5.7	1.4	1.4	2.9
	アートのなぞなぞ	83	30.1	37.3	4.8	7.2	9.6	10.8
経 年	平成 29 年度全体	314	28.0	42.7	11.5	8.0	4.8	5.1
	平成 28 年度全体	235	18.7	51.5	14.9	8.1	2.6	4.3
平成 28 年度	美術館に行こう！	92	10.9	44.6	25.0	13.0	2.2	4.3
	徳川の平和（パクス・トクガワーナ）	81	21.0	60.5	8.6	3.7	1.2	4.9
	再発見！ニッポンの立体	62	27.4	50.0	8.1	6.5	4.8	3.2

単位：％



来館時の人数について、平成 29 年度全体は、「2 人」が 44.7%と最も高く、次いで「1 人」が 32.3%、「3 人」が 12.1%の順となっている。

展覧会別にみると、『美しき庭園画の世界』では「1 人」が 42.4%と他の展覧会と比べて高くなっている。

新規来館者の平成 29 年度全体は、「2 人」が 42.7%と最も高く、次いで「1 人」が 28.0%、「3 人」が 11.5%の順になっている。

展覧会別にみると、『戦国！井伊直虎から直政へ』では「3 人」が 17.4%と他の展覧会と比べて高くなっている。『美しき庭園画の世界』では「2 人」が 51.4%と他の展覧会と比べて高くなっている。『アートのかなぞ』では「6 人以上」が 10.8%と他の展覧会と比べて高くなっている。

③ 当日の来館の同行者（複数回答可）

来館時の人数で、2人以上で来館したと回答した方のみ

全体

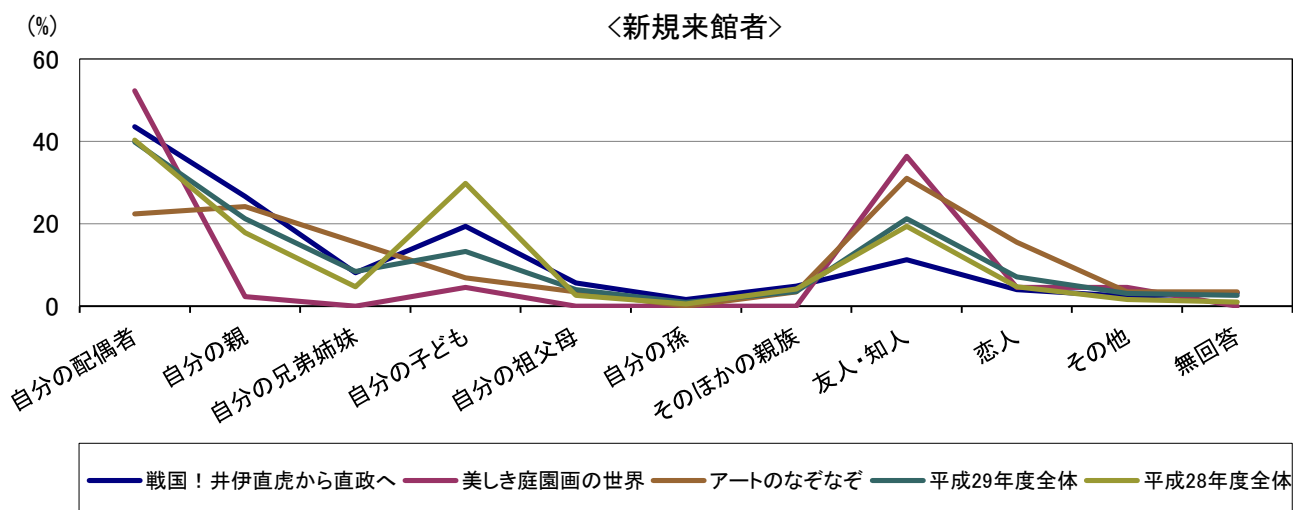
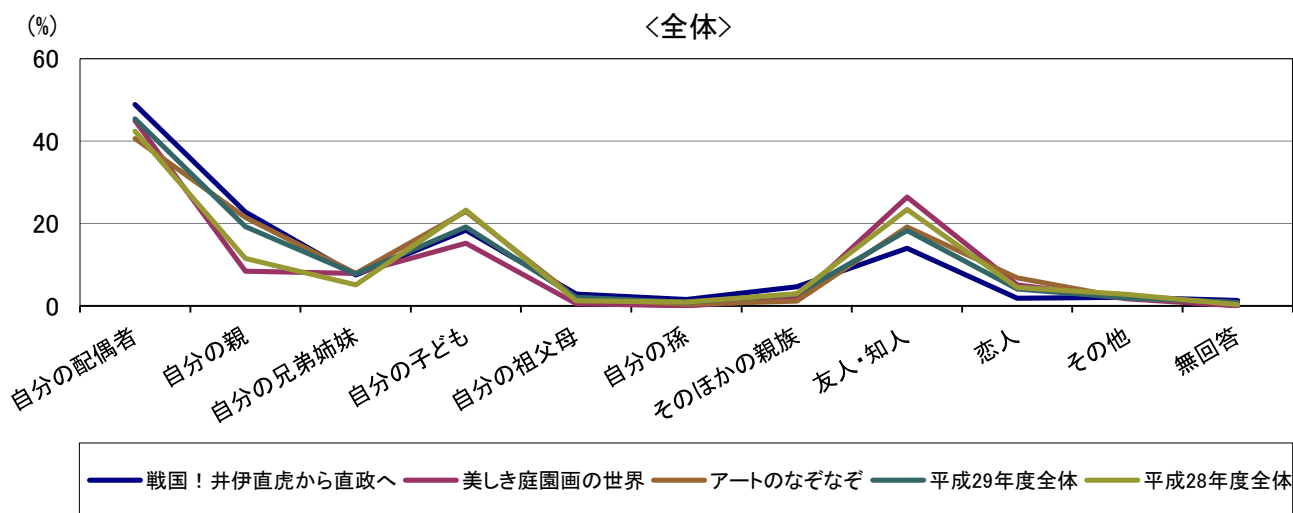
		件数 (件)	自分の 配偶者	自分の 親	姉妹 自分の 兄弟	自分の 子ども	自分の 祖父母	自分の 孫	親族 そのほかの	友人・ 知人	恋人	その他	無 回答
平成 29 年度	戦国！井伊直虎から直政へ	387	48.8	22.7	7.5	18.3	2.8	1.6	4.7	14.0	1.8	2.1	1.3
	美しき庭園画の世界	178	44.9	8.4	7.9	15.2	0.6	0.0	1.7	26.4	5.1	1.7	0.0
	アートのなぞなぞ	266	40.6	21.4	7.9	22.9	1.9	0.4	1.1	19.2	6.8	1.9	0.8
経 年	平成 29 年度全体	831	45.4	19.3	7.7	19.1	2.0	0.8	2.9	18.3	4.1	1.9	0.8
	平成 28 年度全体	894	42.4	11.5	5.1	23.2	1.2	0.9	2.9	23.4	4.5	2.8	0.3
平成 28 年度	美術館に行こう！	317	29.0	12.9	6.0	44.8	0.6	1.6	2.5	25.2	3.2	5.0	0.3
	徳川の平和（パクス・トク ガワーナ）	330	58.2	10.0	6.1	10.6	1.5	0.6	3.3	20.0	2.4	0.0	0.3
	再発見！ニッポンの立体	247	38.5	11.7	2.8	12.1	1.6	0.4	2.8	25.5	8.9	3.6	0.4

単位：%

新規来館者

		件数 (件)	自分の 配偶者	自分の 親	姉妹 自分の 兄弟	自分の 子ども	自分の 祖父母	自分の 孫	親族 そのほかの	友人・ 知人	恋人	その他	無 回答
平成 29 年度	戦国！井伊直虎から直政へ	124	43.5	26.6	8.1	19.4	5.6	1.6	4.8	11.3	4.0	2.4	3.2
	美しき庭園画の世界	44	52.3	2.3	0.0	4.5	0.0	0.0	0.0	36.4	4.5	4.5	0.0
	アートのなぞなぞ	58	22.4	24.1	15.5	6.9	3.4	0.0	3.4	31.0	15.5	3.4	3.4
経 年	平成 29 年度全体	226	39.8	21.2	8.4	13.3	4.0	0.9	3.5	21.2	7.1	3.1	2.7
	平成 28 年度全体	191	40.3	17.8	4.7	29.8	2.6	0.5	4.2	19.4	4.7	1.6	1.0
平成 28 年度	美術館に行こう！	82	28.0	17.1	6.1	51.2	1.2	1.2	1.2	19.5	3.7	3.7	1.2
	徳川の平和（パクス・トク ガワーナ）	64	59.4	20.3	4.7	9.4	1.6	0.0	7.8	15.6	3.1	0.0	0.0
	再発見！ニッポンの立体	45	35.6	15.6	2.2	20.0	6.7	0.0	4.4	24.4	8.9	0.0	2.2

単位：%



当日の来館の同行者について、平成 29 年度全体は、「自身の配偶者」が 45.4%と最も高く、次いで「自分の親」が 19.3%、「自己的孩子」が 19.1%の順となっている。

展覧会別にみると、『美しき庭園画の世界』では、「友人・知人」が 26.4%と他の展覧会と比べて高くなっている。

新規来館者の平成 29 年度全体は、「自身の配偶者」が 39.8%と最も高く、次いで「自分の親」と「友人・知人」が 21.2%の順となっている。

展覧会別にみると、『戦国！井伊直虎から直政へ』では「自己的孩子」が 19.4%と他の展覧会と比べて高くなっている。『アートのなぞなぞ』では「恋人」が 15.5%と他の展覧会と比べて高くなっている。

④ 展覧会に来たきっかけ・理由（複数回答可）

全体

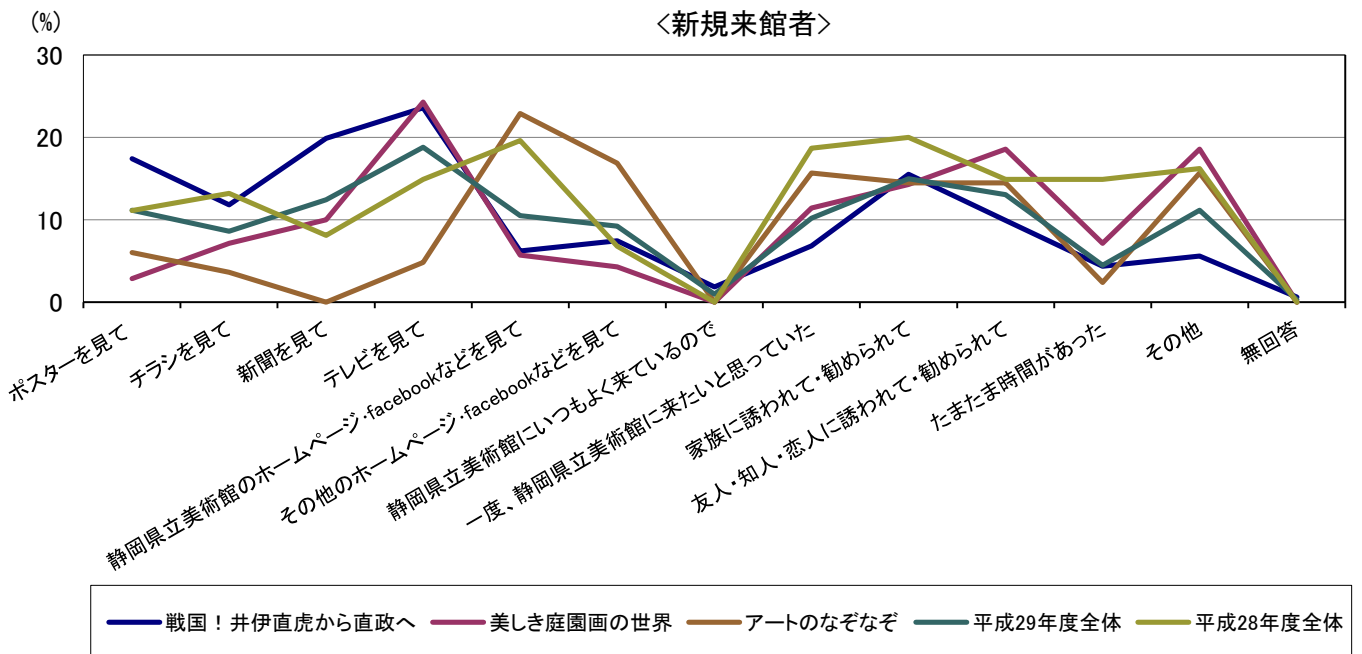
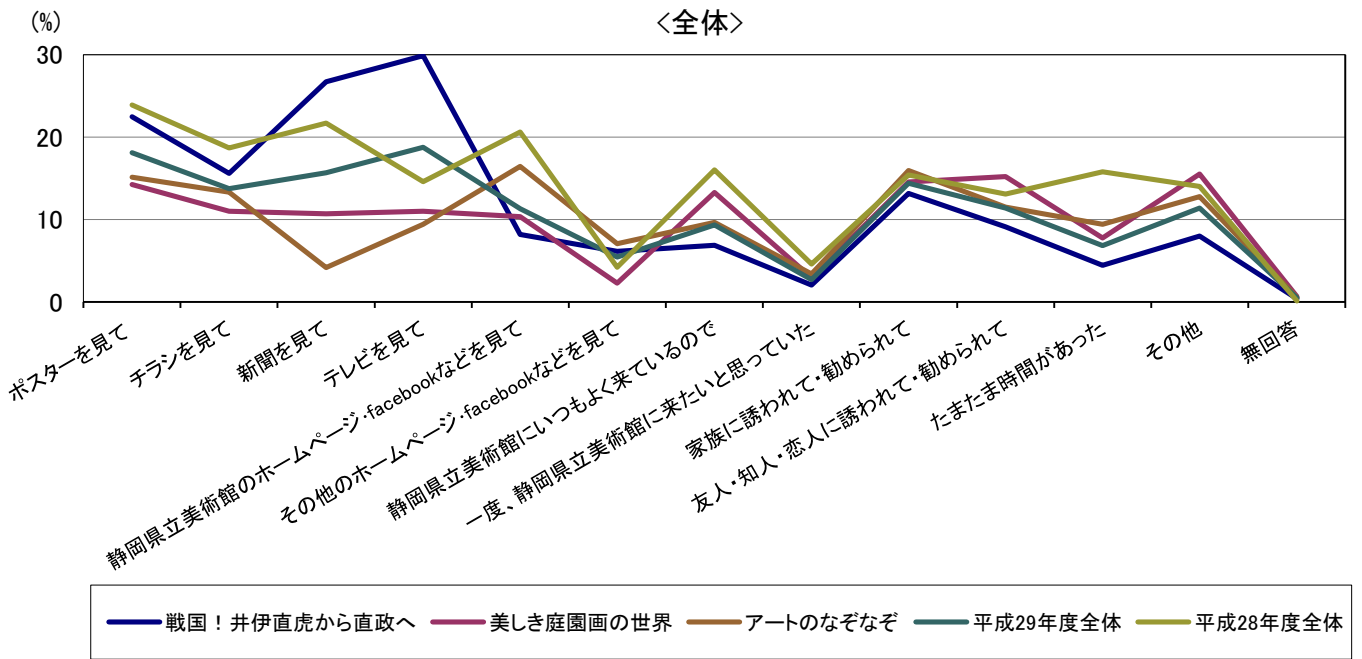
		件数 (件)	ポスターを見て	チラシを見て	新聞を見て	テレビを見て	facebookなどを見て	静岡立美術館のホームページ facebookなどを見て	その他のホームページ facebookなどを見て	静岡立美術館に いつもよく来ているので	一度、静岡立美術館に 来たいと思っていた	家族に誘われて・ 勧められて	友人・知人・恋人に 誘われて・勧められて	たまたま時間があつた	その他	無回答
平成 29 年度	戦国！井伊直虎から直政へ	539	22.4	15.6	26.7	29.9	8.2	6.1	6.9	2.0	13.2	9.1	4.5	8.0	0.4	
	美しき庭園画の世界	309	14.2	11.0	10.7	11.0	10.4	2.3	13.3	2.9	14.6	15.2	7.8	15.5	0.6	
	アートのなぞなぞ	383	15.1	13.3	4.2	9.4	16.4	7.0	9.7	3.4	15.9	11.5	9.4	12.8	0.5	
経 年	平成 29 年度全体	1231	18.1	13.7	15.7	18.8	11.3	5.4	9.3	2.7	14.4	11.4	6.8	11.4	0.5	
	平成 28 年度全体	1237	23.9	18.7	21.7	14.6	20.6	4.2	16.0	4.6	15.4	13.1	15.8	14.0	0.1	
平成 28 年度	美術館に行こう！	392	29.3	25.0	7.4	11.2	20.4	4.6	11.7	5.9	16.8	12.0	16.6	18.9	0.0	
	徳川の平和（パクス・トクガワナ）	447	19.9	13.6	42.3	17.7	21.5	3.1	15.4	3.6	16.8	11.9	11.9	8.9	0.0	
	再発見！ニッポンの立体	398	23.1	18.1	12.8	14.3	19.8	5.0	20.9	4.5	12.3	15.6	19.6	14.8	0.3	

単位：％

新規来館者

		件数 (件)	ポスターを見て	チラシを見て	新聞を見て	テレビを見て	facebookなどを見て	静岡立美術館のホームページ facebookなどを見て	その他のホームページ facebookなどを見て	静岡立美術館に いつもよく来ているので	一度、静岡立美術館に 来たいと思っていた	家族に誘われて・ 勧められて	友人・知人・恋人に 誘われて・勧められて	たまたま時間があつた	その他	無回答
平成 29 年度	戦国！井伊直虎から直政へ	161	17.4	11.8	19.9	23.6	6.2	7.5	1.9	6.8	15.5	9.9	4.3	5.6	0.6	
	美しき庭園画の世界	70	2.9	7.1	10.0	24.3	5.7	4.3	0.0	11.4	14.3	18.6	7.1	18.6	0.0	
	アートのなぞなぞ	83	6.0	3.6	0.0	4.8	22.9	16.9	0.0	15.7	14.5	14.5	2.4	15.7	0.0	
経 年	平成 29 年度全体	314	11.1	8.6	12.4	18.8	10.5	9.2	1.0	10.2	15.0	13.1	4.5	11.1	0.3	
	平成 28 年度全体	235	11.1	13.2	8.1	14.9	19.6	6.8	0.0	18.7	20.0	14.9	14.9	16.2	0.0	
平成 28 年度	美術館に行こう！	92	19.6	22.8	1.1	17.4	16.3	3.3	0.0	16.3	21.7	10.9	16.3	21.7	0.0	
	徳川の平和（パクス・トクガワナ）	81	7.4	4.9	16.0	11.1	25.9	6.2	0.0	18.5	22.2	12.3	13.6	13.6	0.0	
	再発見！ニッポンの立体	62	3.2	9.7	8.1	16.1	16.1	12.9	0.0	22.6	14.5	24.2	14.5	11.3	0.0	

単位：％



展覧会に来たきっかけ・理由について、平成29年度全体は、「テレビを見て」が18.8%と最も高く、次いで「ポスターを見て」が18.1%、「新聞を見て」が15.7%の順になっている。

展覧会別にみると、『戦国！井伊直虎から直政へ』では「テレビを見て」が29.9%と最も高く、『美しき庭園画の世界』では「その他」が15.5%、『アートのなぞなぞ』では「静岡県立美術館のホームページ・facebookなどを見て」が16.4%となっている。『戦国！井伊直虎から直政へ』では、「新聞を見て」26.7%と「テレビを見て」29.9%が、他の展覧会と比較し高くなっている。

新規来館者の平成29年度全体は、「テレビを見て」が18.8%と最も高く、次いで「家族に誘われて・勧められて」が15.0%、「友人・知人・恋人に誘われて・勧められて」が13.1%の順になっている。

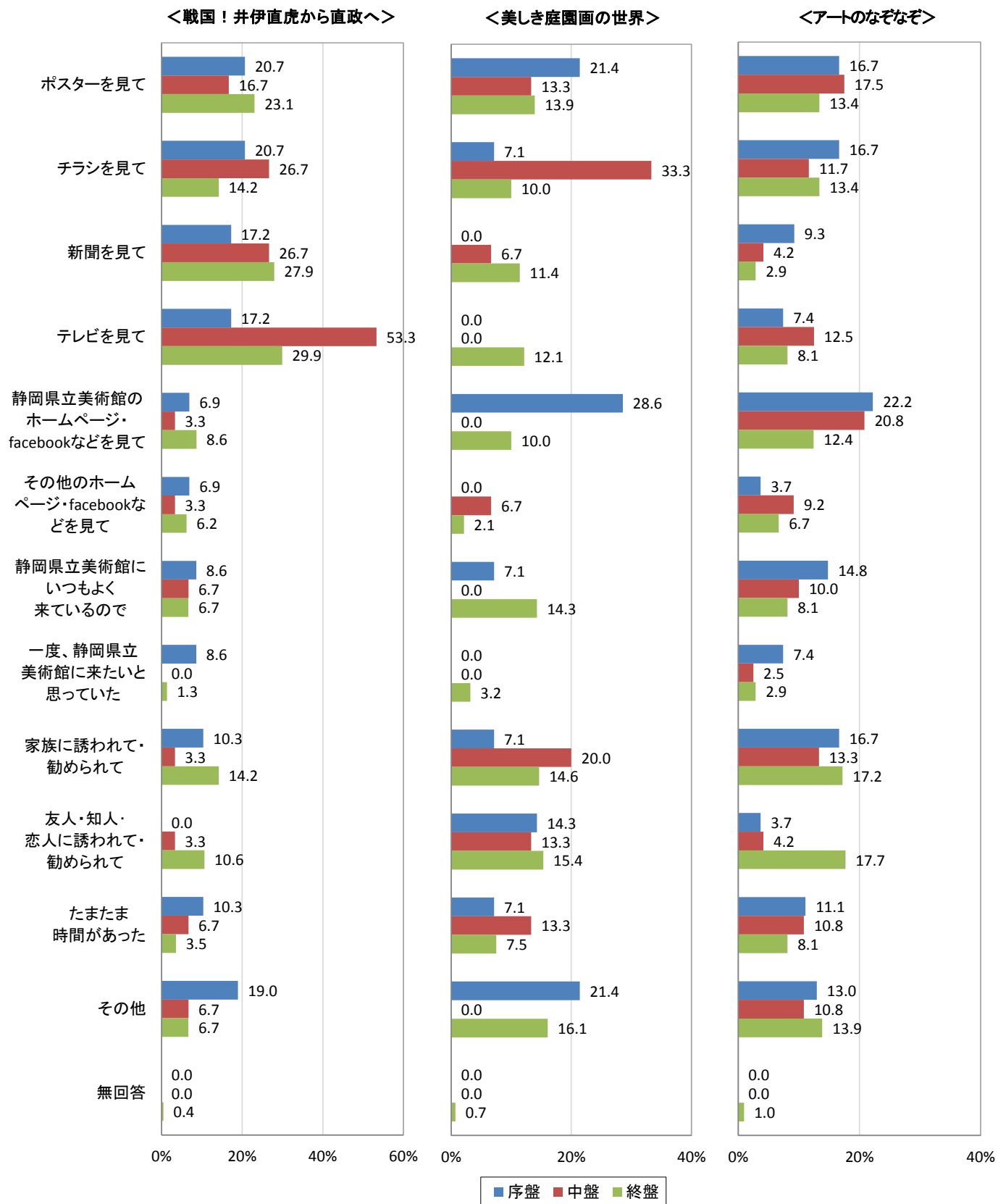
展覧会別にみると、『戦国！井伊直虎から直政へ』では「テレビを見て」が23.6%と最も高く、『美しき庭園画の世界』では「テレビを見て」が24.3%、『アートのなぞなぞ』では「静岡県立美術館のホームページ・facebookなどを見て」が22.9%となっている。『戦国！井伊直虎から直政へ』では、「ポスターを見て」17.4%と「新聞を見て」19.9%が、他の展覧会と比較し高くなっている。

来館時期別 展覧会に来たきっかけ・理由

展覧会	件数(件)			ポスターを見て			チラシを見て			新聞を見て			テレビを見て		
	A*	B*	C*	A*	B*	C*	A*	B*	C*	A*	B*	C*	A*	B*	C*
全体	539	309	383	22.4	14.2	15.1	15.6	11.0	13.3	26.7	10.7	4.2	29.9	11.0	9.4
序盤	58	14	54	20.7	21.4	16.7	20.7	7.1	16.7	17.2	0.0	9.3	17.2	0.0	7.4
中盤	30	15	120	16.7	13.3	17.5	26.7	33.3	11.7	26.7	6.7	4.2	53.3	0.0	12.5
終盤	451	280	209	23.1	13.9	13.4	14.2	10.0	13.4	27.9	11.4	2.9	29.9	12.1	8.1
	静岡県立美術館のホームページ・facebookなどを見て			その他のホームページ・facebookなどを見て			静岡県立美術館にいつもよく来ているので			一度、静岡県立美術館に来たいと思っていた			家族に誘われて・勧められて		
展覧会	A*	B*	C*	A*	B*	C*	A*	B*	C*	A*	B*	C*	A*	B*	C*
全体	8.2	10.4	16.4	6.1	2.3	7.0	6.9	13.3	9.7	2.0	2.9	3.4	13.2	14.6	15.9
序盤	6.9	28.6	22.2	6.9	0.0	3.7	8.6	7.1	14.8	8.6	0.0	7.4	10.3	7.1	16.7
中盤	3.3	0.0	20.8	3.3	6.7	9.2	6.7	0.0	10.0	0.0	0.0	2.5	3.3	20.0	13.3
終盤	8.6	10.0	12.4	6.2	2.1	6.7	6.7	14.3	8.1	1.3	3.2	2.9	14.2	14.6	17.2
	友人・知人・恋人に誘われて・勧められて			たまたま時間があつた			その他			無回答					
展覧会	A*	B*	C*	A*	B*	C*	A*	B*	C*	A*	B*	C*			
全体	9.1	15.2	11.5	4.5	7.8	9.4	8.0	15.5	12.8	0.4	0.6	0.5			
序盤	0.0	14.3	3.7	10.3	7.1	11.1	19.0	21.4	13.0	0.0	0.0	0.0			
中盤	3.3	13.3	4.2	6.7	13.3	10.8	6.7	0.0	10.8	0.0	0.0	0.0			
終盤	10.6	15.4	17.7	3.5	7.5	8.1	6.7	16.1	13.9	0.4	0.7	1.0			

単位：%

* 展覧会A・・・戦国！井伊直虎から直政へ
 展覧会B・・・美しき庭園画の世界
 展覧会C・・・アートのなぞなぞ



来館時期別来館のきっかけについて、『戦国！井伊直虎から直政へ』では「テレビを見て」が＜全体＞29.9%と最も高く、＜序盤＞17.2%、＜中盤＞53.3%、＜終盤＞29.9%となっている。『美しき庭園画の世界』では、「その他」が＜全体＞15.5%と最も高く、＜序盤＞21.4%、＜中盤＞0.0%、＜終盤＞16.1%となっている。『アートのなぞなぞ』では、「静岡県立美術館のホームページ・facebookなどを見て」が＜全体＞16.4%と最も高く、＜序盤＞22.2%、＜中盤＞20.8%、＜終盤＞12.4%となっている。

⑥ 勧誘の手段（複数回答可）

展覧会に来たきっかけ・理由で、家族・友人・知人・恋人に誘われて・勧められてと回答した方のみ
全体

		件数 (件)	直接会って	電話で	SNSなど	携帯メール	メール (パソコン)	その他	無回答
平成 29 年度	戦国！井伊直虎から直政へ	118	73.7	6.8	6.8	11.0	0.0	1.7	4.2
	美しき庭園画の世界	90	70.0	6.7	16.7	6.7	2.2	1.1	2.2
	アートのなぞなぞ	105	72.4	5.7	16.2	1.0	1.0	4.8	2.9
経 年	平成 29 年度全体	313	72.2	6.4	12.8	6.4	1.0	2.6	3.2
	平成 28 年度全体	345	75.9	6.4	4.6	5.5	1.2	3.2	6.7
平成 28 年度	美術館に行こう！	111	79.3	2.7	4.5	8.1	0.0	0.9	7.2
	徳川の平和（パクス・トクガワーナ）	125	76.8	8.8	4.8	3.2	1.6	4.0	5.6
	再発見！ニッポンの立体	109	71.6	7.3	4.6	5.5	1.8	4.6	7.3

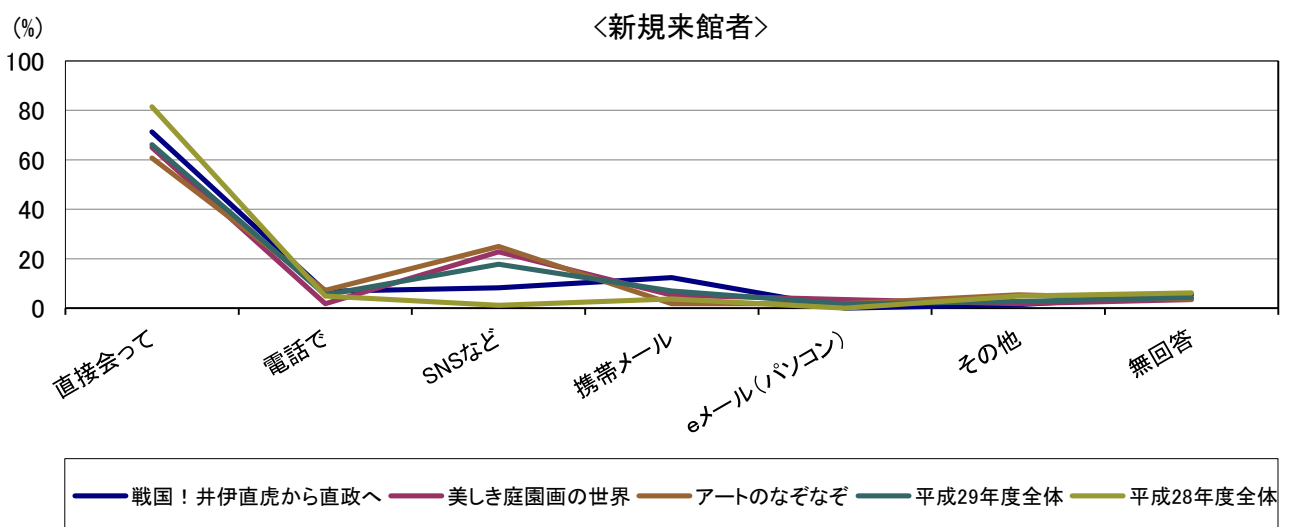
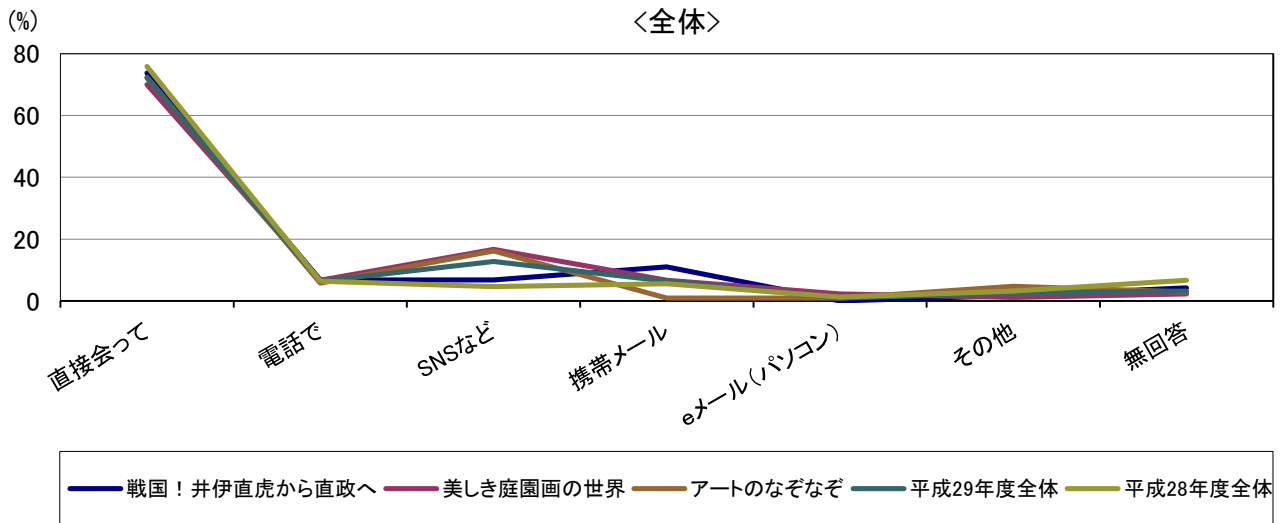
単位：％

新規来館者

		件数 (件)	直接会って	電話で	SNSなど	携帯メール	メール (パソコン)	その他	無回答
平成 29 年度	戦国！井伊直虎から直政へ	73	71.2	6.8	8.2	12.3	0.0	1.4	5.5
	美しき庭園画の世界	57	64.9	1.8	22.8	5.3	3.5	1.8	3.5
	アートのなぞなぞ	56	60.7	7.1	25.0	1.8	1.8	5.4	3.6
経 年	平成 29 年度全体	186	66.1	5.4	17.7	7.0	1.6	2.7	4.3
	平成 28 年度全体	81	81.5	4.9	1.2	3.7	0.0	4.9	6.2
平成 28 年度	美術館に行こう！	29	79.3	3.4	0.0	6.9	0.0	0.0	10.3
	徳川の平和（パクス・トクガワーナ）	28	82.1	10.7	3.6	0.0	0.0	10.7	0.0
	再発見！ニッポンの立体	24	83.3	0.0	0.0	4.2	0.0	4.2	8.3

単位：％

※SNS などは SNS（ソーシャル・ネットワーキング・サービス）LINE・facebook・twitter・mixi などを示す



勧誘の手段について、平成 29 年度全体は、「直接会って」が 72.2%と最も高く、次いで「SNSなど」が 12.8%、「電話で」と「携帯メール」が 6.4%の順になっている。

新規来館者の平成 29 年度全体は、「直接会って」が 66.1%と最も高く、次いで「SNSなど」が 17.7%、「携帯メール」が 7.0%の順になっている。平成 28 年度全体と比べると、「SNSなど」が 16.5 ポイント高くなっている。

(4) 展覧会の評価

① 作品やテーマへの興味・関心の深まり

全体

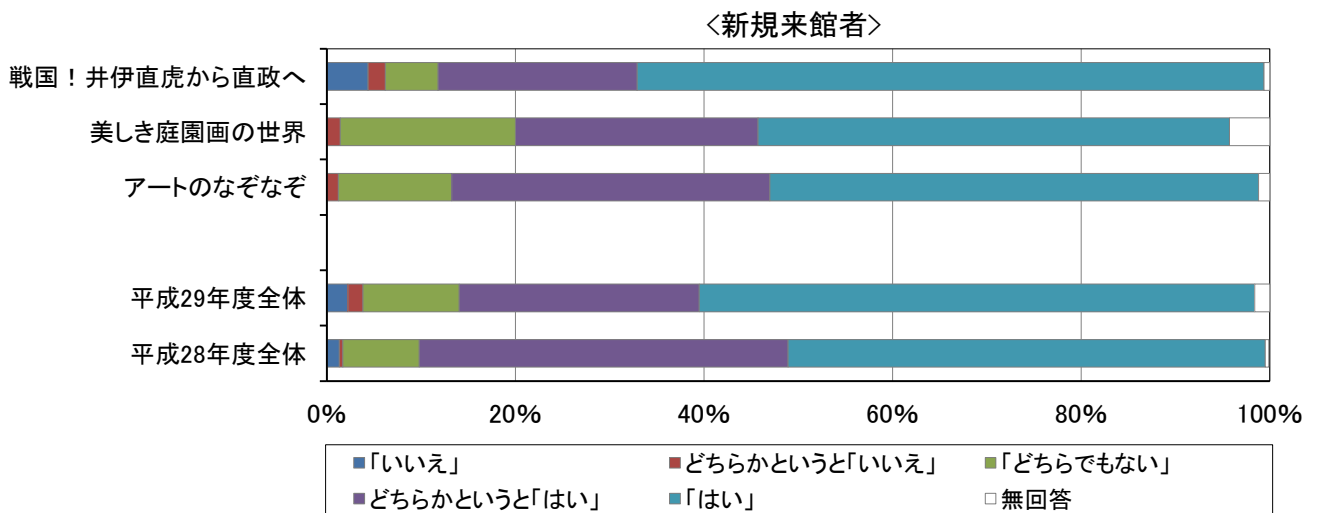
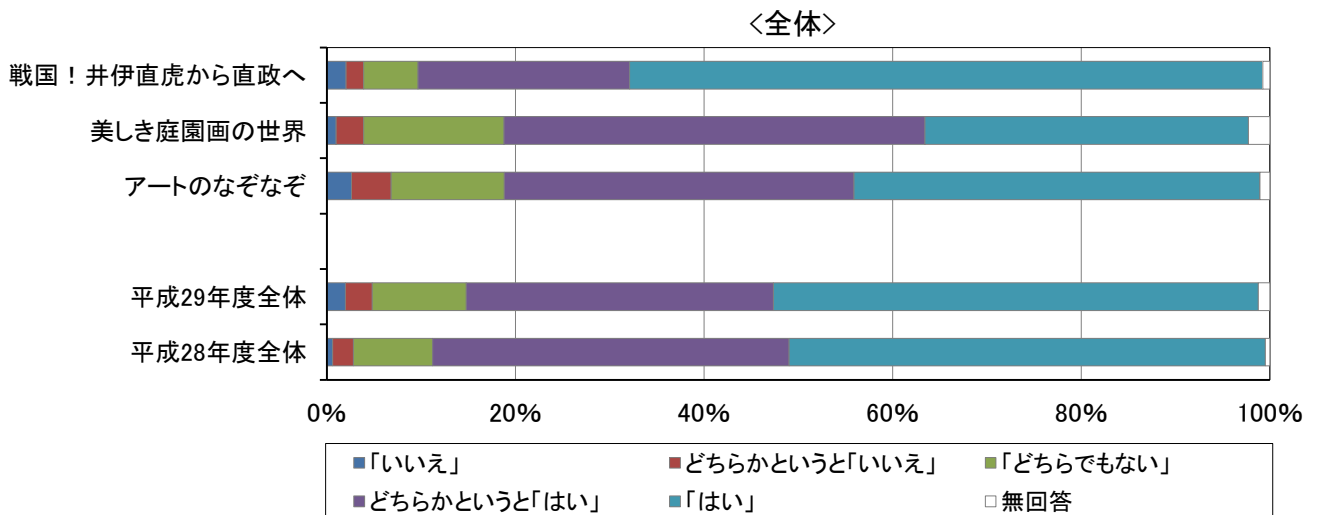
		件数 (件)	「いいえ」	どちらかとい うと「いいえ」	「どちらで もない」	どちらかとい うと「はい」	「はい」	無回答
平成 29 年度	戦国！井伊直虎から直政へ	539	2.0	1.9	5.8	22.4	67.2	0.7
	美しき庭園画の世界	309	1.0	2.9	14.9	44.7	34.3	2.3
	アートのなぞなぞ	383	2.6	4.2	12.0	37.1	43.1	1.0
経 年	平成 29 年度全体	1231	1.9	2.8	10.0	32.6	51.4	1.2
	平成 28 年度全体	1237	0.6	2.2	8.4	37.8	50.5	0.5
平成 28 年度	美術館に行こう！	392	0.5	1.8	6.4	33.4	57.9	0.0
	徳川の平和（パクス・トクガワーナ）	447	0.7	2.0	5.8	38.9	51.5	1.1
	再発見！ニッポンの立体	398	0.5	2.8	13.3	41.0	42.2	0.3

単位：％

新規来館者

		件数 (件)	「いいえ」	どちらかとい うと「いいえ」	「どちらで もない」	どちらかとい うと「はい」	「はい」	無回答
平成 29 年度	戦国！井伊直虎から直政へ	161	4.3	1.9	5.6	21.1	66.5	0.6
	美しき庭園画の世界	70	0.0	1.4	18.6	25.7	50.0	4.3
	アートのなぞなぞ	83	0.0	1.2	12.0	33.7	51.8	1.2
経 年	平成 29 年度全体	314	2.2	1.6	10.2	25.5	58.9	1.6
	平成 28 年度全体	235	1.3	0.4	8.1	39.1	50.6	0.4
平成 28 年度	美術館に行こう！	92	0.0	0.0	7.6	35.9	56.5	0.0
	徳川の平和（パクス・トクガワーナ）	81	1.2	0.0	6.2	42.0	50.6	0.0
	再発見！ニッポンの立体	62	3.2	1.6	11.3	40.3	41.9	1.6

単位：％



作品やテーマへの興味・関心の深まりについて、平成 29 年度全体は、「どちらかという「はい」と「はい」を合わせた肯定的評価が 84.0%となっている。肯定的評価は『戦国！井伊直虎から直政へ』が 89.6%、『アートのなぞなぞ』が 80.2%、『美しき庭園画の世界』が 79.0%の順になっている。

一方、「いいえ」と「どちらかという「いいえ」」を合わせた否定的評価は 4.8%となっている。

新規来館者の平成 29 年度全体は、肯定的評価が 84.4%となっている。肯定的評価は『戦国！井伊直虎から直政へ』が 87.6%、『アートのなぞなぞ』が 85.5%、『美しき庭園画の世界』が 75.7%の順になっている。

否定的評価は 3.8%となっている。

※「どちらかという「はい」と「はい」を合わせた比率、「いいえ」と「どちらかという「いいえ」」を合わせた比率は、それぞれ小数点第 2 位を四捨五入せずに合わせているため、表中の比率を合わせた値と 0.1%異なる場合がある。

② 会場における観覧時の心地よさ

全体

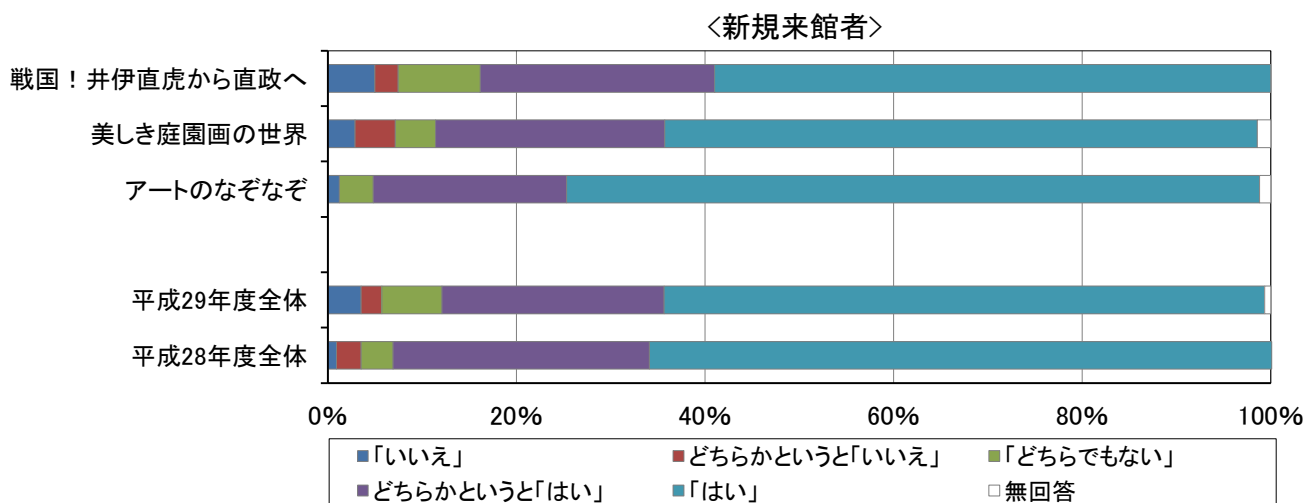
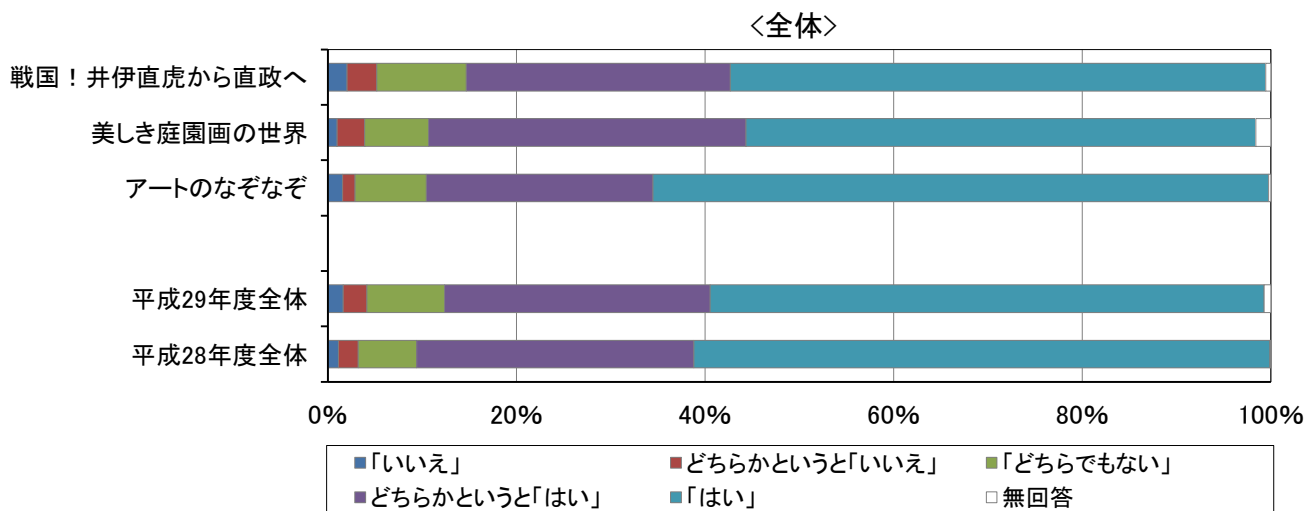
		件数 (件)	「いいえ」	どちらかとい うと「いいえ」	「どちらで もない」	どちらかとい うと「はい」	「はい」	無回答
平成 29 年度	戦国！井伊直虎から直政へ	539	2.0	3.2	9.5	28.0	56.8	0.6
	美しき庭園画の世界	309	1.0	2.9	6.8	33.7	54.0	1.6
	アートのなぞなぞ	383	1.6	1.3	7.6	24.0	65.3	0.3
経 年	平成 29 年度全体	1231	1.6	2.5	8.2	28.2	58.7	0.7
	平成 28 年度全体	1237	1.1	2.1	6.2	29.4	61.1	0.1
平成 28 年度	美術館に行こう！	392	1.3	2.0	5.9	27.3	63.5	0.0
	徳川の平和（パクス・トクガワーナ）	447	0.9	2.2	6.7	29.3	60.6	0.2
	再発見！ニッポンの立体	398	1.0	2.0	6.0	31.7	59.3	0.0

単位：％

新規来館者

		件数 (件)	「いいえ」	どちらかとい うと「いいえ」	「どちらで もない」	どちらかとい うと「はい」	「はい」	無回答
平成 29 年度	戦国！井伊直虎から直政へ	161	5.0	2.5	8.7	24.8	59.0	0.0
	美しき庭園画の世界	70	2.9	4.3	4.3	24.3	62.9	1.4
	アートのなぞなぞ	83	1.2	0.0	3.6	20.5	73.5	1.2
経 年	平成 29 年度全体	314	3.5	2.2	6.4	23.6	63.7	0.6
	平成 28 年度全体	235	0.9	2.6	3.4	27.2	66.0	0.0
平成 28 年度	美術館に行こう！	92	0.0	2.2	3.3	26.1	68.5	0.0
	徳川の平和（パクス・トクガワーナ）	81	1.2	4.9	3.7	24.7	65.4	0.0
	再発見！ニッポンの立体	62	1.6	0.0	3.2	32.3	62.9	0.0

単位：％



会場における観覧時の心地よさについて、平成29年度全体は、「どちらかという はい」と「はい」を合わせた肯定的評価が86.9%となっている。肯定的評価は『アートのなぞなぞ』が89.3%、『美しき庭園画の世界』が87.7%、『戦国！井伊直虎から直政へ』が84.8%の順になっている。

一方、「いいえ」と「どちらかという いいえ」を合わせた否定的評価は4.1%となっている。

新規来館者の平成29年度全体は、肯定的評価が87.3%となっている。肯定的評価は『アートのなぞなぞ』が94.0%、『美しき庭園画の世界』が87.1%、『戦国！井伊直虎から直政へ』が83.9%の順になっている。

否定的評価は5.7%となっている。

※「どちらかという はい」と「はい」を合わせた比率、「いいえ」と「どちらかという いいえ」を合わせた比率は、それぞれ小数点第2位を四捨五入せずに合わせているため、表中の比率を合わせた値と0.1%異なる場合がある。

③ スタッフの対応の適切さ

全体

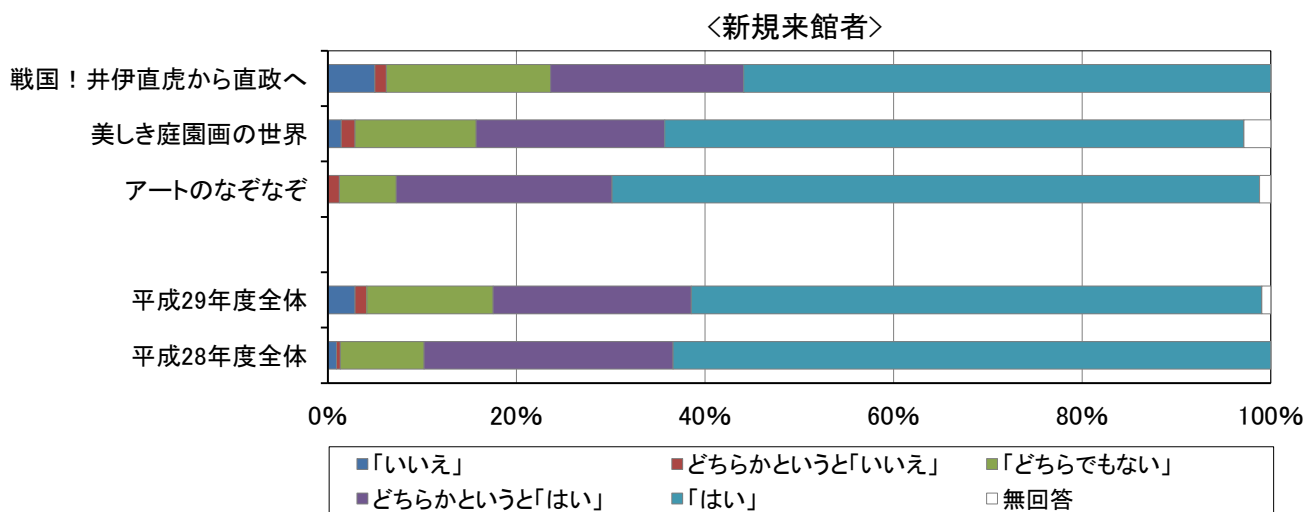
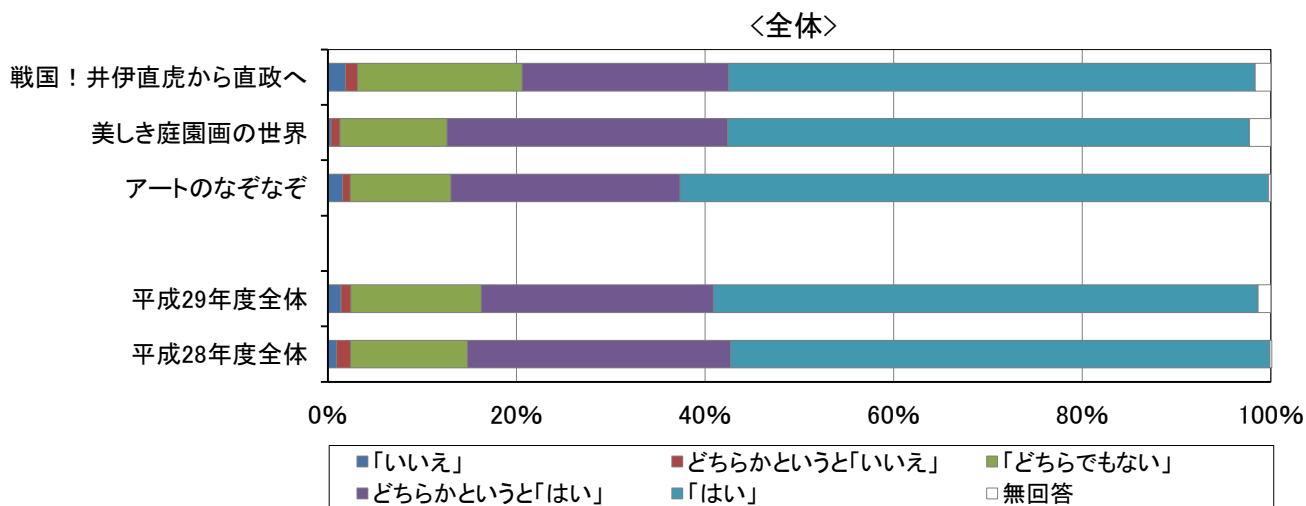
		件数 (件)	「いいえ」	どちらかとい うと「いいえ」	「どちらで もない」	どちらかとい うと「はい」	「はい」	無回答
平成 29 年度	戦国！井伊直虎から直政へ	539	1.9	1.3	17.4	21.9	55.8	1.7
	美しき庭園画の世界	309	0.3	1.0	11.3	29.8	55.3	2.3
	アートのなぞなぞ	383	1.6	0.8	10.7	24.3	62.4	0.3
経 年	平成 29 年度全体	1231	1.4	1.1	13.8	24.6	57.8	1.4
	平成 28 年度全体	1237	0.9	1.5	12.4	27.9	57.2	0.2
平成 28 年度	美術館に行こう！	392	1.0	1.0	9.9	24.7	63.0	0.3
	徳川の平和（パクス・トクガワーナ）	447	0.9	1.3	12.5	30.0	55.0	0.2
	再発見！ニッポンの立体	398	0.8	2.0	14.8	28.6	53.8	0.0

単位：％

新規来館者

		件数 (件)	「いいえ」	どちらかとい うと「いいえ」	「どちらで もない」	どちらかとい うと「はい」	「はい」	無回答
平成 29 年度	戦国！井伊直虎から直政へ	161	5.0	1.2	17.4	20.5	55.9	0.0
	美しき庭園画の世界	70	1.4	1.4	12.9	20.0	61.4	2.9
	アートのなぞなぞ	83	0.0	1.2	6.0	22.9	68.7	1.2
経 年	平成 29 年度全体	314	2.9	1.3	13.4	21.0	60.5	1.0
	平成 28 年度全体	235	0.9	0.4	8.9	26.4	63.4	0.0
平成 28 年度	美術館に行こう！	92	0.0	0.0	8.7	26.1	65.2	0.0
	徳川の平和（パクス・トクガワーナ）	81	1.2	0.0	9.9	25.9	63.0	0.0
	再発見！ニッポンの立体	62	1.6	1.6	8.1	27.4	61.3	0.0

単位：％



スタッフの対応の適切さについて、平成 29 年度全体は、「どちらかという はい」と「はい」を合わせた肯定的評価が 82.4%となっている。肯定的評価は『アートのなぞなぞ』が 86.7%、『美しき庭園画の世界』が 85.1%、『戦国！井伊直虎から直政へ』が 77.7%の順になっている。

一方、「いいえ」と「どちらかという いいえ」を合わせた否定的評価は 2.4%となっている。

新規来館者の平成 29 年度全体は、肯定的評価が 81.5%となっている。肯定的評価は『アートのなぞなぞ』が 91.6%、『美しき庭園画の世界』が 81.4%、『戦国！井伊直虎から直政へ』が 76.4%の順になっている。

否定的評価は 4.1%となっている。

※「どちらかという はい」と「はい」を合わせた比率、「いいえ」と「どちらかという いいえ」を合わせた比率は、それぞれ小数点第 2 位を四捨五入せずに合わせているため、表中の比率を合わせた値と 0.1%異なる場合がある。

④ 展覧会のことを勧めたいか

全体

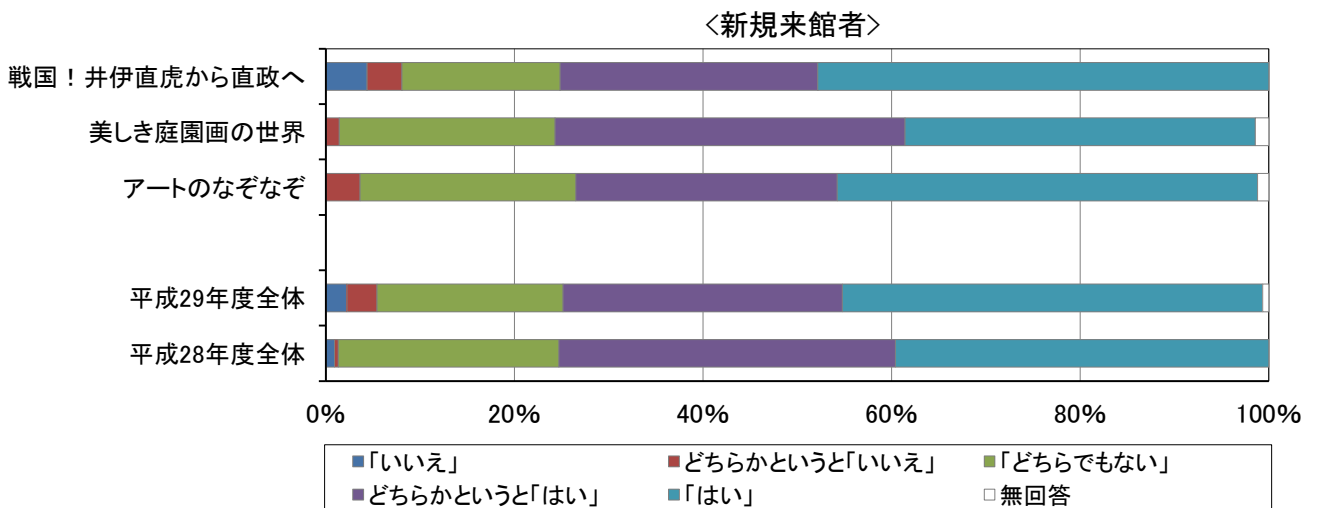
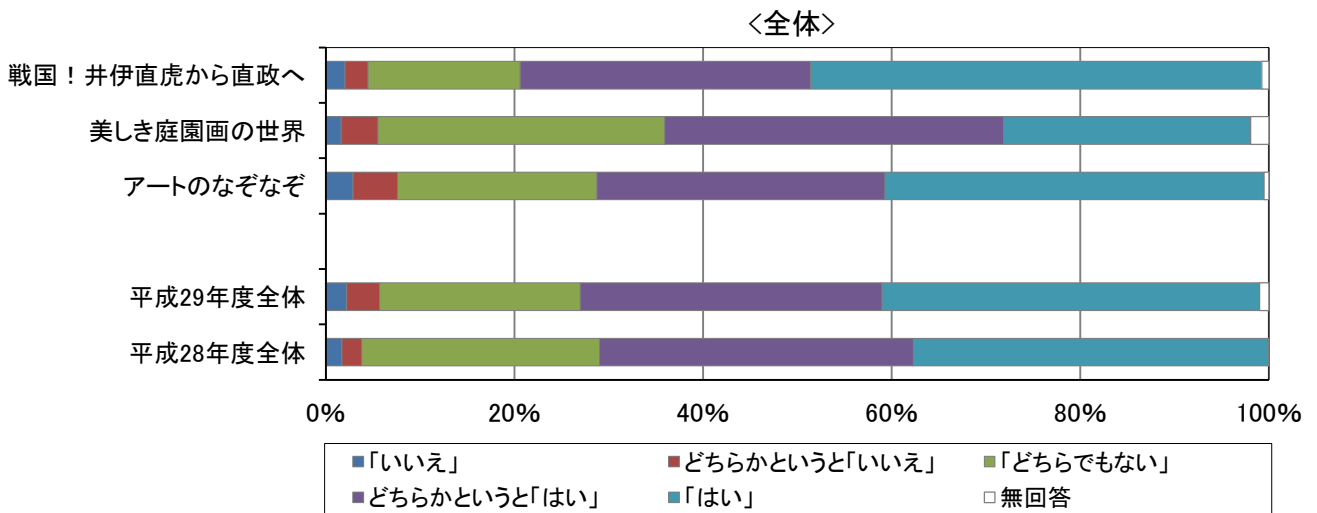
		件数 (件)	「いいえ」	どちらかとい うと「いいえ」	「どちらで もない」	どちらかとい うと「はい」	「はい」	無回答
平成 29 年度	戦国！井伊直虎から直政へ	539	2.0	2.4	16.1	30.8	47.9	0.7
	美しき庭園画の世界	309	1.6	3.9	30.4	35.9	26.2	1.9
	アートのなぞなぞ	383	2.9	4.7	21.1	30.5	40.2	0.5
経 年	平成 29 年度全体	1231	2.2	3.5	21.3	32.0	40.0	1.0
	平成 28 年度全体	1237	1.7	2.1	25.2	33.3	37.6	0.1
平成 28 年度	美術館に行こう！	392	1.0	1.3	18.4	29.3	50.0	0.0
	徳川の平和（パクス・トクガワーナ）	447	1.6	2.7	26.0	33.8	36.0	0.0
	再発見！ニッポンの立体	398	2.5	2.3	31.2	36.7	27.1	0.3

単位：％

新規来館者

		件数 (件)	「いいえ」	どちらかとい うと「いいえ」	「どちらで もない」	どちらかとい うと「はい」	「はい」	無回答
平成 29 年度	戦国！井伊直虎から直政へ	161	4.3	3.7	16.8	27.3	47.8	0.0
	美しき庭園画の世界	70	0.0	1.4	22.9	37.1	37.1	1.4
	アートのなぞなぞ	83	0.0	3.6	22.9	27.7	44.6	1.2
経 年	平成 29 年度全体	314	2.2	3.2	19.7	29.6	44.6	0.6
	平成 28 年度全体	235	0.9	0.4	23.4	35.7	39.6	0.0
平成 28 年度	美術館に行こう！	92	0.0	1.1	17.4	32.6	48.9	0.0
	徳川の平和（パクス・トクガワーナ）	81	1.2	0.0	29.6	33.3	35.8	0.0
	再発見！ニッポンの立体	62	1.6	0.0	24.2	43.5	30.6	0.0

単位：％



展覧会のことを勧めたいかについて、平成 29 年度全体は、「どちらかという はい」と「はい」を合わせた肯定的評価が 72.1%となっている。肯定的評価は『戦国！井伊直虎から直政へ』が 78.7%、『アートのかなぞなぞ』が 70.8%、『美しき庭園画の世界』が 62.1%の順になっている。

一方、「いいえ」と「どちらかという いいえ」を合わせた否定的評価は 5.7%となっている。

新規来館者の平成 29 年度全体は、肯定的評価が 74.2%となっている。肯定的評価は『戦国！井伊直虎から直政へ』が 75.2%、『美しき庭園画の世界』が 74.3%、『アートのかなぞなぞ』が 72.3%の順になっている。

否定的評価は 5.4%となっている。

※「どちらかという はい」と「はい」を合わせた比率、「いいえ」と「どちらかという いいえ」を合わせた比率は、それぞれ小数点第 2 位を四捨五入せずに合わせているため、表中の比率を合わせた値と 0.1%異なる場合がある。

⑤ 情報の入手しやすさ

全体

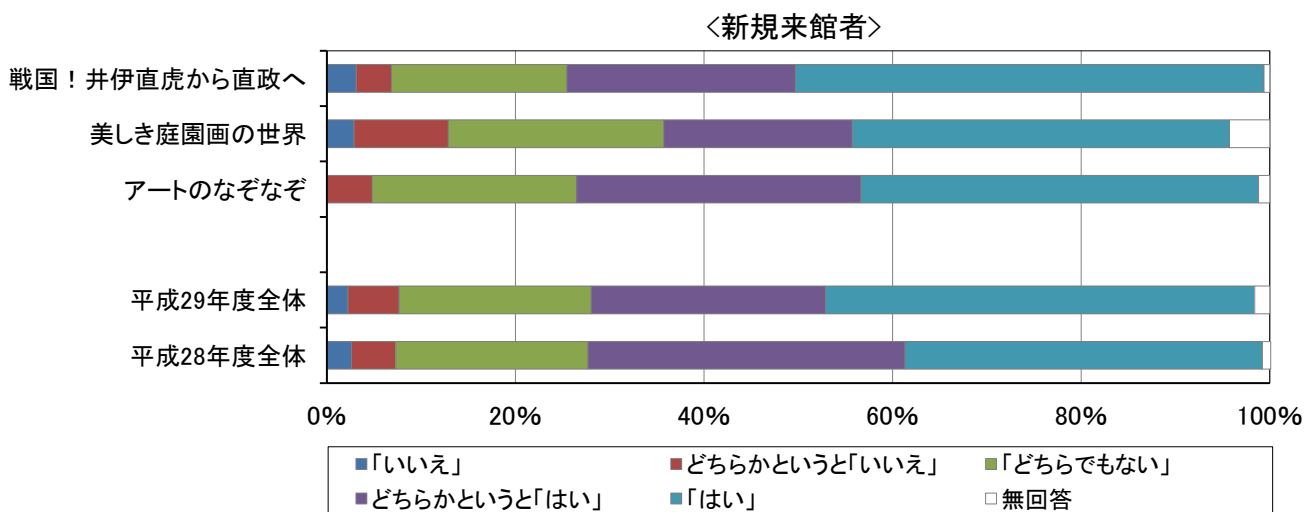
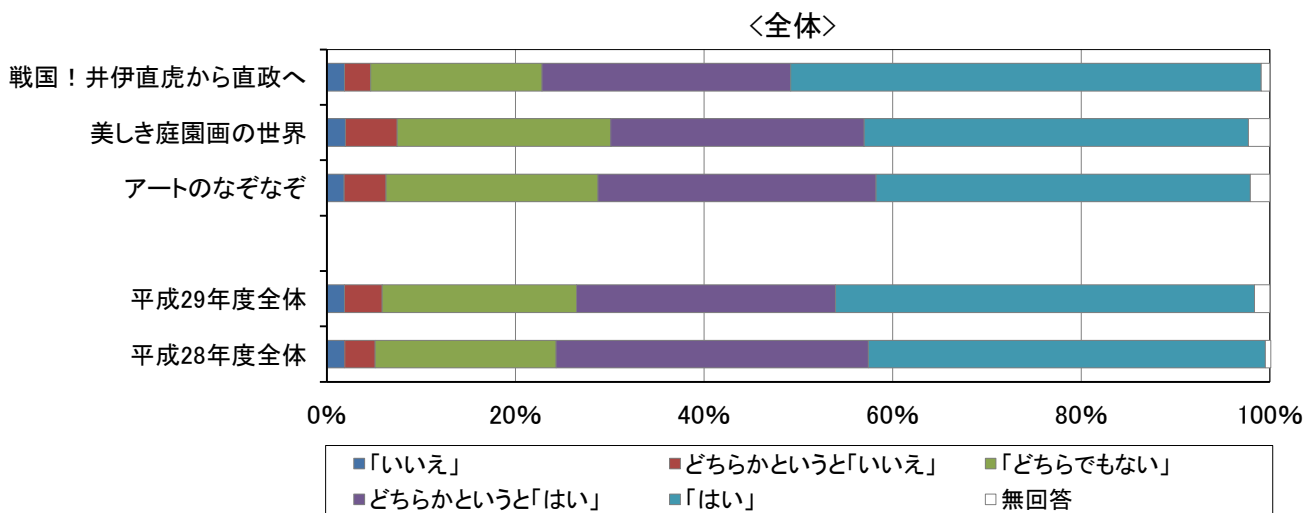
		件数 (件)	「いいえ」	どちらかとい うと「いいえ」	「どちらで もない」	どちらかとい うと「はい」	「はい」	無回答
平成 29 年度	戦国！井伊直虎から直政へ	539	1.9	2.8	18.2	26.3	49.9	0.9
	美しき庭園画の世界	309	1.9	5.5	22.7	26.9	40.8	2.3
	アートのなぞなぞ	383	1.8	4.4	22.5	29.5	39.7	2.1
経 年	平成 29 年度全体	1231	1.9	4.0	20.6	27.5	44.4	1.6
	平成 28 年度全体	1237	1.9	3.2	19.2	33.1	42.1	0.6
平成 28 年度	美術館に行こう！	392	1.8	2.6	19.4	28.3	47.4	0.5
	徳川の平和（パクス・トクガワーナ）	447	2.0	3.8	18.1	33.6	41.8	0.7
	再発見！ニッポンの立体	398	1.8	3.0	20.1	37.2	37.2	0.8

単位：％

新規来館者

		件数 (件)	「いいえ」	どちらかとい うと「いいえ」	「どちらで もない」	どちらかとい うと「はい」	「はい」	無回答
平成 29 年度	戦国！井伊直虎から直政へ	161	3.1	3.7	18.6	24.2	49.7	0.6
	美しき庭園画の世界	70	2.9	10.0	22.9	20.0	40.0	4.3
	アートのなぞなぞ	83	0.0	4.8	21.7	30.1	42.2	1.2
経 年	平成 29 年度全体	314	2.2	5.4	20.4	24.8	45.5	1.6
	平成 28 年度全体	235	2.6	4.7	20.4	33.6	37.9	0.9
平成 28 年度	美術館に行こう！	92	2.2	3.3	19.6	27.2	46.7	1.1
	徳川の平和（パクス・トクガワーナ）	81	3.7	6.2	23.5	30.9	34.6	1.2
	再発見！ニッポンの立体	62	1.6	4.8	17.7	46.8	29.0	0.0

単位：％



情報の入手しやすさについて、平成 29 年度全体は、「どちらかという はい」と「はい」を合わせた肯定的評価が 71.9%となっている。肯定的評価は『戦国！井伊直虎から直政へ』が 76.3%、『アートのなぞなぞ』が 69.2%、『美しき庭園画の世界』が 67.6%の順になっている。

一方、「いいえ」と「どちらかという いいえ」を合わせた否定的評価は 5.8%となっている。

新規来館者の平成 29 年度全体は、肯定的評価が 70.4%となっている。肯定的評価は『戦国！井伊直虎から直政へ』が 73.9%、『アートのなぞなぞ』が 72.3%、『美しき庭園画の世界』が 60.0%の順になっている。

否定的評価は 7.6%となっている。

※「どちらかという はい」と「はい」を合わせた比率、「いいえ」と「どちらかという いいえ」を合わせた比率は、それぞれ小数点第 2 位を四捨五入せずに合わせているため、表中の比率を合わせた値と 0.1%異なる場合がある。

⑥-1 来館の際の主な交通手段

全体

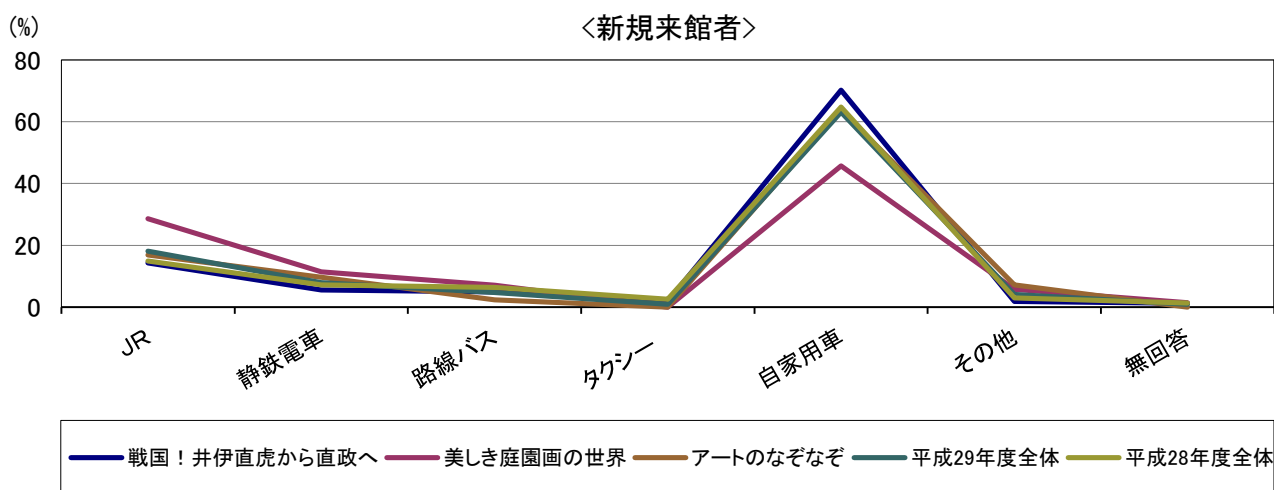
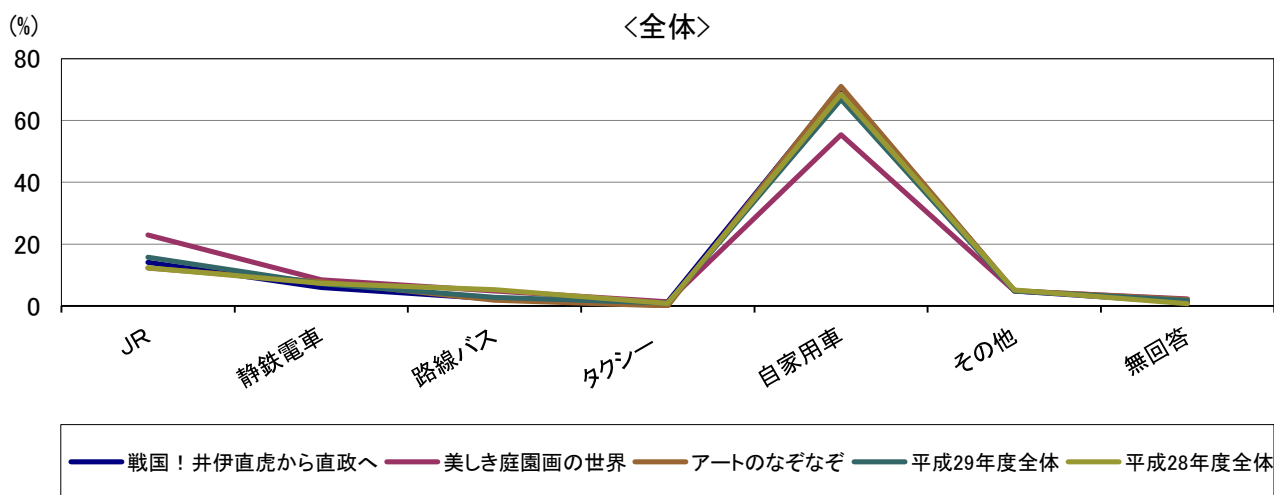
		件数 (件)	J R	静 鉄 電 車	路 線 バ ス	タ ク シ ー	自 家 用 車	そ の 他	無 回 答
平成 29 年度	戦国！井伊直虎から直政へ	539	14.1	5.9	2.2	1.3	70.5	4.8	1.1
	美しき庭園画の世界	309	23.0	8.4	4.9	1.3	55.3	4.9	2.3
	アートのなぞなぞ	383	12.3	7.8	1.8	0.0	71.0	5.0	2.1
経 年	平成 29 年度全体	1231	15.8	7.1	2.8	0.9	66.9	4.9	1.7
	平成 28 年度全体	1237	12.3	7.3	5.2	0.8	68.6	5.1	0.7
平成 28 年度	美術館に行こう！	392	8.7	8.7	3.8	0.5	70.9	6.4	1.0
	徳川の平和（パクス・トクガワーナ）	447	12.8	6.5	5.8	1.3	68.9	4.3	0.4
	再発見！ニッポンの立体	398	15.3	6.8	5.8	0.5	66.1	4.8	0.8

単位：%

新規来館者

		件数 (件)	J R	静 鉄 電 車	路 線 バ ス	タ ク シ ー	自 家 用 車	そ の 他	無 回 答
平成 29 年度	戦国！井伊直虎から直政へ	161	14.3	5.6	5.0	1.9	70.2	1.9	1.2
	美しき庭園画の世界	70	28.6	11.4	7.1	0.0	45.7	5.7	1.4
	アートのなぞなぞ	83	16.9	9.6	2.4	0.0	63.9	7.2	0.0
経 年	平成 29 年度全体	314	18.2	8.0	4.8	1.0	63.1	4.1	1.0
	平成 28 年度全体	235	14.9	7.2	6.4	2.6	64.7	3.0	1.3
平成 28 年度	美術館に行こう！	92	10.9	8.7	3.3	1.1	73.9	1.1	1.1
	徳川の平和（パクス・トクガワーナ）	81	14.8	6.2	11.1	4.9	54.3	6.2	2.5
	再発見！ニッポンの立体	62	21.0	6.5	4.8	1.6	64.5	1.6	0.0

単位：%



来館の際の主な交通手段について、平成29年度全体は、「自家用車」が66.9%と最も高く、次いで「JR」が15.8%、「静鉄電車」が7.1%の順になっている。

新規来館者の平成29年度全体は、「自家用車」が63.1%と最も高く、次いで「JR」が18.2%、「静鉄電車」が8.0%の順になっている。

⑥-2 公共交通機関の利用のスムーズさ

全体

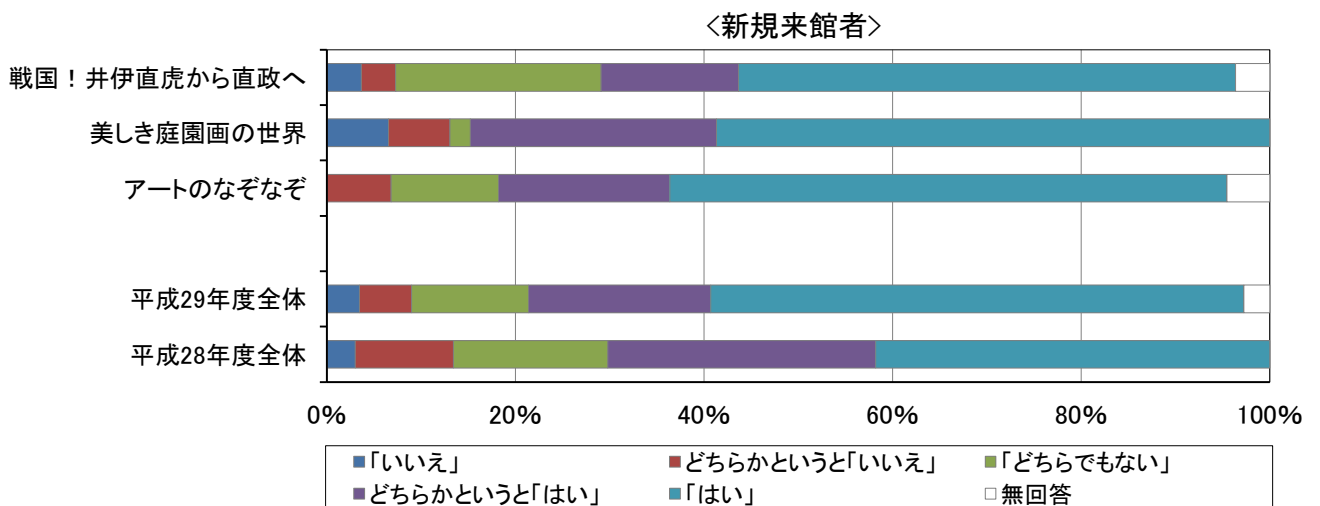
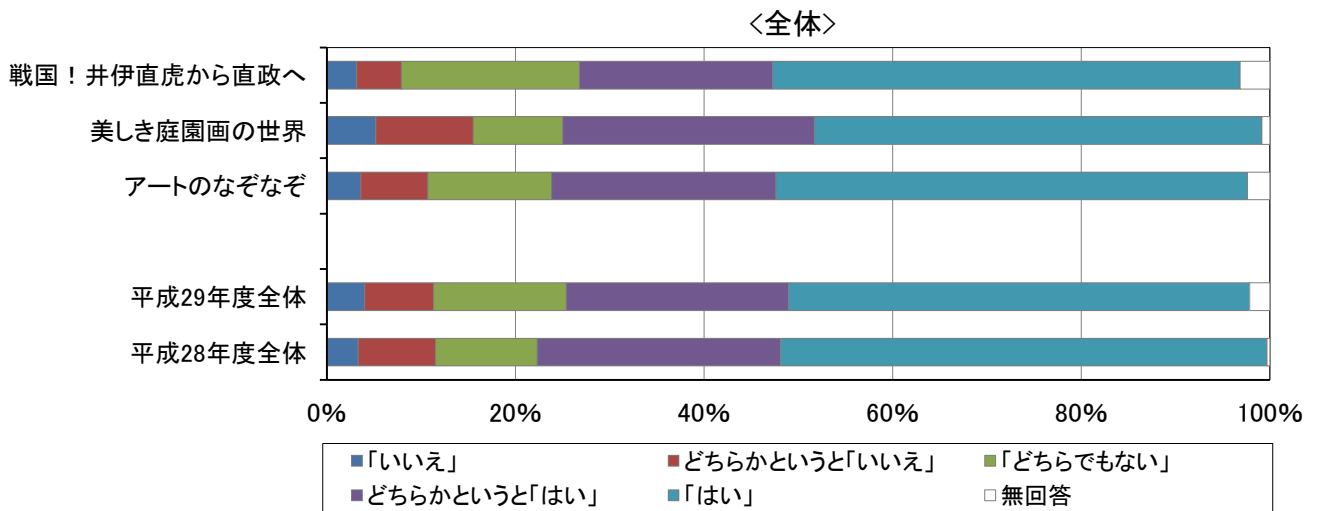
		件数 (件)	「いいえ」	「どちらかとい うと」「はい」	「どちらかとい うと」「はい」 もなご」	「どちらかとい うと」「はい」	「はい」	無回答
平成 29 年度	戦国！井伊直虎から直政へ	127	3.1	4.7	18.9	20.5	49.6	3.1
	美しき庭園画の世界	116	5.2	10.3	9.5	26.7	47.4	0.9
	アートのなぞなぞ	84	3.6	7.1	13.1	23.8	50.0	2.4
経 年	平成 29 年度全体	327	4.0	7.3	14.1	23.5	48.9	2.1
	平成 28 年度全体	306	3.3	8.2	10.8	25.8	51.6	0.3
平成 28 年度	美術館に行こう！	83	3.6	9.6	10.8	24.1	51.8	0.0
	徳川の平和（パクス・トクガワーナ）	112	5.4	8.0	7.1	27.7	51.8	0.0
	再発見！ニッポンの立体	111	0.9	7.2	14.4	25.2	51.4	0.9

単位：%

新規来館者

		件数 (件)	「いいえ」	「どちらかとい うと」「はい」	「どちらかとい うと」「はい」 もなご」	「どちらかとい うと」「はい」	「はい」	無回答
平成 29 年度	戦国！井伊直虎から直政へ	55	3.6	3.6	21.8	14.5	52.7	3.6
	美しき庭園画の世界	46	6.5	6.5	2.2	26.1	58.7	0.0
	アートのなぞなぞ	44	0.0	6.8	11.4	18.2	59.1	4.5
経 年	平成 29 年度全体	145	3.4	5.5	12.4	19.3	56.6	2.8
	平成 28 年度全体	67	3.0	10.4	16.4	28.4	41.8	0.0
平成 28 年度	美術館に行こう！	21	0.0	4.8	9.5	42.9	42.9	0.0
	徳川の平和（パクス・トクガワーナ）	26	3.8	19.2	11.5	15.4	50.0	0.0
	再発見！ニッポンの立体	20	5.0	5.0	30.0	30.0	30.0	0.0

単位：%



公共交通機関の利用のスムーズさについて、平成29年度全体は、「どちらかという はい」と「はい」を合わせた肯定的評価が72.5%となっている。肯定的評価は『美しき庭園画の世界』が74.1%、『アートのかなぞなぞ』が73.8%、『戦国！井伊直虎から直政へ』が70.1%の順になっている。

一方、「いいえ」と「どちらかという いいえ」を合わせた否定的評価は11.3%となっている。

新規来館者の平成29年度全体は、肯定的評価が75.9%となっている。肯定的評価は『美しき庭園画の世界』が84.8%、『アートのかなぞなぞ』が77.3%、『戦国！井伊直虎から直政へ』が67.3%の順になっている。

否定的評価は9.0%となっている。

※「どちらかという はい」と「はい」を合わせた比率、「いいえ」と「どちらかという いいえ」を合わせた比率は、それぞれ小数点第2位を四捨五入せずに合わせているため、表中の比率を合わせた値と0.1%異なる場合がある。

⑥-3 自家用車の利用のスムーズさ

全体

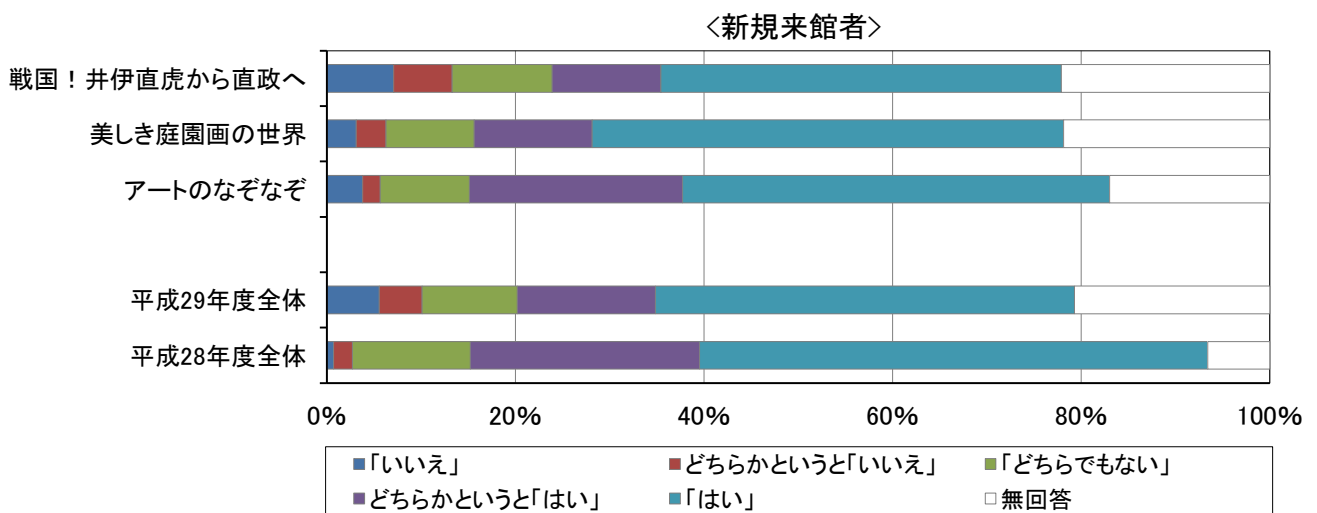
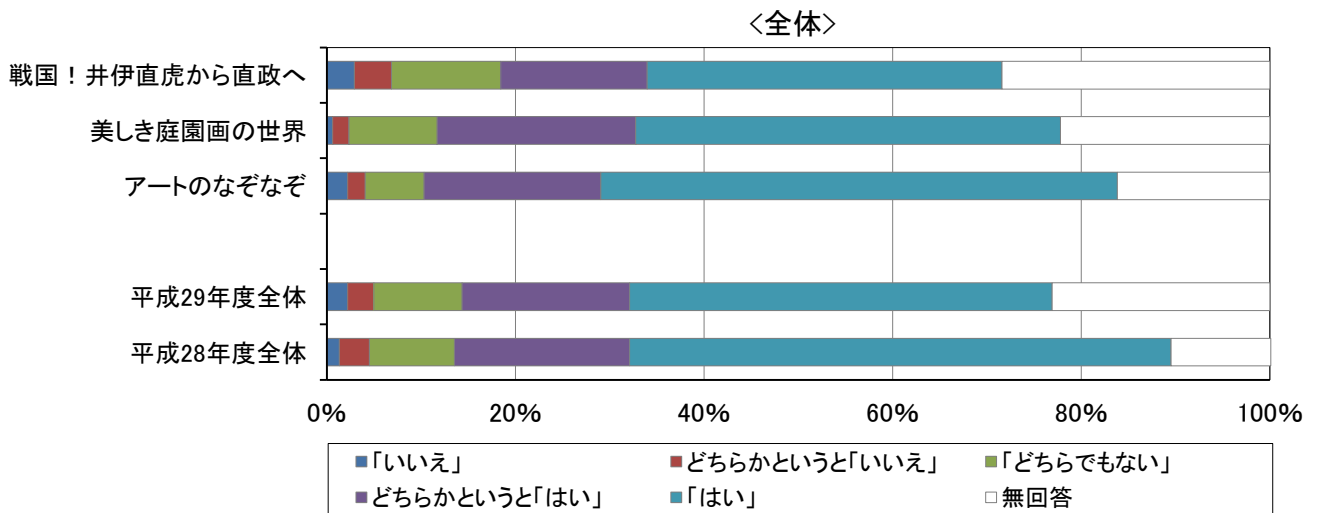
		件数 (件)	「全くない」	「どちらかとい うと「全くない」	「どちらかとい もなから」	「どちらかとい うと「はい」	「はい」	無回答
平成 29 年度	戦国！井伊直虎から直政へ	380	2.9	3.9	11.6	15.5	37.6	28.4
	美しき庭園画の世界	171	0.6	1.8	9.4	21.1	45.0	22.2
	アートのおぞなぞ	272	2.2	1.8	6.3	18.8	54.8	16.2
経 年	平成 29 年度全体	823	2.2	2.8	9.4	17.7	44.8	23.1
	平成 28 年度全体	849	1.3	3.2	9.0	18.6	57.4	10.6
平成 28 年度	美術館に行こう！	278	1.4	3.2	11.5	16.2	53.6	14.0
	徳川の平和（パクス・トクガワナ）	308	2.3	4.2	9.4	18.5	52.9	12.7
	再発見！ニッポンの立体	263	0.0	1.9	5.7	21.3	66.5	4.6

単位：%

新規来館者

		件数 (件)	「全くない」	「どちらかとい うと「全くない」	「どちらかとい もなから」	「どちらかとい うと「はい」	「はい」	無回答
平成 29 年度	戦国！井伊直虎から直政へ	113	7.1	6.2	10.6	11.5	42.5	22.1
	美しき庭園画の世界	32	3.1	3.1	9.4	12.5	50.0	21.9
	アートのおぞなぞ	53	3.8	1.9	9.4	22.6	45.3	17.0
経 年	平成 29 年度全体	198	5.6	4.5	10.1	14.6	44.4	20.7
	平成 28 年度全体	152	0.7	2.0	12.5	24.3	53.9	6.6
平成 28 年度	美術館に行こう！	68	1.5	2.9	14.7	14.7	57.4	8.8
	徳川の平和（パクス・トクガワナ）	44	0.0	2.3	18.2	31.8	40.9	6.8
	再発見！ニッポンの立体	40	0.0	0.0	2.5	32.5	62.5	2.5

単位：%



自家用車の利用のスムーズさについて、平成29年度全体は、「どちらかという はい」と「はい」を合わせた肯定的評価が62.6%となっている。肯定的評価は『アートのなぞなぞ』が73.5%、『美しき庭園画の世界』が66.1%、『戦国！井伊直虎から直政へ』が53.2%の順になっている。

一方、「いいえ」と「どちらかという いいえ」を合わせた否定的評価は5.0%となっている。

新規来館者の平成29年度全体は、肯定的評価が59.1%となっている。肯定的評価は『アートのなぞなぞ』が67.9%、『美しき庭園画の世界』が62.5%、『戦国！井伊直虎から直政へ』が54.0%の順になっている。

否定的評価は10.1%となっている。

※「どちらかという はい」と「はい」を合わせた比率、「いいえ」と「どちらかという いいえ」を合わせた比率は、それぞれ小数点第2位を四捨五入せずに合わせているため、表中の比率を合わせた値と0.1%異なる場合がある。

⑦ 満足度

全体

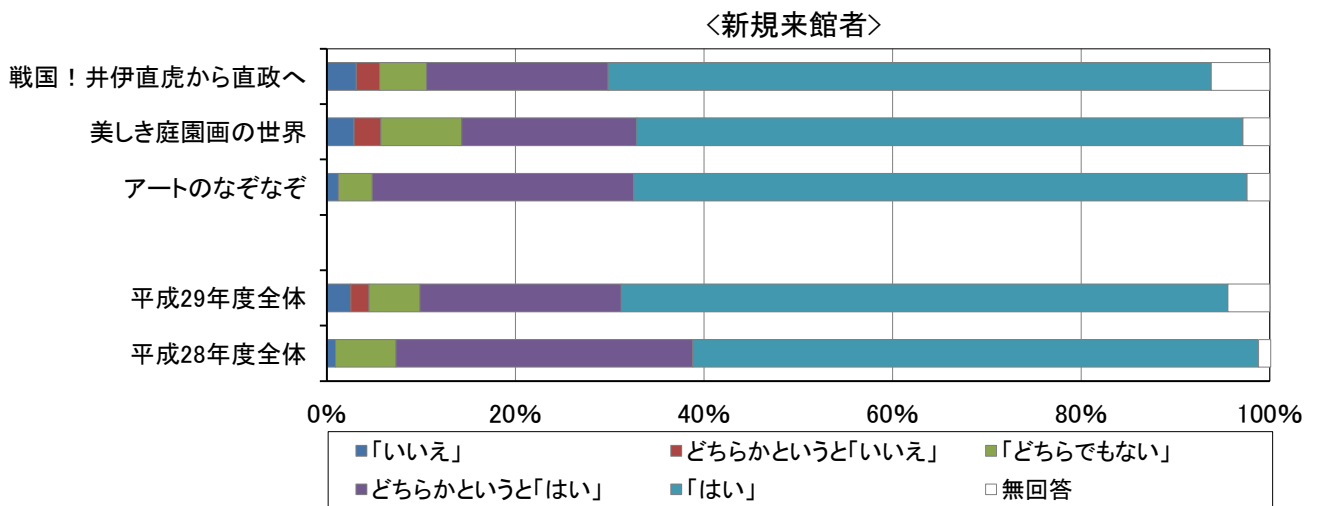
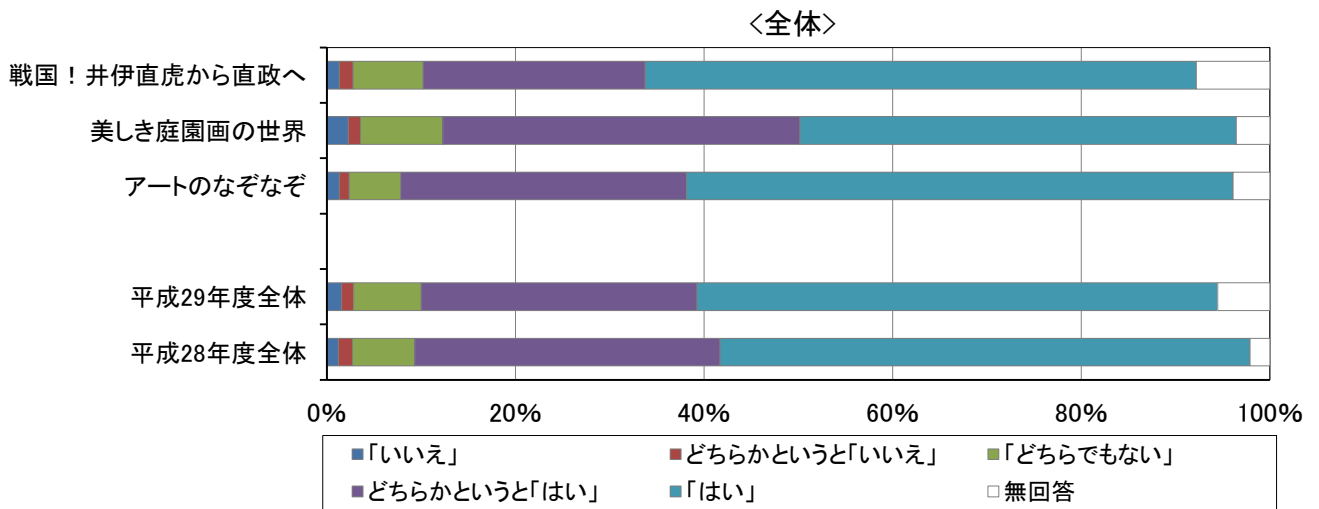
		件数 (件)	「いいえ」	「どちらかとい うと」「はい」	「どちらで もない」	「どちらかとい うと」「はい」	「はい」	無回答
平成 29 年度	戦国！井伊直虎から直政へ	539	1.3	1.5	7.4	23.6	58.4	7.8
	美しき庭園画の世界	309	2.3	1.3	8.7	37.9	46.3	3.6
	アートのなぞなぞ	383	1.3	1.0	5.5	30.3	58.0	3.9
経 年	平成 29 年度全体	1231	1.5	1.3	7.1	29.2	55.2	5.5
	平成 28 年度全体	1237	1.2	1.5	6.6	32.4	56.2	2.1
平成 28 年度	美術館に行こう！	392	1.8	1.5	4.3	29.1	60.7	2.6
	徳川の平和（パクス・トクガワーナ）	447	1.1	1.1	6.7	30.9	57.0	3.1
	再発見！ニッポンの立体	398	0.8	1.8	8.8	37.4	50.8	0.5

単位：％

新規来館者

		件数 (件)	「いいえ」	「どちらかとい うと」「はい」	「どちらで もない」	「どちらかとい うと」「はい」	「はい」	無回答
平成 29 年度	戦国！井伊直虎から直政へ	161	3.1	2.5	5.0	19.3	64.0	6.2
	美しき庭園画の世界	70	2.9	2.9	8.6	18.6	64.3	2.9
	アートのなぞなぞ	83	1.2	0.0	3.6	27.7	65.1	2.4
経 年	平成 29 年度全体	314	2.5	1.9	5.4	21.3	64.3	4.5
	平成 28 年度全体	235	0.9	0.0	6.4	31.5	60.0	1.3
平成 28 年度	美術館に行こう！	92	0.0	0.0	6.5	31.5	62.0	0.0
	徳川の平和（パクス・トクガワーナ）	81	1.2	0.0	7.4	27.2	60.5	3.7
	再発見！ニッポンの立体	62	1.6	0.0	4.8	37.1	56.5	0.0

単位：％



満足度について、平成 29 年度全体は、「どちらかという はい」と「はい」を合わせた肯定的評価が 84.5%となっている。肯定的評価は『アートのなぞなぞ』が 88.3%、『美しき庭園画の世界』が 84.1%、『戦国！井伊直虎から直政へ』が 82.0%の順になっている。

一方、「いいえ」と「どちらかという いいえ」を合わせた否定的評価は 2.8%となっている。

新規来館者の平成 29 年度全体は、肯定的評価が 85.7%となっている。肯定的評価は『アートのなぞなぞ』が 92.8%、『戦国！井伊直虎から直政へ』が 83.2%、『美しき庭園画の世界』が 82.9%の順になっている。

否定的評価は 4.5%となっている。

※「どちらかという はい」と「はい」を合わせた比率、「いいえ」と「どちらかという いいえ」を合わせた比率は、それぞれ小数点第 2 位を四捨五入せずに合わせているため、表中の比率を合わせた値と 0.1%異なる場合がある。

⑧ 「風景とロダンの美術館」としての認知度

全体

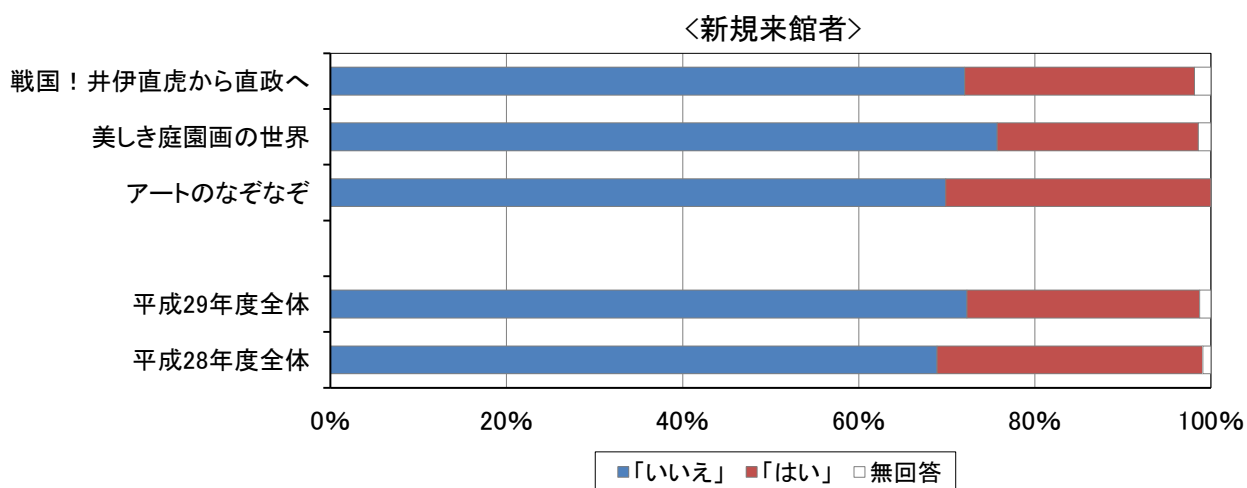
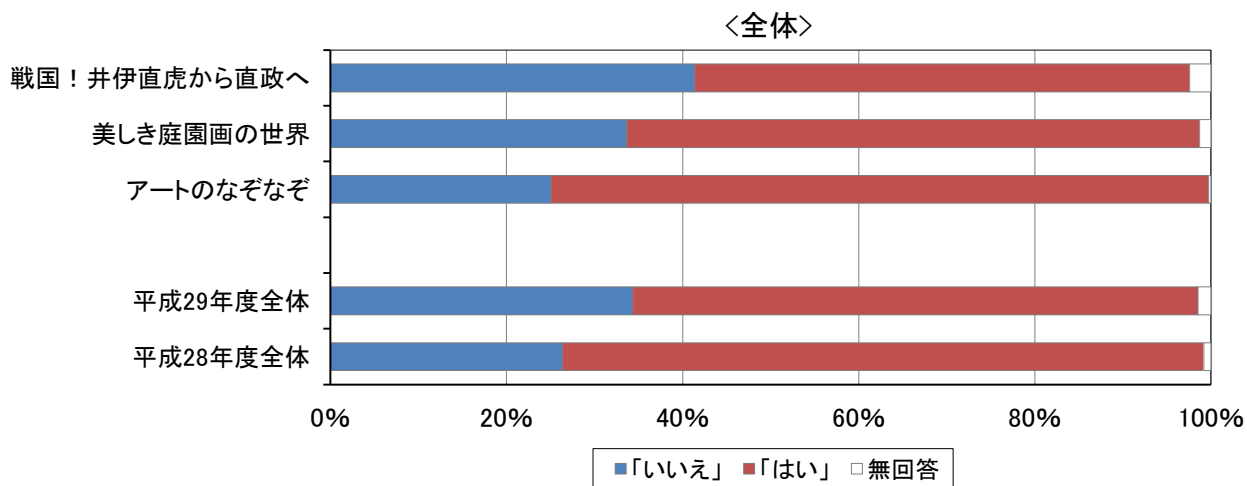
		件数 (件)	いいえ	はい	無回答
平成 29 年度	戦国！井伊直虎から直政へ	539	41.4	56.2	2.4
	美しき庭園画の世界	309	33.7	65.0	1.3
	アートのなぞなぞ	383	25.1	74.7	0.3
経 年	平成 29 年度全体	1231	34.4	64.2	1.5
	平成 28 年度全体	1237	26.4	72.8	0.8
平成 28 年度	美術館に行こう！	392	29.8	68.9	1.3
	徳川の平和（パクス・トクガワーナ）	447	26.2	72.7	1.1
	再発見！ニッポンの立体	398	23.1	76.9	0.0

単位：％

新規来館者

		件数 (件)	いいえ	はい	無回答
平成 29 年度	戦国！井伊直虎から直政へ	161	72.0	26.1	1.9
	美しき庭園画の世界	70	75.7	22.9	1.4
	アートのなぞなぞ	83	69.9	30.1	0.0
経 年	平成 29 年度全体	314	72.3	26.4	1.3
	平成 28 年度全体	235	68.9	30.2	0.9
平成 28 年度	美術館に行こう！	92	65.2	34.8	0.0
	徳川の平和（パクス・トクガワーナ）	81	72.8	24.7	2.5
	再発見！ニッポンの立体	62	69.4	30.6	0.0

単位：％



「風景とロダンの美術館」としての認知度について、平成29年度全体は、「はい」が64.2%、「いいえ」が34.4%となっている。

新規来館者の平成29年度全体は、「はい」が26.4%、「いいえ」が72.3%となっている。

5 レストランアンケート結果

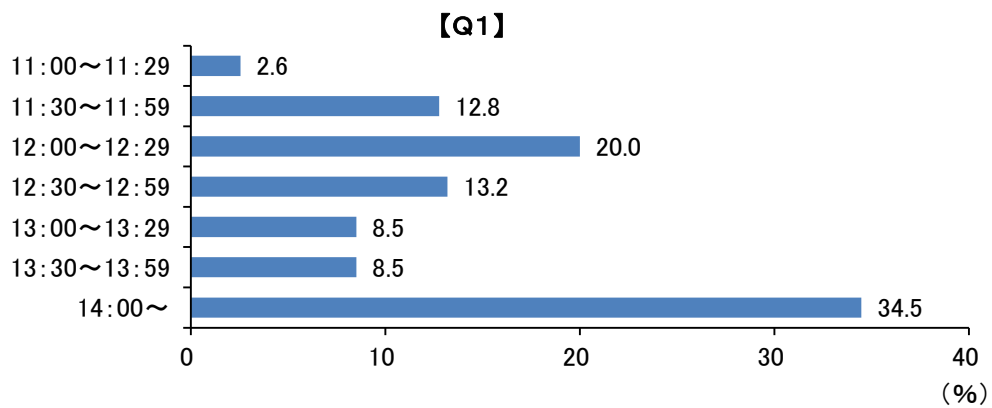
(1) 実施数 (回答数)

戦国！井伊直虎から直政へ	112 件
美しき庭園画の世界	76 件
アートのなぞなぞ	47 件
合計	235 件

(2) アンケート結果

Q1 入店時刻

		全 体	11:00 ~11:29	11:30 ~11:59	12:00 ~12:29	12:30 ~12:59	13:00 ~13:29	13:30 ~13:59	14:00 ~
平成 29 年度	回答数 (件)	235	6	30	47	31	20	20	81
	割合 (%)	100.0	2.6	12.8	20.0	13.2	8.5	8.5	34.5
平成 28 年度	回答数 (件)	322	17	57	69	55	48	27	49
	割合 (%)	100.0	5.3	17.7	21.4	17.1	14.9	8.4	15.2



Q2 注文内容

注文した料理	回答数(件)	注文した料理	回答数(件)
黒カレーライス	37件	アイスカフェラテ	2件
コーヒー	17件	アフォガード	2件
トマトパスタ	14件	キャラメルプリンパフェ	2件
シーフードプレート	13件	キャラメルラテ	2件
ハンバーグ	12件	グリーンスムージー	2件
メンチカツ	12件	ザクロ黒酢	2件
パスタ	9件	ドリップコーヒー	2件
若鶏モモ肉のグリル	9件	ハンドドリップコーヒー	2件
和風おろしハンバーグ	9件	フライ	2件
ペペロンチーノ	8件	抹茶マウンテン	2件
フレンチトースト	7件	マンゴースムージー	2件
デミグラハンバーグ	6件	アサイージュース	1件
アイスコーヒー	5件	アップルミント	1件
ドリンクセット	5件	カフェラテ	1件
フレンチフライ	5件	カプチーノ	1件
ベーグル(サーモン)	5件	キッズプレート	1件
リングイネ	5件	キャラメルマンゴーマウンテン	1件
クッキーズマウンテン	4件	クランベリージュース	1件
ケーキ	4件	紅茶のパウンドケーキ	1件
チーズケーキ	4件	スイーツ	1件
チキン	4件	スムージー	1件
ハーブ鶏のコンフィ	4件	チキンバスケット	1件
ハンバーグセット	4件	デミグラハンバーグセット	1件
ベーグル(チキン)	4件	トマトジュース	1件
ベジヌードル	4件	トマトパスタセット	1件
ベリーベリーマウンテン	4件	パスタセット	1件
アップルパイ	3件	パフェ	1件
カキと水菜のパスタ	3件	ビール	1件
カキフライ	3件	ベーグルセット	1件
カキフライセット	3件	ベジタブル	1件
カルボナーラ	3件	マンゴーマウンテン	1件
紅茶	3件	水出しコーヒー	1件
チョコミントマウンテン	3件	メンチカツセット	1件
ベーグル	3件	和風おろしハンバーグセット	1件
みかんジュース	3件		

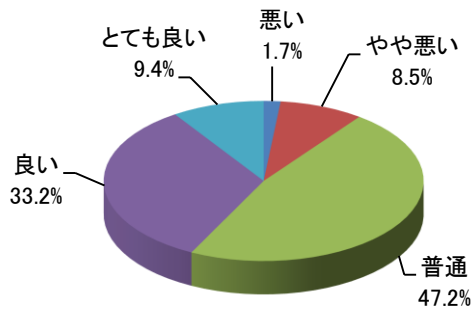
Q3① 案内表示のわかりやすさ

		全体	悪い	やや悪い	普通	良い	とても良い	無回答
平成29年度	回答数(件)	235	4	20	111	78	22	0
	割合(%)	100.0	1.7	8.5	47.2	33.2	9.4	0.0
平成28年度	回答数(件)	322	6	29	152	91	41	3
	割合(%)	100.0	1.9	9.0	47.2	28.3	12.7	0.9

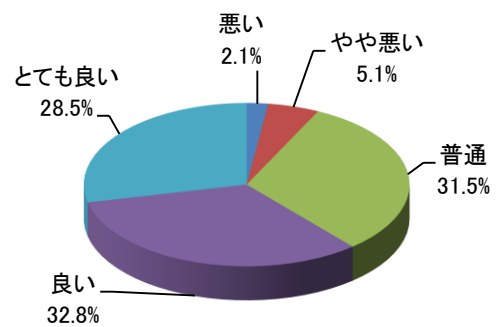
Q3② 席に案内するまでの時間

		全体	悪い	やや悪い	普通	良い	とても良い
平成29年度	回答数(件)	235	5	12	74	77	67
	割合(%)	100.0	2.1	5.1	31.5	32.8	28.5
平成28年度	回答数(件)	322	3	20	93	124	82
	割合(%)	100.0	0.9	6.2	28.9	38.5	25.5

【Q3①】



【Q3②】



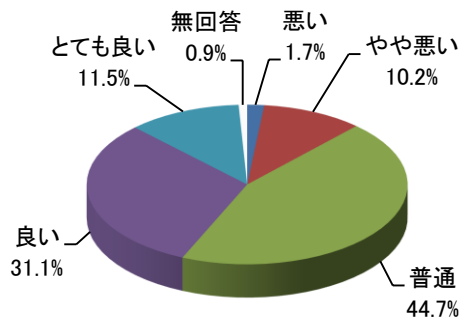
Q3③ メニューの種類豊富さ

		全体	悪い	やや悪い	普通	良い	とても良い	無回答
平成29年度	回答数(件)	235	4	24	105	73	27	2
	割合(%)	100.0	1.7	10.2	44.7	31.1	11.5	0.9
平成28年度	回答数(件)	322	11	62	157	77	12	3
	割合(%)	100.0	3.4	19.3	48.8	23.9	3.7	0.9

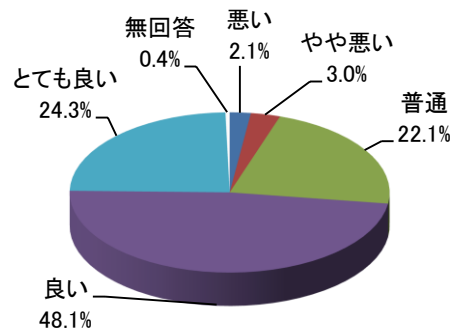
Q3④ 味

		全体	悪い	やや悪い	普通	良い	とても良い	無回答
平成29年度	回答数(件)	235	5	7	52	113	57	1
	割合(%)	100.0	2.1	3.0	22.1	48.1	24.3	0.4
平成28年度	回答数(件)	322	0	6	63	151	100	2
	割合(%)	100.0	0.0	1.9	19.6	46.9	31.1	0.6

【Q3③】



【Q3④】



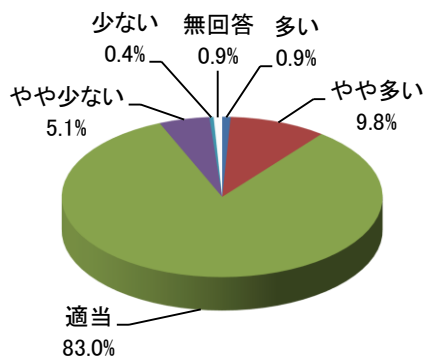
Q3⑤ 量

		全体	多い	やや多い	適当	やや少ない	少ない	無回答
平成 29年度	回答数(件)	235	2	23	195	12	1	2
	割合(%)	100.0	0.9	9.8	83.0	5.1	0.4	0.9
平成 28年度	回答数(件)	322	1	11	257	42	6	5
	割合(%)	100.0	0.3	3.4	79.8	13.0	1.9	1.6

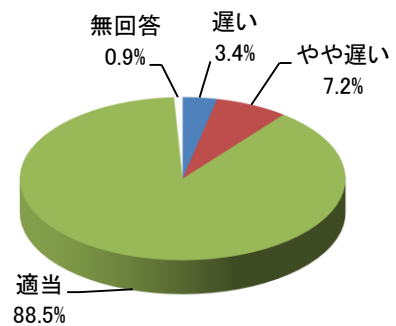
Q3⑥ 料理が出るまでの時間

		全体	遅い	やや遅い	適当	無回答
平成 29年度	回答数(件)	235	8	17	208	2
	割合(%)	100.0	3.4	7.2	88.5	0.9
平成 28年度	回答数(件)	322	6	32	280	4
	割合(%)	100.0	1.9	9.9	87.0	1.2

【Q3⑤】



【Q3⑥】



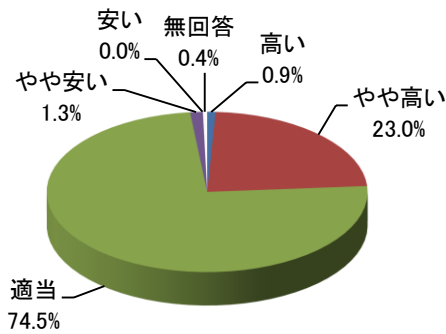
Q3⑦ 値段

		全体	高い	やや高い	適当	やや安い	安い	無回答
平成29年度	回答数(件)	235	2	54	175	3	0	1
	割合(%)	100.0	0.9	23.0	74.5	1.3	0.0	0.4
平成28年度	回答数(件)	322	2	62	237	11	7	3
	割合(%)	100.0	0.6	19.3	73.6	3.4	2.2	0.9

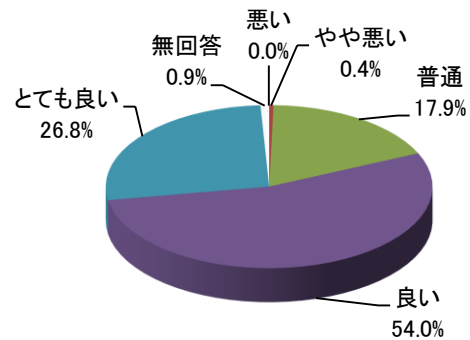
Q3⑧ 店の雰囲気・清潔さ

		全体	悪い	やや悪い	普通	良い	とても良い	無回答
平成29年度	回答数(件)	235	0	1	42	127	63	2
	割合(%)	100.0	0.0	0.4	17.9	54.0	26.8	0.9
平成28年度	回答数(件)	322	0	1	68	168	85	0
	割合(%)	100.0	0.0	0.3	21.1	52.2	26.4	0.0

【Q3⑦】



【Q3⑧】



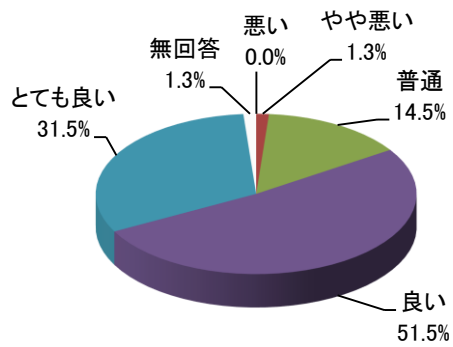
Q3⑨ 従業員の態度

		全体	悪い	やや悪い	普通	良い	とても良い	無回答
平成29年度	回答数(件)	235	0	3	34	121	74	3
	割合(%)	100.0	0.0	1.3	14.5	51.5	31.5	1.3
平成28年度	回答数(件)	322	0	6	60	158	97	1
	割合(%)	100.0	0.0	1.9	18.6	49.1	30.1	0.3

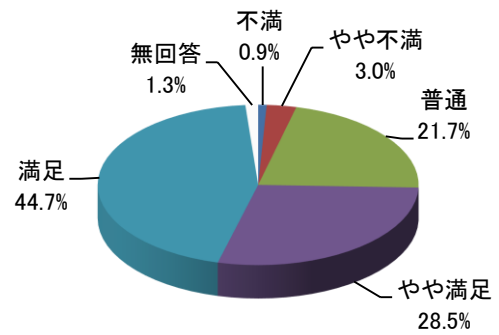
Q3⑩ 満足度

		全体	不満	やや不満	普通	やや満足	満足	無回答
平成29年度	回答数(件)	235	2	7	51	67	105	3
	割合(%)	100.0	0.9	3.0	21.7	28.5	44.7	1.3
平成28年度	回答数(件)	322	3	6	62	114	133	4
	割合(%)	100.0	0.9	1.9	19.3	35.4	41.3	1.2

【Q3⑨】



【Q3⑩】



Q 4 不満や改善点 (略)

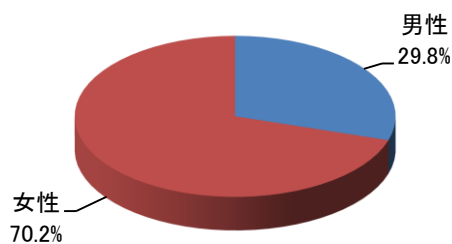
F 1 性別

		全体	男性	女性	無回答
平成 29年度	回答数(件)	235	70	165	0
	割合(%)	100.0	29.8	70.2	0.0
平成 28年度	回答数(件)	322	97	224	1
	割合(%)	100.0	30.1	69.6	0.3

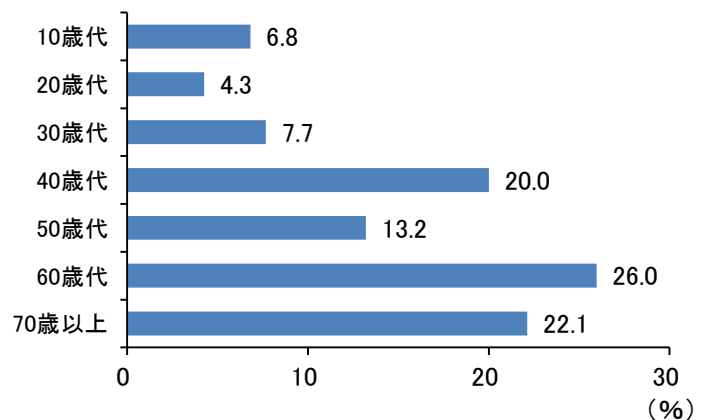
F 2 年齢

		全体	10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上	無回答
平成 29年度	回答数(件)	235	16	10	18	47	31	61	52	0
	割合(%)	100.0	6.8	4.3	7.7	20.0	13.2	26.0	22.1	0.0
平成 28年度	回答数(件)	322	1	10	26	27	82	90	85	1
	割合(%)	100.0	0.3	3.1	8.1	8.4	25.5	28.0	26.4	0.3

【F1】



【F2】



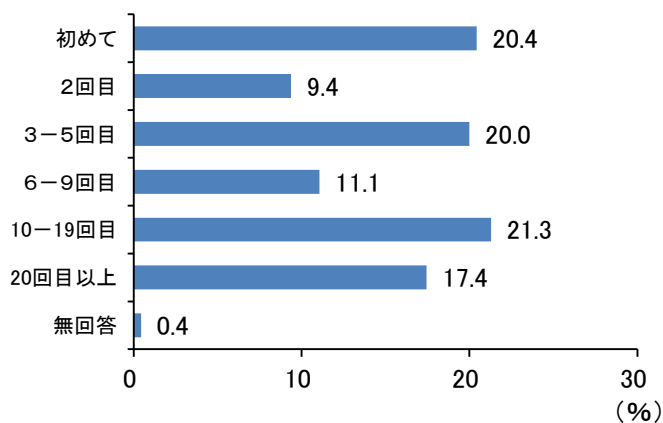
F 3 美術館への来館回数

		全体	初めて	2回目	3-5回目	6-9回目	10-19回目	20回目以上	無回答
平成29年度	回答数(件)	235	48	22	47	26	50	41	1
	割合(%)	100.0	20.4	9.4	20.0	11.1	21.3	17.4	0.4
平成28年度	回答数(件)	322	57	22	48	46	69	79	1
	割合(%)	100.0	17.7	6.8	14.9	14.3	21.4	24.5	0.3

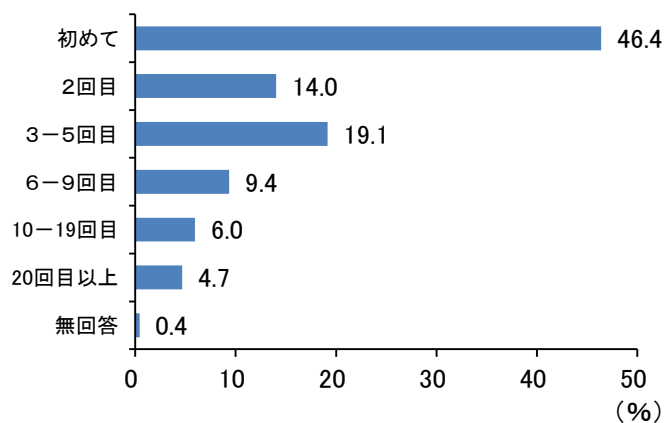
F 4 レストランの利用回数

		全体	初めて	2回目	3-5回目	6-9回目	10-19回目	20回目以上	無回答
平成29年度	回答数(件)	235	109	33	45	22	14	11	1
	割合(%)	100.0	46.4	14.0	19.1	9.4	6.0	4.7	0.4
平成28年度	回答数(件)	322	107	34	60	44	53	24	0
	割合(%)	100.0	33.2	10.6	18.6	13.7	16.5	7.5	0.0

【F3】



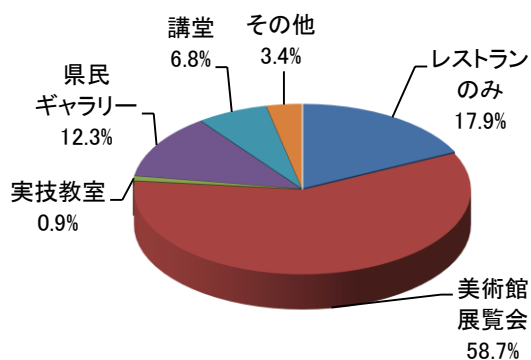
【F4】



F 5 当日の来館の主な目的

		全体	レストランのみ	美術館 展覧会	実技教室	県民 ギャラリー	講堂	その他	無回答
平成29年度	回答数(件)	235	42	138	2	29	16	8	0
	割合(%)	100.0	17.9	58.7	0.9	12.3	6.8	3.4	0.0
平成28年度	回答数(件)	322	61	209	2	15	9	25	1
	割合(%)	100.0	18.9	64.9	0.6	4.7	2.8	7.8	0.3

【F5】



6 カフェアンケート結果

(1) 実施数 (回答数)

戦国！井伊直虎から直政へ	55 件
合計	55 件

※平成 29 年度の今年度は「美しき庭園画の世界」「アートのなぞなぞ」が開催中にカフェは休業しており、調査を実施していない。また、今年度よりカフェの営業時間は 11：30～15：00 となり、調査は 12：00～15：00 に実施した。

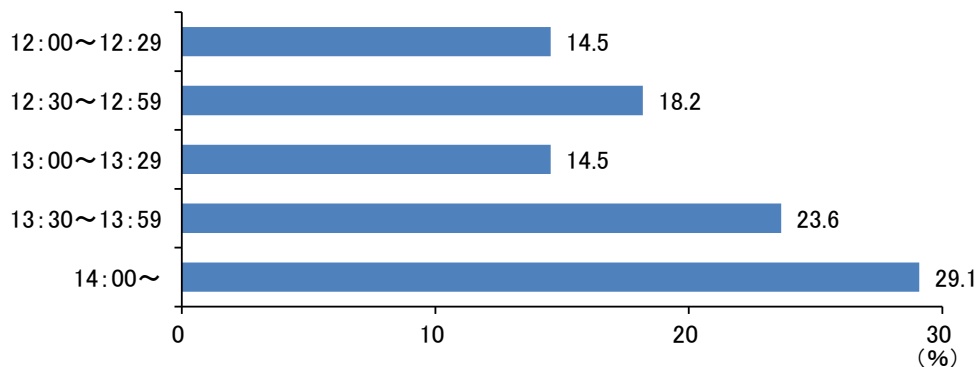
(2) アンケート結果

Q1 入店時刻

		全体	10：00 ～ 10：29	10：30 ～ 10：59	11：00 ～ 11：29	11：30 ～ 11：59	12：00 ～ 12：29	12：30 ～ 12：59	13：00 ～ 13：29	13：30 ～ 13：59	14：00 ～
平成 29 年度	回答数 (件)	55	-	-	-	-	8	10	8	13	16
	割合 (%)	100.0	-	-	-	-	14.5	18.2	14.5	23.6	29.1
平成 28 年度	回答数 (件)	363	9	19	25	43	44	30	42	33	118
	割合 (%)	100.0	2.5	5.2	6.9	11.8	12.1	8.3	11.6	9.1	32.5

※平成 29 年度は営業時間変更あり

【Q1】



Q2 注文内容

注文した料理	回答数 (件)	注文した料理	回答数 (件)
ベーグル	18 件	みかんジュース	2 件
コーヒー	17 件	ベーグルサーモン	2 件
ホットコーヒー	6 件	アイ스티ーセット	1 件
カフェオレ	5 件	クロワッサン生ハムサンド	1 件
ポップオーバー	5 件	ケーキ	1 件
マフィン	4 件	紅茶セット	1 件
アイスコーヒー	3 件	チーズサンド	1 件
キウイジュース	3 件	プロシュートとルッコラのサンド	1 件
紅茶のパウンドケーキ	3 件	プロランタン	1 件
コーヒーセット	3 件	ベーグルセット	1 件
ドリンクセット	3 件	ポップオーバーセット	1 件
パン	3 件	マフィンセット	1 件
アイ스티ー	2 件	焼き菓子	1 件
紅茶	2 件		

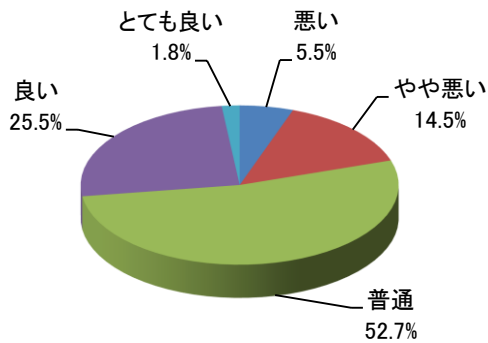
Q3① 案内表示の分かりやすさ

		全体	悪い	やや悪い	普通	良い	とても良い	無回答
平成29年度	回答数(件)	55	3	8	29	14	1	0
	割合(%)	100.0	5.5	14.5	52.7	25.5	1.8	0.0
平成28年度	回答数(件)	363	7	31	167	109	44	5
	割合(%)	100.0	1.9	8.5	46.0	30.0	12.1	1.4

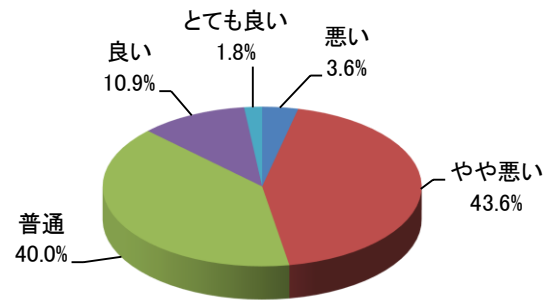
Q3② メニューの種類豊富さ

		全体	悪い	やや悪い	普通	良い	とても良い	無回答
平成29年度	回答数(件)	55	2	24	22	6	1	0
	割合(%)	100.0	3.6	43.6	40.0	10.9	1.8	0.0
平成28年度	回答数(件)	363	6	103	195	45	12	2
	割合(%)	100.0	1.7	28.4	53.7	12.4	3.3	0.6

【Q3①】



【Q3②】



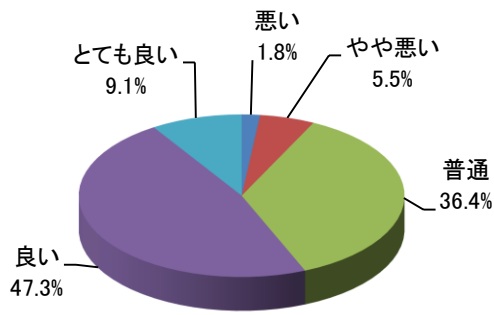
Q3③ 味

		全体	悪い	やや悪い	普通	良い	とても良い
平成29年度	回答数(件)	55	1	3	20	26	5
	割合(%)	100.0	1.8	5.5	36.4	47.3	9.1
平成28年度	回答数(件)	363	0	14	128	173	48
	割合(%)	100.0	0.0	3.9	35.3	47.7	13.2

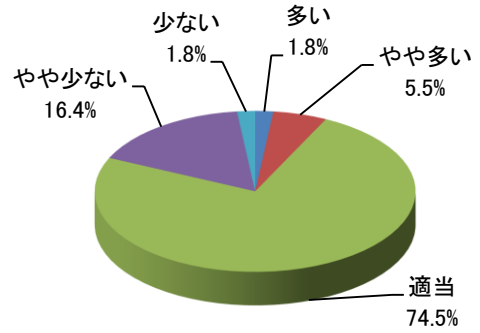
Q3④ 量

		全体	多い	やや多い	適当	やや少ない	少ない	無回答
平成29年度	回答数(件)	55	1	3	41	9	1	0
	割合(%)	100.0	1.8	5.5	74.5	16.4	1.8	0.0
平成28年度	回答数(件)	363	0	10	272	71	9	1
	割合(%)	100.0	0.0	2.8	74.9	19.6	2.5	0.3

【Q3③】



【Q3④】



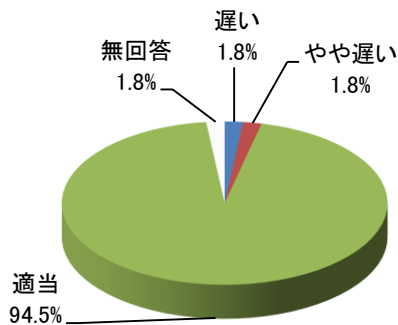
Q3⑤ 料理が出てくるまでの時間

		全体	遅い	やや遅い	適当	無回答
平成29年度	回答数(件)	55	1	1	52	1
	割合(%)	100.0	1.8	1.8	94.5	1.8
平成28年度	回答数(件)	363	5	36	309	13
	割合(%)	100.0	1.4	9.9	85.1	3.6

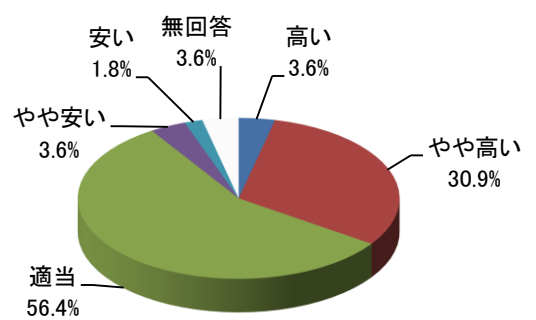
Q3⑥ 値段

		全体	高い	やや高い	適当	やや安い	安い	無回答
平成29年度	回答数(件)	55	2	17	31	2	1	2
	割合(%)	100.0	3.6	30.9	56.4	3.6	1.8	3.6
平成28年度	回答数(件)	363	3	53	255	35	8	9
	割合(%)	100.0	0.8	14.6	70.2	9.6	2.2	2.5

【Q3⑤】



【Q3⑥】



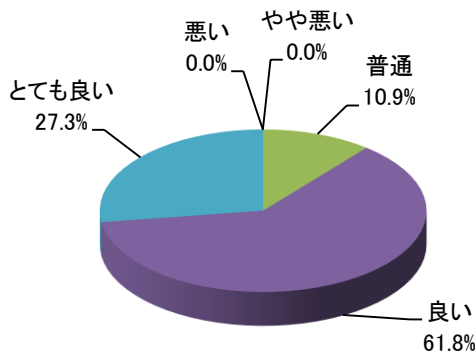
Q3⑦ 店の雰囲気・清潔さ

		全体	悪い	やや悪い	普通	良い	とても良い
平成29年度	回答数(件)	55	0	0	6	34	15
	割合(%)	100.0	0.0	0.0	10.9	61.8	27.3
平成28年度	回答数(件)	363	0	4	75	203	81
	割合(%)	100.0	0.0	1.1	20.7	55.9	22.3

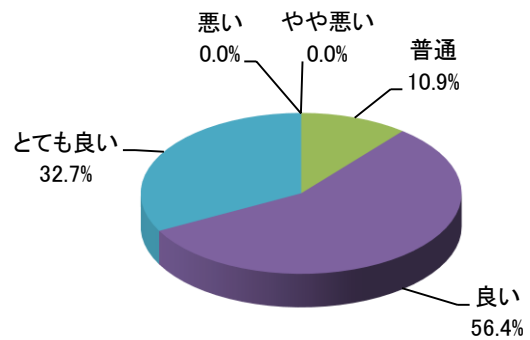
Q3⑧ 従業員の態度

		全体	悪い	やや悪い	普通	良い	とても良い	無回答
平成29年度	回答数(件)	55	0	0	6	31	18	0
	割合(%)	100.0	0.0	0.0	10.9	56.4	32.7	0.0
平成28年度	回答数(件)	363	0	13	119	159	69	3
	割合(%)	100.0	0.0	3.6	32.8	43.8	19.0	0.8

【Q3⑦】



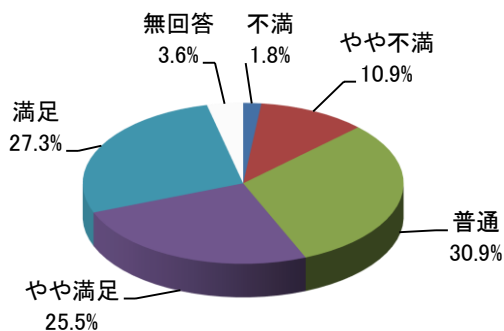
【Q3⑧】



Q3⑨ 満足度

		全体	不満	やや不満	普通	やや満足	満足	無回答
平成29年度	回答数(件)	55	1	6	17	14	15	2
	割合(%)	100.0	1.8	10.9	30.9	25.5	27.3	3.6
平成28年度	回答数(件)	363	1	11	115	124	109	3
	割合(%)	100.0	0.3	3.0	31.7	34.2	30.0	0.8

【Q3⑨】



Q 4 不満や改善点 (略)

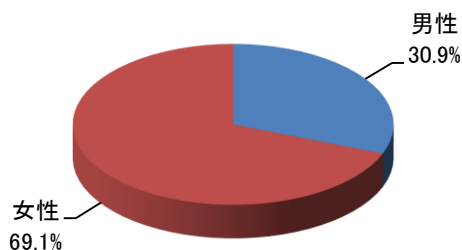
F 1 性別

		全体	男性	女性	無回答
平成 29年度	回答数(件)	55	17	38	0
	割合(%)	100.0	30.9	69.1	0.0
平成 28年度	回答数(件)	363	105	257	1
	割合(%)	100.0	28.9	70.8	0.3

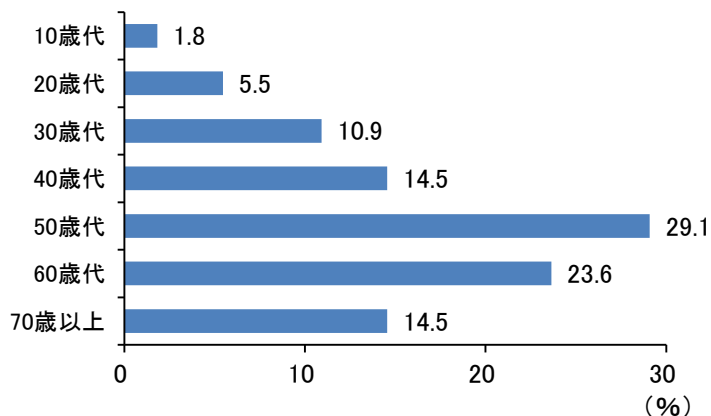
F 2 年齢

		全体	10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上	無回答
平成 29年度	回答数(件)	55	1	3	6	8	16	13	8	0
	割合(%)	100.0	1.8	5.5	10.9	14.5	29.1	23.6	14.5	0.0
平成 28年度	回答数(件)	363	10	35	49	64	58	92	54	1
	割合(%)	100.0	2.8	9.6	13.5	17.6	16.0	25.3	14.9	0.3

【F1】



【F2】

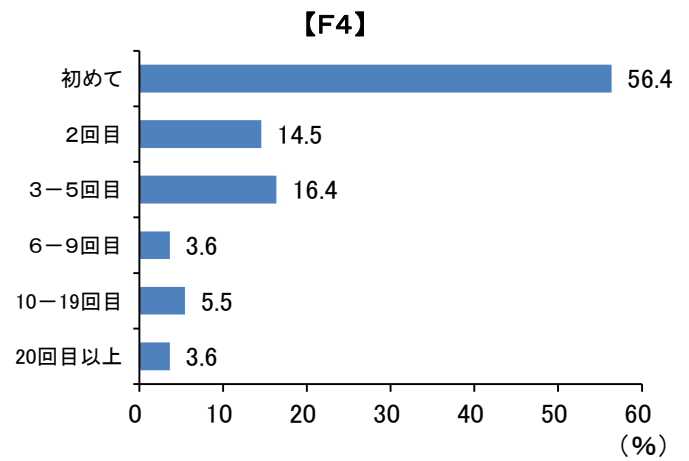
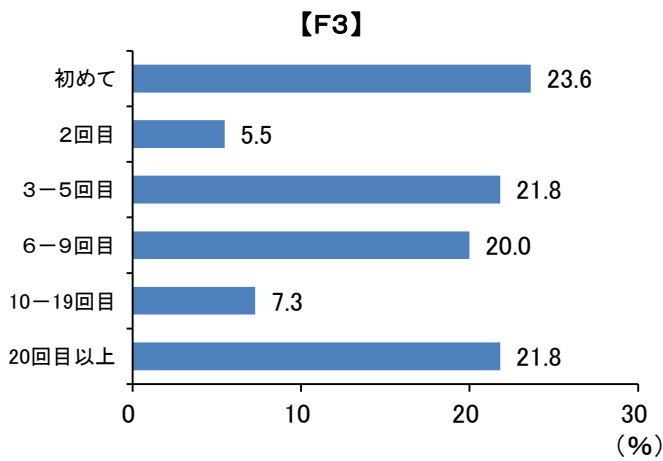


F 3 美術館への来館回数

		全体	初めて	2回目	3-5回目	6-9回目	10-19回目	20回目以上	無回答
平成 29年度	回答数(件)	55	13	3	12	11	4	12	0
	割合(%)	100.0	23.6	5.5	21.8	20.0	7.3	21.8	0.0
平成 28年度	回答数(件)	363	58	36	75	48	75	69	2
	割合(%)	100.0	16.0	9.9	20.7	13.2	20.7	19.0	0.6

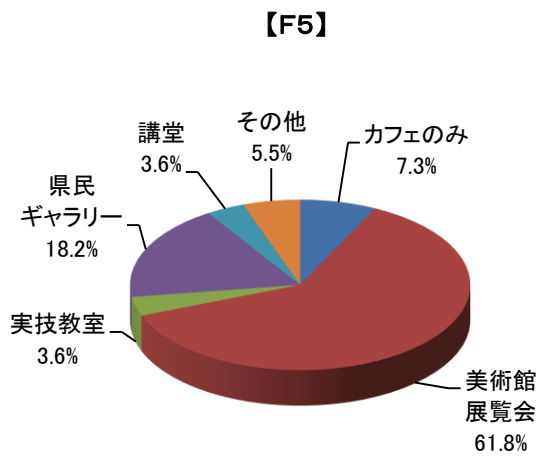
F 4 カフェの利用回数

		全体	初めて	2回目	3-5回目	6-9回目	10-19回目	20回目以上	無回答
平成 29年度	回答数(件)	55	31	8	9	2	3	2	0
	割合(%)	100.0	56.4	14.5	16.4	3.6	5.5	3.6	0.0
平成 28年度	回答数(件)	363	185	45	59	24	25	24	1
	割合(%)	100.0	51.0	12.4	16.3	6.6	6.9	6.6	0.3



F 5 当日の来館の主な目的

		全体	カフェのみ	美術館 展覧会	実技教室	県民 ギャラリー	講堂	その他
平成 29年度	回答数(件)	55	4	34	2	10	2	3
	割合(%)	100.0	7.3	61.8	3.6	18.2	3.6	5.5
平成 28年度	回答数(件)	363	74	206	6	26	10	41
	割合(%)	100.0	20.4	56.7	1.7	7.2	2.8	11.3



7 ミュージアム・ショップアンケート結果

(1) 実施数 (回答数)

戦国！井伊直虎から直政へ	140 件
美しき庭園画の世界	95 件
アートのなぞなぞ	60 件
合計	295 件

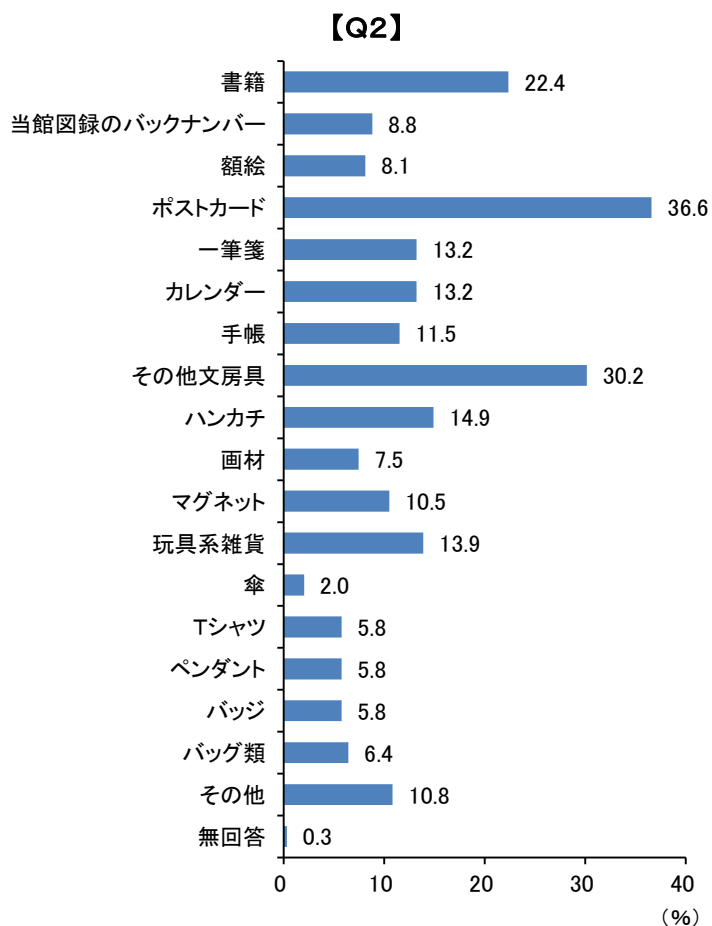
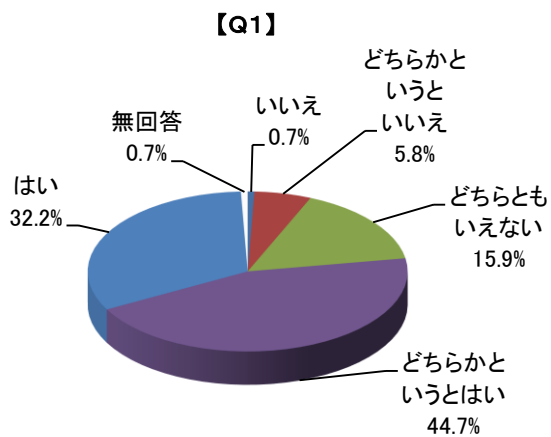
(2) アンケート結果

Q1 品揃えの充実さ

		全体	いいえ	どちらかというといえ	どちらともいえない	どちらかというとはい	はい	無回答
平成 29 年度	回答数 (件)	295	2	17	47	132	95	2
	割合 (%)	100.0	0.7	5.8	15.9	44.7	32.2	0.7
平成 28 年度	回答数 (件)	465	8	40	78	174	165	0
	割合 (%)	100.0	1.7	8.6	16.8	37.4	35.5	0.0

Q2 充実してほしい商品 (複数回答可)

		全体	書籍	当館図録のバックナンバー	額絵	ポストカード	一筆箋	カレンダー
平成 29 年度	回答数 (件)	295	66	26	24	108	39	39
	割合 (%)	100.0	22.4	8.8	8.1	36.6	13.2	13.2
平成 28 年度	回答数 (件)	465	120	47	55	186	51	61
	割合 (%)	100.0	25.8	10.1	11.8	40.0	11.0	13.1
		手帳	その他文房具	ハンカチ	画材	マグネット	玩具系雑貨	傘
平成 29 年度	回答数 (件)	34	89	44	22	31	41	6
	割合 (%)	11.5	30.2	14.9	7.5	10.5	13.9	2.0
平成 28 年度	回答数 (件)	33	120	45	25	36	73	3
	割合 (%)	7.1	25.8	9.7	5.4	7.7	15.7	0.6
		Tシャツ	ペンダント	バッジ	バッグ類	その他	無回答	
平成 29 年度	回答数 (件)	17	17	17	19	32	1	
	割合 (%)	5.8	5.8	5.8	6.4	10.8	0.3	
平成 28 年度	回答数 (件)	23	7	8	20	38	15	
	割合 (%)	4.9	1.5	1.7	4.3	8.2	3.2	



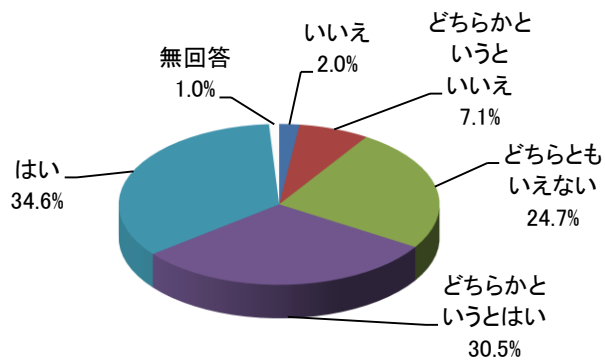
Q 3 商品の価格の適当さ

		全体	いいえ	どちらかというといえ	どちらともいえない	どちらかというとはい	はい	無回答
平成29年度	回答数(件)	295	6	21	73	90	102	3
	割合(%)	100.0	2.0	7.1	24.7	30.5	34.6	1.0
平成28年度	回答数(件)	465	4	27	91	152	188	3
	割合(%)	100.0	0.9	5.8	19.6	32.7	40.4	0.6

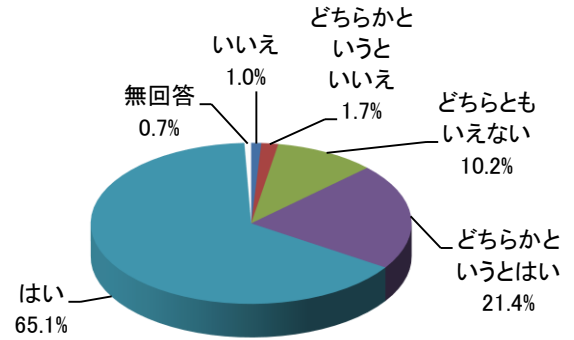
Q 4 従業員の対応の良さ

		全体	いいえ	どちらかというといえ	どちらともいえない	どちらかというとはい	はい	無回答
平成29年度	回答数(件)	295	3	5	30	63	192	2
	割合(%)	100.0	1.0	1.7	10.2	21.4	65.1	0.7
平成28年度	回答数(件)	465	1	5	27	87	344	1
	割合(%)	100.0	0.2	1.1	5.8	18.7	74.0	0.2

【Q3】



【Q4】



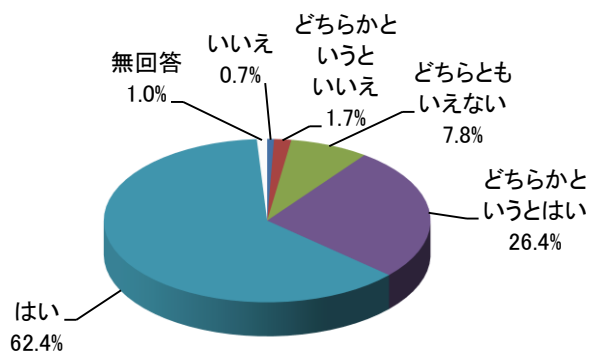
Q 5 雰囲気の相応しさ

		全体	いいえ	どちらかというといえ	どちらともいえない	どちらかというとはい	はい	無回答
平成29年度	回答数(件)	295	2	5	23	78	184	3
	割合(%)	100.0	0.7	1.7	7.8	26.4	62.4	1.0
平成28年度	回答数(件)	465	3	9	45	90	318	0
	割合(%)	100.0	0.6	1.9	9.7	19.4	68.4	0.0

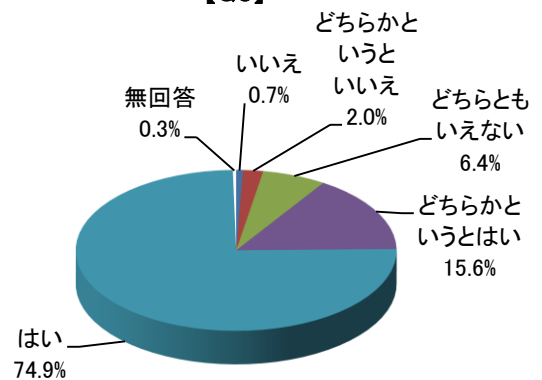
Q 6 次のショップへの来店意向

		全体	いいえ	どちらかというといえ	どちらともいえない	どちらかというとはい	はい	無回答
平成29年度	回答数(件)	295	2	6	19	46	221	1
	割合(%)	100.0	0.7	2.0	6.4	15.6	74.9	0.3
平成28年度	回答数(件)	465	2	5	26	54	378	0
	割合(%)	100.0	0.4	1.1	5.6	11.6	81.3	0.0

【Q5】



【Q6】



A 7 ご意見・ご感想 (略)

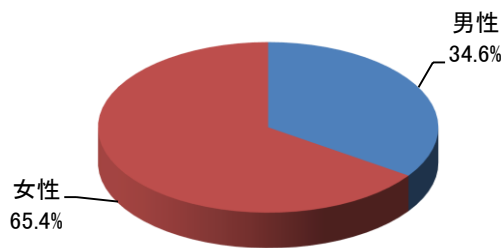
F 1 性別

		全体	男性	女性
平成 29年度	回答数(件)	295	102	193
	割合(%)	100.0	34.6	65.4
平成 28年度	回答数(件)	465	140	325
	割合(%)	100.0	30.1	69.9

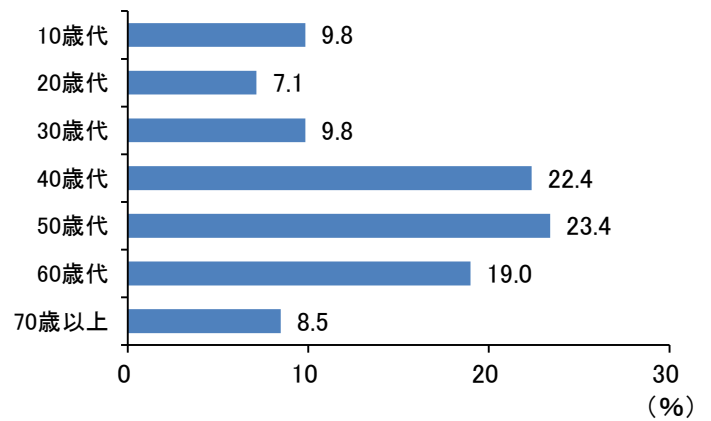
F 2 年齢

		全体	10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上
平成 29年度	回答数(件)	295	29	21	29	66	69	56	25
	割合(%)	100.0	9.8	7.1	9.8	22.4	23.4	19.0	8.5
平成 28年度	回答数(件)	465	15	37	72	97	82	101	61
	割合(%)	100.0	3.2	8.0	15.5	20.9	17.6	21.7	13.1

【F1】



【F2】

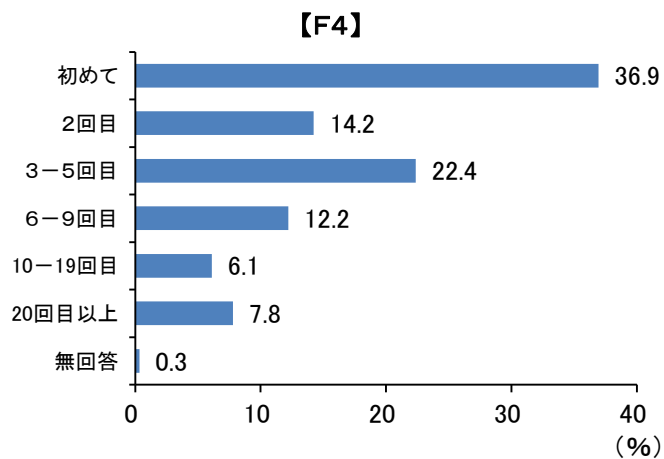
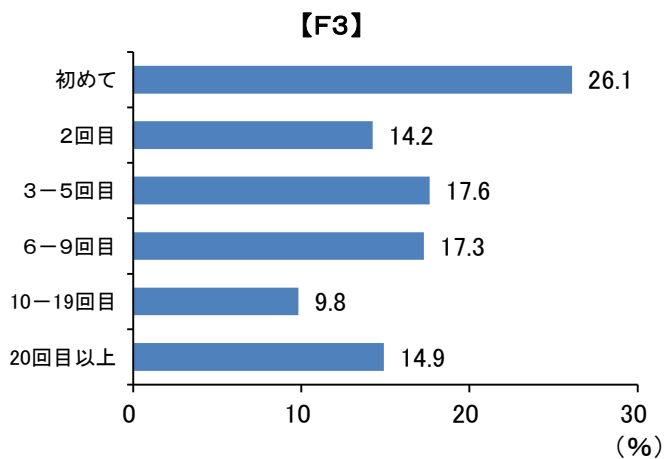


F 3 美術館への来館回数

		全体	初めて	2回目	3-5回目	6-9回目	10-19回目	20回目以上
平成29年度	回答数(件)	295	77	42	52	51	29	44
	割合(%)	100.0	26.1	14.2	17.6	17.3	9.8	14.9
平成28年度	回答数(件)	465	103	33	99	76	85	69
	割合(%)	100.0	22.2	7.1	21.3	16.3	18.3	14.8

F 4 ショップの利用回数

		全体	初めて	2回目	3-5回目	6-9回目	10-19回目	20回目以上	無回答
平成29年度	回答数(件)	295	109	42	66	36	18	23	1
	割合(%)	100.0	36.9	14.2	22.4	12.2	6.1	7.8	0.3
平成28年度	回答数(件)	465	142	49	102	67	67	38	0
	割合(%)	100.0	30.5	10.5	21.9	14.4	14.4	8.2	0.0



8 美術館ホームページアンケート結果

(1) 実施数 (回答数)

11 件

(2) アンケート結果

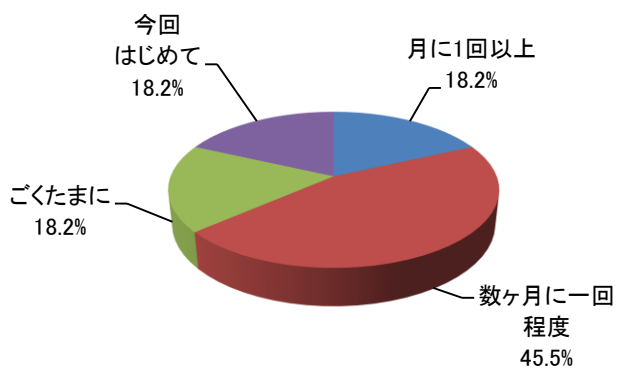
Q1 ホームページの閲覧頻度

		全体	月に1回以上	数ヶ月に一回程度	ごくたまに	今回初めて
平成29年度	回答数 (件)	11	2	5	2	2
	割合 (%)	100.0	18.2	45.5	18.2	18.2
平成28年度	回答数 (件)	162	36	45	46	35
	割合 (%)	100.0	22.2	27.8	28.4	21.6

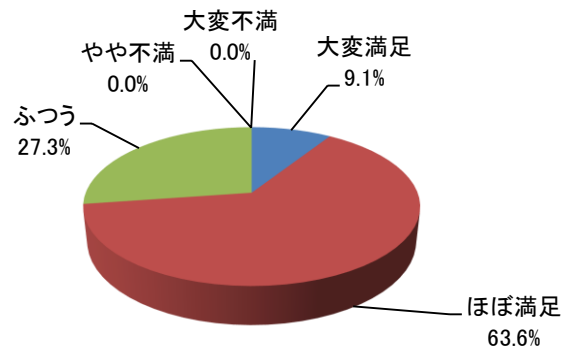
Q2 ホームページの情報内容

		全体	大変満足	ほぼ満足	ふつう	やや不満	大変不満
平成29年度	回答数 (件)	11	1	7	3	0	0
	割合 (%)	100.0	9.1	63.6	27.3	0.0	0.0
平成28年度	回答数 (件)	162	26	91	39	6	0
	割合 (%)	100.0	16.0	56.2	24.1	3.7	0.0

【Q1】



【Q2】



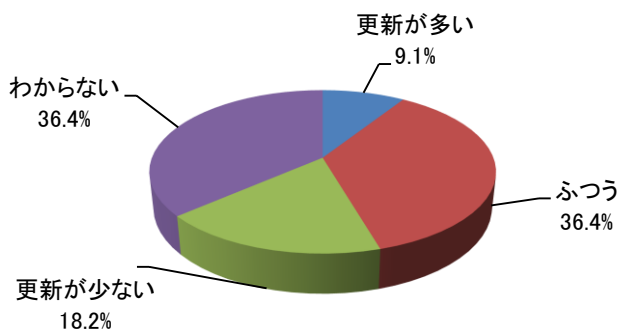
Q3 ホームページの更新頻度

		全体	更新が多い	ふつう	更新が少ない	わからない
平成29年度	回答数(件)	11	1	4	2	4
	割合(%)	100.0	9.1	36.4	18.2	36.4
平成28年度	回答数(件)	162	10	95	5	52
	割合(%)	100.0	6.2	58.6	3.1	32.1

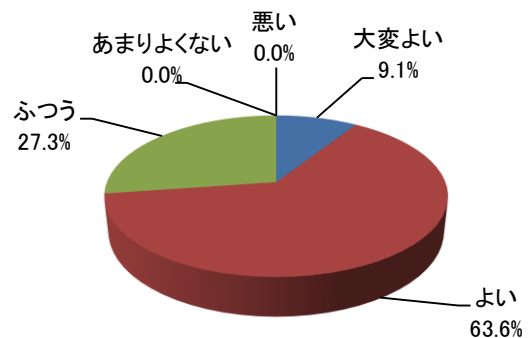
Q4 ホームページのデザイン

		全体	大変よい	よい	ふつう	あまりよくない	悪い
平成29年度	回答数(件)	11	1	7	3	0	0
	割合(%)	100.0	9.1	63.6	27.3	0.0	0.0
平成28年度	回答数(件)	162	51	81	16	13	1
	割合(%)	100.0	31.5	50.0	9.9	8.0	0.6

【Q3】



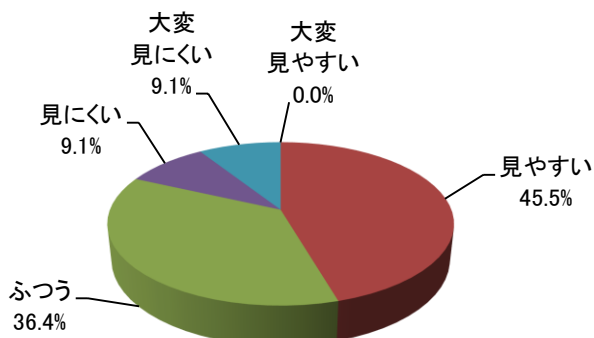
【Q4】



Q5 ホームページの見やすさ

		全体	大変見やすい	見やすい	ふつう	見にくい	大変見にくい
平成29年度	回答数(件)	11	0	5	4	1	1
	割合(%)	100.0	0.0	45.5	36.4	9.1	9.1
平成28年度	回答数(件)	162	28	85	32	16	1
	割合(%)	100.0	17.3	52.5	19.8	9.9	0.6

【Q5】



※1 年齢

		全体	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代	90代
平成29年度	回答数(件)	11	0	1	4	2	1	2	0	1	0
	割合(%)	100.0	0.0	9.1	36.4	18.2	9.1	18.2	0.0	9.1	0.0
平成28年度	回答数(件)	162	2	13	41	54	40	8	3	1	0
	割合(%)	100.0	1.2	8.0	25.3	33.3	24.7	4.9	1.9	0.6	0.0

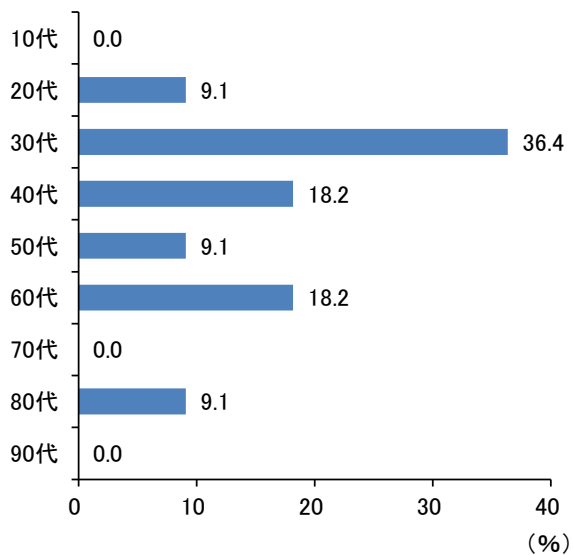
※2 性別

		全体	男	女
平成29年度	回答数(件)	11	3	8
	割合(%)	100.0	27.3	72.7
平成28年度	回答数(件)	162	35	127
	割合(%)	100.0	21.6	78.4

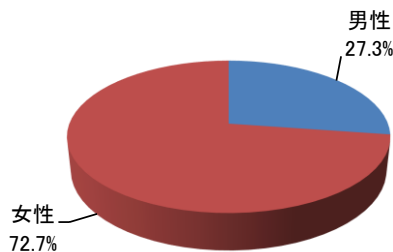
※3 職業

		全体	会社員	自営業	公務員	博物館職員	教員	主婦	学生	その他
平成29年度	回答数(件)	11	2	1	0	0	1	3	1	3
	割合(%)	100.0	18.2	9.1	0.0	0.0	9.1	27.3	9.1	27.3
平成28年度	回答数(件)	162	58	8	10	0	2	61	4	19
	割合(%)	100.0	35.8	4.9	6.2	0.0	1.2	37.7	2.5	11.7

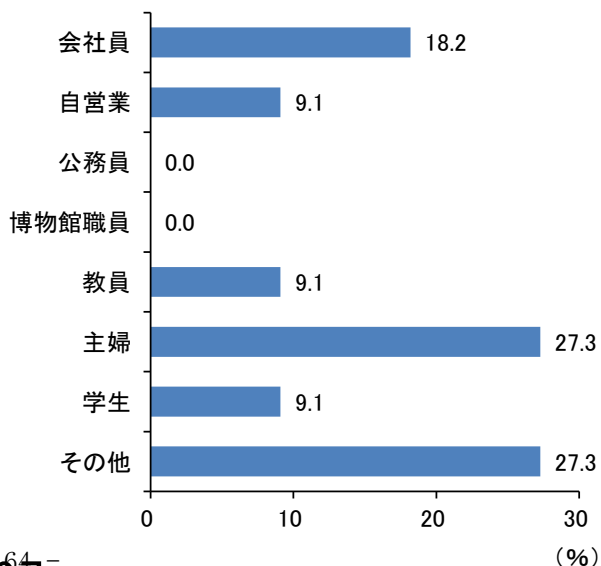
【※1】



【※2】



【※3】



ご意見・ご感想 (略)

9 自由意見

この展覧会または当美術館についてのご指摘やご意見等がありましたら、ご自由にお書きください。とたずねたところ、342件の自由意見があり、分類・性質別に整理をし掲載する。

自由意見の分類・性質別件数

	1			2			3			4			5		
	今回の展覧会			企画全般			展示方法			施設・環境			運営・スタッフ		
	A 感想	B 要望	C 苦情	A 感想	B 要望	C 苦情	A 感想	B 要望	C 苦情	A 感想	B 要望	C 苦情	A 感想	B 要望	C 苦情
戦国！井伊直虎から直政へ	37	3	2	8	11	2	12	12	4	9	15	6	2	2	3
美しき庭園画の世界	29	1	0	18	11	0	8	13	2	12	4	5	1	3	0
アートのなぞなぞ	31	2	1	19	14	0	8	6	4	11	5	3	3	0	0
全体	97	6	3	45	36	2	28	31	10	32	24	14	6	5	3

単位：件

< A 感想 >

【1 今回の展覧会】

内容	性別	年齢
戦国！井伊直虎から直政へ		
思ったよりおもしろかった。	女性	12歳以下
楽しかった。	男性	12歳以下
すごく良かったです！	男性	13～19歳
すてきな作品が沢山あり、説明も分かりやすかったです。	女性	13～19歳
良かったです。	女性	13～19歳
とても面白かったです。ありがとうございました。	男性	13～19歳
展示物も思っていたよりあって見応えありました。	女性	20歳代
今川徳川ゆかりの地で井伊家の勉強ができて良かったです。ありがとうございました。	男性	30歳代
井伊直虎の資料が少ないから仕方ないが、武田・今川・徳川（四天王）が多い印象。小林薫さんのガイドは良かった。	女性	30歳代
ドラマをみていたので、とても興味深かったです。	女性	30歳代
静岡に住んでいて歴史を知る素晴らしい機会でした。	女性	30歳代
今川家関係の資料が多く出品されていたのが良かったと思います。静岡開催ならではのね。	女性	30歳代
井伊家に関する展示は見応えがあり良かった。	女性	40歳代
歴史に関心があるので今回の展覧会はとても興味深かったです。	女性	40歳代
大河ドラマとちょうどやっているところが合っていて、あわせて見られて良かった。これからドラマが楽しみになるので良かった。	女性	40歳代

内容	性別	年齢
周辺から掘り下げていく内容が興味深く楽しめました。展示順も見やすかったです。	女性	40 歳代
ボリュームがあって結構中身の濃い展示でした。貴重な資料もたくさん見ることができました。	女性	40 歳代
今川氏に関する史料がありましたら、詳しく知りたい。	男性	40 歳代
最終日に近かったので混んでいました。子どもは途中で飽きてしまったようです。	女性	40 歳代
今川氏真は大河ドラマではキレる殿様になっているが、義元亡き後冷静に行動していたことがわかりました。	男性	50 歳代
直虎の事が少なかった様に思います。	男性	50 歳代
テーマに沿った展示が素晴らしく、展示品が多く楽しむことができました。	男性	50 歳代
思ったよりたくさんあって良かったです。いろいろな所から集められていて興味深く拝見しました。	女性	50 歳代
大河ドラマ以上に詳しく歴史的事実がわかりました。	男性	50 歳代
井伊直虎の事がわかり良かったです。	女性	50 歳代
著色紙本本多忠勝像を丁寧に飾っていただきありがとうございます。大多喜城分館職員より。	男性	60 歳代
お話が多く、今日はフリートークデイだったのかしら。見て楽しむ企画なので仕方ないかな。テレビの話も多かったから。	女性	60 歳代
大河ドラマを毎週見ているので興味が有り来ました。	女性	60 歳代
テレビで大河ドラマを欠かさず見ている。龍潭寺にも見学に行ったりした。	女性	60 歳代
テレビドラマが楽しくなりそうです。	女性	60 歳代
とても良かったです。	男性	60 歳代
人気で混雑は仕方ないし、期間も巡回だからそんなものしかないだろう。	男性	60 歳代
資料が沢山保存されていた事を感じました。	女性	70 歳以上
良かった。	男性	70 歳以上
NHK で放映中の内容がよくわかりました。	男性	70 歳以上
大変面白かった。よく調べてあり楽しかった。	女性	70 歳以上
非常に良かった。	男性	70 歳以上
美しき庭園画の世界		
素晴らしかったです。	男性	20 歳代
ロダン館癒されました。庭園画は大名庭園と文人の庭園と、鑑賞を目的としてそうなものと、記録を目的としてそうなものと、とても幅広い作品が「庭園」という切口で眺められることに興味がわきました。17 時 30 分まで開園していただき有難いです。監視員さんのご対応もとても親切で助かりました。	女性	20 歳代
庭園というテーマで、庭園画についての理解が深まりました。ただ、美術に興味がありません友人にこの展覧会を勧めたいかと言われると、ちょっと微妙です。ちょっと地味。音声ガイドがあるとさらに理解がしやすかったです。	女性	30 歳代
「庭園画」というのがわかりづらく、少しイメージと違った。	女性	30 歳代

内容	性別	年齢
作品の良さよりも、「これだけの作品を集められた私はスゴイ」というメッセージが前面に出ている感じのする展覧会でした。すごいですね。	女性	30 歳代
勝手なイメージで日本のものを想像していたら、中国のもののがかなり多かった。それはそれで悪くないが、日本を題材としたものを期待していた。	男性	30 歳代
興味のあるテーマだったので大変勉強になりました。	男性	40 歳代
富士山がたくさんあり良かった。久能山と駿河湾の所にも気付くことができました。	女性	40 歳代
庭園ということで見に来たが、実際には風景描写なども多くポイントがしばられていない気がした。	男性	40 歳代
落ち着いた展示をゆったりと見ることができました。	男性	50 歳代
これほど素晴らしい作品を各方面からとりよせることができたのは奇跡的と言えます。企画担当のスタッフの方、ありがとうございました。	男性	50 歳代
たいへん見事な展覧会であり、御礼申し上げます。御苦労も多かったことと推察いたします。図録も充実しており、学芸員様の解説も専門的ながらわかりやすく学ばせていただきました。	男性	50 歳代
これからますます風景画を楽しみたいです。	男性	50 歳代
作品が多くて疲れました。楽しかったです。	女性	50 歳代
独自の企画と思う。とても楽しみにしてきた。少し難しかったが、興味深かった。今後も期待する。	女性	50 歳代
池大雅が良かった。	男性	50 歳代
よく集めて展示できたと感じました。すばらしい企画展です。	男性	60 歳代
庭園画という独特のイメージを持っていたが、山水画に近いという印象を受けた。	男性	60 歳代
大変充実していて驚きました。	男性	60 歳代
池大雅の大きな屏風絵がすごかったです。良い物を所蔵しているのですね。美術館の外も大好きです。良く散歩に来ます。またすてきな美術展を催して下さい。期待しています。	女性	60 歳代
江戸絵画、狩野派に少し興味を持ちはじめました。誰の絵だとすぐわかればいいのですが難しいです。	女性	60 歳代
庭園について、現状、地理案内などあると訪ねてみたい。	女性	60 歳代
内容は満足できるのですが、周りの方の話声が気になりました。	女性	60 歳代
庭園画の世界、大変面白かった。戸山荘や浴恩園の図を東京からわざわざ静岡まで見に来るなんて。巡回展を是非東京にも。	女性	60 歳代
今回の企画は良いと思います。	女性	60 歳代
良かったです。	女性	70 歳以上
美術館の入館料が安く、草薙駅からのバス代も安い。友人が日本刺繍をやっていて興味があり、12月10日で終了ということで来館してよかった。庭園画の世界は中国や日本の昔の庭園に大いに興味がわき、刺繍展共々帰宅して図書館で拝見して学びます。おかげで元気になりました。ありがとう。	女性	70 歳以上
満足しています。	男性	70 歳以上
原在正の絵がまた見られて良かった。とても惹かれる。	女性	70 歳以上

内容	性別	年齢
アートのなぞなぞ		
人間と食事をまぜる動画がこわい。	男性	12歳以下
これからやってみたい。	男性	12歳以下
内容もおもしろいし、展示の仕方もとても工夫されていて、ドキドキしながら見ることができました。とっても楽しかったです。	女性	20歳代
展覧会が充実していてとても楽しかったです。	女性	20歳代
twitter で見て来ました。良かったです。	女性	20歳代
この展覧会の為に三重から来ました。現代アートが正しく理解され、多くの人に広められていると感じた。しかし日曜というのに、来客数が少ないようでちょっと心配。	女性	20歳代
本展覧会は素晴らしく本日で2回目です。企画に感謝します。	女性	30歳代
現代アートが多く見られてすごく楽しかった。	女性	30歳代
とても楽しかったです。	女性	30歳代
もともと疎く先入観も無い私が、一見して脈絡を探るかの様な展示に没頭できました。	男性	40歳代
ざっと見て、「これも芸術？」となった作品も含まれていましたが、今やそれも芸術なんだとなりつつあります。それが良いのか悪いのかは別として。	男性	40歳代
今回の個人コレクション展と収蔵品の組合せは大変おもしろかったです。収蔵品の良い物がたくさん見られて、今後収蔵品展の時にぜひ再度見たいです。五姓田義松など。組み合わせの流れもとても興味深い。	女性	40歳代
女性の裸姿が数多くあり、子どもに「なぜ？」と聞かれても上手に答えられなかった。	女性	40歳代
精神科医が選ぶ基準が独特なことがよくわかりました。久しぶりに奈良美智さんの絵に出会えたのがとても嬉しかったです。こちらで奈良美智さんの絵をもっとみたいです。	女性	40歳代
いろいろな作品を一度に見られて楽しかったです。	女性	40歳代
とても満足のいく展覧会でした。すばらしい企画でした。	男性	40歳代
映像や作品によっては幼い子どもが？と感じる生々しいものがあった。	女性	40歳代
今回の企画展、大変面白かったです。県美の富士展示も大好きです。	女性	50歳代
今回とても良い企画展で、静岡に来たついでに足を伸ばしました。私は東京から来ました、名古屋の友人も来ると言っていました。	女性	50歳代
伊藤若冲のインスタレーションがすばらしい。	男性	50歳代
初日一番で入場しました。後期展示作品があることを知り、2回目の入場となりました。高橋氏のトークショーに参加して、さらに興味をおぼえたので、来て良かったです。	男性	50歳代
自分が普段見ないような現代アートが見られて良かった。	女性	50歳代
新旧どちらの作品も展示されていて、幅広い年齢の方々に興味がわく美術展になっていると感じました。	女性	50歳代
とてもおもしろかった。	女性	50歳代
チームラボさんのは楽しかったです。	女性	50歳代
なかなかおもしろかった。	女性	70歳以上
アートなぞなぞ、僕の思考がなぞなぞになる。	男性	70歳以上

内容	性別	年齢
今回の展示は最高におもしろく楽しく見ることができました。現代アートの広がり個性の可能性の広がりを感じ楽しくなりました。何回も何回も県美に来ていますが、今回の企画は大変おもしろかったです。作品のバリエーションの広がりも楽しかったことの一つです。時代の縦、横の展示も良かった。	女性	70歳以上
もっと早く来れば良かった。	男性	70歳以上
今回の企画も素晴らしく現代アートを身近に感じることができて、とても楽しませていただきました。	女性	70歳以上
現代とそれ以外の物との対比が良かった。多くの現代作家の作品が見られて良かった。	女性	70歳以上

【2 企画全般】

内容	性別	年齢
戦国！井伊直虎から直政へ		
また来年来ます！	女性	13～19歳
いつも楽しい展覧会をありがとうございます。また来ます。	女性	20歳代
また後日ロダン館の展示会を見たいと思います。	男性	40歳代
なかなか良い美術館だと思いました。機会がありましたら、またぜひ来館してみたいと思います。	男性	40歳代
興味があれば又来たいので、期待します。	女性	50歳代
ロダンがとても良かったです。	女性	50歳代
最近あまり来る機会が少ない。印象派の絵画などの展覧会があれば来たいです。	女性	60歳代
いつもいつも楽しくみさせていただいています。	女性	60歳代
美しき庭園画の世界		
地獄の門が大迫力だった。	女性	13～19歳
素晴らしかったです。もっと歴史の展示会が増えるとうれしいです。	女性	13～19歳
ロダン楽しかった。	女性	13～19歳
とても面白かったです。勉強になりました。	女性	20歳代
優れた庭園のうち現存するものが少ないのは残念ですが、是非実際の庭園にも行ってみたいと思いました。狩猟や鷹狩と庭園の関係についてもっと知りたいと思いました。	女性	20歳代
フロアレクチャーに参加できる時はしています。毎回作品の見所がよく分かるだけでなく、作品がとても身近に感じられて本当に楽しいです。ありがとうございます！	女性	30歳代
毎年風景画の展覧会を楽しみにしています。静かで見やすいです。	女性	40歳代
この美術館のテーマとしている問5のような展示と時々やるデザインや変わった企画の差がおもしろいと思う。昔より好きです。	女性	40歳代
企画展楽しみにしています。前は川村清雄展に来ました。	男性	40歳代
子どもが楽しめる工夫をしてくれているので、企画展にも足を運びやすいと思います。	男性	40歳代
日本の風景画はあまり好きではない。ゴッホなどの洋画に比べ退屈してしまう。	女性	60歳代
すばらしい美術館だと思います。ブランクーシの作品に会えたのも嬉しいです。	女性	60歳代
平日に来たらよりわかる企画があれば。	女性	60歳代

内容	性別	年齢
県立美術館の展示、ちょっと市立に最近負けているかも。	男性	60歳代
ロダン館がこんなに近くにあることを知りませんでした。また来たいですね。とても満足でした。	男性	70歳以上
特に従来通りで良い。	男性	70歳以上
何をやっているのか、注意してはいるのですが、時々忘れてしまいます。	女性	70歳以上
ロダン館は素晴らしい。	女性	70歳以上
アートのなぞなぞ		
考える人や地獄の門の迫力がすごくあって、一番印象に残った。	男性	12歳以下
VRをやりたいかった。雰囲気がよく楽しくみれた。	女性	13～19歳
イベントやVRなどの体験型の展示があって面白かった。また、作品も興味深いものが多かった。	女性	13～19歳
VRとカレーの市民が良かった。	男性	20歳代
ロダン館おもしろかったです。VR楽しかったです。	女性	20歳代
展覧会は毎回チェックしています。日本画、浮世絵に興味あります。	女性	20歳代
草間展や小谷展等に続き現代アート展を巡回してくださったり、企画してくださると、とても嬉しいです。	女性	20歳代
県内にロダンの作品があるとは思ってもおらず、又本館、ロダン館共に想像以上の規模であったので充実した気分です。	男性	20歳代
アプリがおもしろい取組みですね。	女性	30歳代
これからも素敵な作品お待ちしております。	女性	30歳代
ロダン館のVRが面白かったです。今回の展覧会も所々良かったのですが、あまり理解できなかった作品もありました。	男性	30歳代
また来たいと思います。	男性	40歳代
豪華な高橋コレクションでアートははじめができて良かったです。以前もされていたと思いますが、自館の収蔵作品をミックスしての展示好きです。自由に観て良いんだなあと安心します。	女性	40歳代
エジプト展また来たいです。今回は軽い感じの展示会で面白かったです。奈良美智さん、チームラボ良かったです。	女性	40歳代
ロダンウィーク等、毎年楽しみにしている企画がある反面、少しマニアックすぎるものもあり、レストランが変わってしまったのと、今日やっていないことはとても残念。	女性	50歳代
学芸員の方の解説を聞かせて頂きました。とても分かりやすく作品の理解が深まりました。ありがとうございました。	男性	50歳代
特にありませんが、機会があったら春先とか夏頃にまた来てみたいです。	男性	50歳代
今回のような自館のコレクションと他の作品を合わせたもの、キュレーターさんの企画を打ち出したものが好きです。これからも楽しみにしています。	女性	50歳代
いつも見させて頂き感謝！	女性	60歳代

【3 展示方法】

内容	性別	年齢
戦国！井伊直虎から直政へ		
展示品、音声ガイドを通して歴史への理解度が深まった。ただ一つ残念だったのは、所々展示ブース内の照明が明滅してチカチカしていた点。琴のあたりなど3ヶ所。	女性	20歳代
展示品の順番や配置がよく考えられているなどと思いました。富士八景図を分けて出されているようなので、8枚すべてを見てみたいです。とても満足できました。ありがとうございます。	女性	20歳代
展示が分かりやすく解説してあって良かったです。見やすい。	女性	20歳代
照明の都合もあると思うのですが、檜が暗くてよく見えなかったのが少し残念。	女性	40歳代
書物の訳がとても分かりやすかった。	男性	40歳代
展示品の説明文に、例えば「直政＝菅田まさき」等、大河の役者名を入れるとわかりやすい。	男性	40歳代
後期は番号があまりにもとぶので右往左往してしまった。	女性	40歳代
書の口語訳がわかりやすかった。とても良かった。帰りのバスの時刻表があると助かる。	女性	40歳代
書状など現代訳が添付されているのが大変良く楽しめました。他の展覧会などに行っても何かが書いてあるか全く分からない事が多いので。	男性	50歳代
広々としたスペースの中で大変見やすかった。	女性	50歳代
古文書に釈文がありよく理解できた。	男性	70歳以上
私の目が悪いのか、少々会場が暗くて目が疲れました。	女性	70歳以上
美しき庭園画の世界		
巻など細かい描写のものが遠いのと暗いのであまり見やすくなかった。1個所良い位置と思ったのは腰下くらいのところガラスのすぐ手前の作品。	女性	20歳代
作品はとても良かったです。当時の時代背景がよく伝わってきたけれど、作品が下の方にあるものが多く、首が痛くなってきたし説明も読みづらかったです。	女性	40歳代
作品がガラス張りの中にあるのが多いので、子どもを連れてきても手を触れにくくしてくれてあるので安心して見学ができます。	女性	40歳代
一眼鏡を使用して見たが、館内が暗いのと拡大があまり有効でなく肉眼の方がよく見えた。	男性	50歳代
文字情報はそれほど多くなくて充分です。	男性	50歳代
進行方向の矢印があると見やすいのですが、少しあったので良かった。	女性	70歳以上
絵は右から左へ見るのに、一室だけ左から右へとなっていたので見直した。	女性	70歳以上
すっきりした順路でゆったりとした気分で見られました。いつも思いますが、天井裏のゴーンという音は気になります。	女性	70歳以上
アートのなぞなぞ		
近くで見られる物が多く、たま立体の展示は裏側から見る事ができてとても楽しめました。	女性	20歳代
特別展で大観の横に村上隆があったり、配置の意外が面白かった。	男性	30歳代
本が各所にあり、娘と共に楽しめました。	女性	30歳代
所蔵品との対比がすばらしかった。	男性	40歳代

内容	性別	年齢
現代美術とそれの元になった過去の作品をならべて鑑賞できるのがとてもわかりやすく楽しかった。	女性	40 歳代
観覧の経路が明確でスムーズにまわられた。	女性	40 歳代
展示に所蔵作品と対比させる工夫等があつて面白かった。	男性	50 歳代
現代アートばかりだと目がくらくらしてしまうところに、古い作品が間に展示されていて、非常に気分良く観覧できました。	女性	50 歳代

【4 施設・環境】

内容	性別	年齢
戦国！井伊直虎から直政へ		
静かに見られて良かったです。	女性	13～19 歳
きれいな美術館で、来て良かったです。	女性	40 歳代
落ち着いた環境で鑑賞することができました。	男性	40 歳代
とても気持ち良く観ることができました。建物もすばらしいです。所々空調があつく感じる所もところもありました。	女性	50 歳代
プロムナード、ロダンの静かな雰囲気が大好きです。	男性	50 歳代
ナビで来られたから良かったけれど、少し分かりにくかったです。	女性	50 歳代
広くてきれいでした。	女性	60 歳代
80 歳を過ぎた現在、電車の駅から美術館入口にやっとたどり着いた感を味わいましたが、森を通り抜ける風が心地良かったです。	女性	70 歳以上
駅でのポスターが目に入らなかったのが美術館がよくわからなかった。すばらしく良かったです。	女性	70 歳以上
美しき庭園画の世界		
本日は開館 10 時に入りました。土曜ですが人も少なめで落ち着いて鑑賞することができました。素晴らしいので、もう少しアクセスしやすくなると良いのになと常々思っています。	女性	20 歳代
小さな子どもを連れての来館で大丈夫かなと少し心配しましたが、リーフレットを頂けて、安心して観覧することができました。	女性	30 歳代
レストランの食事が美味しくて豊かな気持ちになれました。	女性	30 歳代
建物や駐車場から建物までの通路も良かった。	女性	50 歳代
初めて自分で運転して来ました。まちがって車いす駐車場の道へ入ってしまいました。	女性	50 歳代
車利用時の線路横断はきつい。	男性	50 歳代
久しぶりで来館。環境の良さを改めて感じました。	男性	60 歳代
樹木に囲まれ広々と豊かな環境の施設はとても気持ちが良いです。興味深い展覧会が開かれれば再び訪ねるつもりです。	女性	60 歳代
静岡県の美術館としてずっと続いて欲しいと思います。	女性	60 歳代
アクセスが悪いのが残念でした。	女性	70 歳以上
展示物も好きですが、車が置いて外の庭園も楽しめてウォーキングなどを楽しめる。	女性	70 歳以上

内容	性別	年齢
立地条件がとても良い所で満足です。静岡に住んでいるので近くにこんなに良い美術館があつて有難いです。	女性	70歳以上
アートのなぞなぞ		
大好きな場所です。これからも来ます。	女性	13～19歳
アクセスが少し悪いように感じます。気軽に来にくい雰囲気があるかもしれません。	女性	20歳代
とても居心地が良く、ゆっくりできました。遠方のためなかなか来られませんが、また静岡に来た際には寄りしたいと思います。	女性	20歳代
展示室がもっと広いと良いなと思った。	男性	20歳代
静かで見やすいです。また来たいと思います。	男性	30歳代
里帰りの機会に久しぶりに来館しました。居心地良くよかったです。	女性	40歳代
ゆっくり観られて、託児がとても助かります。これからも続けていってください。	女性	40歳代
第2パーキングから美術館へのアプローチの道が良い。	男性	40歳代
プロムナードが気に入っています。	女性	50歳代
ゆっくり観賞できて良い。	女性	70歳以上
清潔で静かで良かった。	男性	70歳以上

【5 運営・スタッフ】

内容	性別	年齢
美術館に行こう！		
直虎展の中にいた若い女性の研修中の職員の方が一生懸命仕事をしていた。	男性	30歳代
70歳以上なのに入館料金を普通料金にされ、指摘後、戻していただいた。若く見てくれたのかしら、ありがとう。	女性	70歳以上
美しき庭園画の世界		
スタッフの方もとても親切で好感が持てました。	女性	50歳代
アートのなぞなぞ		
学生が無料でうれしい。	女性	12歳以下
スタンプカードがいっぱいになったので、招待券で入場させていただきました。ありがとうございました。	女性	40歳代
岐阜からは遠いので、年に1回か2回しか来られません。情報が岐阜ではほとんど入手できないのが悩みです。インターネットも使えませんので。	男性	70歳以上

<B 要望>

【1 今回の展覧会】

内容	性別	年齢
戦国！井伊直虎から直政へ		
直虎展の説明図があればもっと理解度が深まったと思う。	男性	50 歳代
上野国のことが全くなかったので残念。直政関係の場所も高崎の場所も展示してほしいです。焼津の直孝の井戸も。	女性	50 歳代
NHK の人気とリンクしての展覧会は良かったです。楽しめる企画をこれからもお願いしたいです。	女性	60 歳代
美しき庭園画の世界		
狩野永納の作品のような庭園画の完成した大きめの作品をもう少し観たかった気がしました。	男性	50 歳代
アートのなぞなぞ		
泉さんの彫刻と写真を撮りたかった。	男性	20 歳代
県美からの出展のセレクションは概ね妥当なので、それはいいのですが、高橋コレクションの点数をもっとみたかった。	男性	50 歳代

【2 企画全般】

内容	性別	年齢
戦国！井伊直虎から直政へ		
刀剣関係のものもやってほしい。	女性	20 歳代
県外からも来たいと思うような展覧会を増やして下さい。	男性	30 歳代
ロダン関連のイベント、印象派の展覧会があると良いですね。	女性	30 歳代
大塚美術館みたいな企画をしてほしい。	男性	40 歳代
ロダンもすばらしいものがあるので、神曲ってどんなものか SPAC で解説してくれると嬉しい。「考える人」もそのエピソードをほとんど知らない。	男性	40 歳代
大河ドラマを見ていたので興味があって来た。見て良かったです。また大河ドラマに関する展示をやってほしい。	女性	40 歳代
佐野美術館で開催された兜・日本刀展をやってもらいたい。	女性	50 歳代
義元左門字の帰郷を期待しています。	男性	50 歳代
土偶とか昔の企画を。近代美術はつまらない。	男性	50 歳代
静岡県の中世から近代の歴史を定期的にやって下さい。	男性	60 歳代
国宝東文展。	男性	70 歳以上
美しき庭園画の世界		
楽しかったです。また違うテーマで江戸絵画の展示が見たいです。	女性	13～19 歳
狩野派や池大雅の展覧会をしてほしい。	女性	20 歳代
もう少しメジャーな作品も展示してほしい。	女性	40 歳代
独自性ある魅力ある企画を望みます。	女性	40 歳代
ゆったり拝見できるので気に入っています。風景画が好きなので、また企画をお願いします。	女性	50 歳代

内容	性別	年齢
独自のポイントの展覧会が開かれていて面白いと思うが、東京でやっている様々な展覧会も巡回してくるといいなとも思う。	男性	50 歳代
バーチャルリアリティ展をやってほしい。	男性	50 歳代
日本人画家、ヨロズや片岡珠子など個性的な作家を展示する企画をして欲しい。	男性	50 歳代
もう一度見たい所蔵品のリクエストとか、とってもらえるのですか。	女性	60 歳代
近代、現代の埋もれている優れた画家たちを掘り起こしていただきたい。	男性	60 歳代
もっと西洋の美術品を展示して欲しい。	男性	70 歳以上
アートのなぞなぞ		
今回の企画展や去年の「ニッポンの立体」展のような現代アートや主体芸術が観られる企画展が好きなので、帰省と重なるゴールデンウィークや年末年始の時期に、またそのような展覧会を開いていただけると嬉しいです。	男性	20 歳代
西洋絵画展や、一人の人物の作品を集めた展覧会をして欲しい。以前の石田徹也展がとても良かった。	女性	20 歳代
また小谷元彦展が見たいです。フォントリムが見たかったので大満足です。	女性	20 歳代
現代アートが好きなので、またこういう展示をみたいです。	女性	30 歳代
現代アートの作品展示は基本的に撮影 OK にしてほしいです。企画展はおもしろかったので、インスタ等気にするなら、もっと撮影を重視してもいいかと。	女性	30 歳代
予算の問題があると思うが、ここ数年さみしい感じがする。思い切った企画展をしてほしい。	男性	40 歳代
楽しくワクワクするような展覧会をやってほしいです。	女性	40 歳代
有名な画家の展示が欲しいと思います。	男性	50 歳代
当美術館では、コレクションの柱となっている風景画を鑑賞することが多いのですが、風景画ばかりだとあきてしまうので、人物画など、他のテーマでもいろいろ企画してほしいです。	男性	50 歳代
学芸員の解説付きで観覧イベントをやってほしい。	女性	50 歳代
明るいポップな現代アートの作品を展示して欲しい。	男性	50 歳代
中央でやる展示の巡回展をやってほしい。	女性	60 歳代
東京での展覧会を当館でもっとやってほしい。	男性	60 歳代
草間弥生の水上の蜚を常設で見たい。	男性	60 歳代

【3 展示方法】

内容	性別	年齢
戦国！井伊直虎から直政へ		
地獄の門がある部屋のクイズの機械を増やしてほしい。	女性	12 歳以下
裏や下が見えるよう鏡を設置してくれているのはとても見やすいですが、下が見える様に設置している方は覗き込もうとしてガラスにぶつかっている人が多かったので、斜めにしてくれると良いと思います。	女性	20 歳代
文書の読み下し文がある物と無い物がありました。全てに付けて下さると良かったのと思いました。	女性	40 歳代

内容	性別	年齢
出口が下にあると思ったら結局上に登ってこなくてはならなかったので、もっと手前に出口とわかるようにしたらどうか。ロダンの所の監視の女性の感じがすごいですね。	女性	40 歳代
説明パネルの文字を大きくして欲しいです。小さい為目の前に来ないと読めないなので、そこで場所を取り、混雑が起っています。	女性	40 歳代
解説をもっと上の位置に貼ると、後ろからでも見られるので混雑が少なくなる。特に入口付近だけでもそうしてはいかがでしょう？	女性	50 歳代
家系図や年表が展示の最初と中くらいにあると説明がわかりやすい。	女性	60 歳代
直虎の年表を先に下さると良かったです。	女性	60 歳代
展覧会自体にせつかなのでテレビの直虎達も一緒に少し展示してほしかった。	女性	60 歳代
暗い。説明の字ももう少し大きく見やすくして下さい。	女性	60 歳代
劣化防止の為照明が暗いのは理解するが、説明文をもっと大きく展示してほしい。	男性	70 歳以上
この展覧会は予想以上に充実した内容で観覧は実りあるものになりました。米国ボストン美術館の日本文化と武具の展示に、馬上の戦いや進軍仕立てでダイナミックな展示の動態も参考にしてほしい。	男性	70 歳以上
美しき庭園画の世界		
解説が難しい。もう少し簡単な表現にしてほしい。	男性	40 歳代
ガラスの枠が作品の邪魔になっているものが幾つかありました。構造上難しいかもしれませんが、大きい作品は枠なしで見かけたです。展示に工夫してほしいです。	女性	50 歳代
なんだか卒業論文や修了論文のような展覧会でした。難しいカタカナ表記がありわかりづらい。もっと日本語の説明でお願いしたい。パネル作品解説に文字が多すぎる。純粹に作品を楽しめない。	女性	50 歳代
椅子の正面に大きな展示物を置いてほしい。座ってゆっくり見たい。	女性	50 歳代
いつも展示の説明書きが難しいので、もう少し判りやすくして頂きたいです。例えば島田博物館のように。	女性	60 歳代
展示の説明書きの字をもう少し大きくして欲しいです。	男性	60 歳代
できればキャプションの文字をゴシック体にして下地を青とし、白抜き文字にして下さい。	男性	60 歳代
展示品に描かれている古くて薄くなっている字が見えやすく展示されていると楽しめた。	女性	60 歳代
説明文がこちらの目線で書かれているか。例えば NO. 49。	男性	60 歳代
照明を絵の方に向けて見やすくすることはできないか。	男性	60 歳代
巻物の展示がみんな中途半端で消化不良。一巻ぐらい全部広げて下さい。	女性	70 歳以上
画の中の文字、嵐山、比叡山等表示して頂ければ。	男性	70 歳以上
自身の視力の故もあるが、今少し照明と一部分でいいから拡大して欲しい。そして線の美しい草花の庭園線の美しさに欠ける展覧会と思った。	女性	70 歳以上
アートのなぞなぞ		
ロダン館の展示場所がわかりにくかった。もっとわかるように表示してほしい。	男性	40 歳代
展示横に作家情報や説明書きをもう少し充実させていただけると、より良かったと思います。	男性	40 歳代
地獄の門の前にソファがあったらもっとゆっくり見れると思います。	女性	40 歳代

内容	性別	年齢
高橋コレクションは現代美術が主になっているが、あまり知られていない作家も多かったので、作家についての説明文があると良い。	男性	50 歳代
現代アートと伝統的な作品が同時に展示されていて興味深かったのですが、展示や解説に工夫が必要だと思いました。ライトの当たり方、作品の位置によって見え難いものもありました。	女性	50 歳代
展示作品すべてに説明書きがあるとありがたいです。	男性	60 歳代

【4 施設・環境】

内容	性別	年齢
戦国！井伊直虎から直政へ		
自転車をとめる場所が下からだとわからなくてずいぶん探した。下に看板がほしいです。	女性	13～19 歳
静岡市美術館と間違えている方がよくいるので、表記は目立つようにした方が良いかと思えます。	女性	30 歳代
開館時間を 9 時 30 分に早めてほしい。開期中のイベントなどの時は駐車場を早めに開けてほしい。	男性	30 歳代
照明がチカチカしている所もあり見づらいので改善して下さい。	男性	40 歳代
今回駐車場で空きを探すのに苦労したので、もう少し駐車場があると良いなと思いました。	女性	40 歳代
終了時間は 18 時としてほしい。	男性	40 歳代
JR 静岡駅からのバスの本数をもっとあつたら良いのと思いました。	女性	50 歳代
草薙駅からの案内図があれば、皆様迷わずに来館されると思います。	女性	50 歳代
草薙駅からの案内図をもっとあればわかりやすいです。	女性	50 歳代
開館時間を 9 時あるいは 9 時半に早めてもらいたい。	男性	50 歳代
展示品について質問しても答えが得られないことが多いので、館内でフリーWiFi が使えるようにしてほしい。	男性	50 歳代
土日祝日だけでも、JR 駅からもっとバスがあると良い。	女性	50 歳代
駐車場に係員がいていただくと有難いと思います。	男性	50 歳代
少し照明を明るくしてほしい。	男性	60 歳代
イベント間だけでも月曜もやってほしかった。	女性	60 歳代
美しき庭園画の世界		
美術館に一番近い駐車場がわかりづらかったので大きく表示してあると嬉しいです。	女性	20 歳代
展示室が作品保存のため暗いので、どこかに明るい場所で休める場所があるとリフレッシュして鑑賞に集中し直せるのではと思った。照明のちらつきが少し気になった。	女性	40 歳代
バスの本数を増やしてほしい。	女性	60 歳代
内容について質問がある時はどなたが対応して下さいのでしょうか。	女性	70 歳以上
アートのなぞなぞ		
駐輪場をもっとわかりやすくしてほしい。	男性	13～19 歳
動く歩道が欲しい。	男性	20 歳代
売店をもっと広いとうれしい。	男性	20 歳代

内容	性別	年齢
広々していて周りの公園も含め快適でした。展示も見やすかった。ロダン体操をもっと目立つ所においてほしい。	女性	40歳代
照明は改善の余地があると思います。	男性	50歳代

【5 運営・スタッフ】

内容	性別	年齢
戦国！井伊直虎から直政へ		
多少ならいいと思うのですが、ずっとしゃべっている人の声が気になり、少し気が散りました。美術館の方がちょっと声をかけてくれると良いと思いました。	女性	40歳代
グループで来て観覧しおしゃべりしている女性たちへ注意してもらいたかった。気が散って仕方なかった。	女性	50歳代
美しき庭園画の世界		
夜間開放日を増やして頂けるとより来やすいです。	女性	30歳代
展示替えの情報をホームページに載せる際は、わかりやすいようにお願いします。	男性	40歳代
良い。関西に住んでいるので、そちらへの情報も必要では。	女性	70歳以上

<C 苦情>

【1 今回の展覧会】

内容	性別	年齢
戦国！井伊直虎から直政へ		
引佐の地図が横向きで見にくかった。何故縦に展示しなかったのだろう。	女性	50 歳代
何人かで見ている人は大声がとても気になります。回りの人に説明しながら歩いている人がいるが、注意したいと思った。	女性	60 歳代
アートのなぞなぞ		
撮影可能エリアで、動画で撮っていないのに注意されました。	女性	50 歳代

【2 企画全般】

内容	性別	年齢
戦国！井伊直虎から直政へ		
目新しい事を発見できない。	女性	60 歳代
ものたりない。東京と比べて低い。	男性	70 歳以上

【3 展示方法】

内容	性別	年齢
戦国！井伊直虎から直政へ		
寒すぎる。	女性	12 歳以下
テレビ前の長椅子に、前列は端に各一人しか座れない。画面が近すぎて後列の人には見えづらい。	女性	50 歳代
暗い。	女性	60 歳代
ガラスに影がうつり見にくい。MOA 美術館のように後ろを黒くするなど対策を。	男性	60 歳代
美しき庭園画の世界		
字が細かくて読みづらかった。特にガラス内部のテーマを説明した文章。おばさん二人がいつもおしゃべりしていて騒々しかった。関係ない話もしていた。風景画の美しさが台無しになった。	男性	40 歳代
図巻の展示の位置が低すぎる。特に2室。館内で大きな声で話をする人、笑い声は耳障り。当館の関係者ならなおさらきちんと注意せよ。	男性	60 歳代
アートのなぞなぞ		
ロダン館内の特別展の展示場所がわかりにくい。	男性	40 歳代
日本の台所の映像の位置が低く見るのに疲れる。	男性	50 歳代
私は背が低いので、091 の作品が見えにくく背伸びをしても無理で知らず知らず線内に入ってしまった注意されました。私のミスにしても気分が悪かったです。	女性	60 歳代
壁面の展示を見ている、立入禁止の白線と交互に展示しているのは考えてほしい。	女性	60 歳代

【4 施設・環境】

内容	性別	年齢
戦国！井伊直虎から直政へ		
駐車場からが遠いです。	女性	40 歳代
ご年配の方が多いので仕方がないのかもしれないですが、話し声が大きくてうるさかったです。特に映像の部屋の前で男性 2 人組が長話をしていて、しかも展覧会と関係のない話をしていたのに全く注意する気配がなくて、せっかく静かに鑑賞したくて来館したのに残念でした。	女性	40 歳代
館内にレストラン以外の食事する所が少ない。	女性	50 歳代
空調がききすぎ。咳が出る。	男性	50 歳代
駐車場が空いているかどうかははっきりしなかった。	女性	50 歳代
自転車置き場がわかりにくい。入館まで階段が多い。	女性	50 歳代
美しき庭園画の世界		
暖房が暑いかな。	男性	20 歳代
見学者の私語が多く、声も大きいのが気になりました。	男性	50 歳代
後半展示室空調の音でしょうか。異様に大きくて不気味で嫌でした。	女性	60 歳代
いつもは JR とバスで来ます。土日のバスの便が悪いです。	女性	70 歳以上
交通不便。駅から遠すぎる。バスの便は悪い。	男性	70 歳以上
アートのなぞなぞ		
131 の音が大きすぎて、「なぞらえ」の展示を見ている間不快だった。	女性	20 歳代
駅から遠く、展示にたどりつくまでが不便。	女性	20 歳代
JR 静岡駅よりアクセスが悪いです。	女性	50 歳代

【5 運営・スタッフ】

内容	性別	年齢
戦国！井伊直虎から直政へ		
右耳につけると言ったのに、L と書かれた音声ガイドを渡された。	女性	40 歳代
音声ガイド貸し出しのスタッフの愛想が悪い。説明が人によって違う。	女性	40 歳代
入場券の発券所を多くすること。お釣りの間違いあり。	男性	70 歳以上

平成 29 年度 静岡県立美術館評価業務 報告書
平成 30 年 3 月

発行 静岡県立美術館
〒422-8002 静岡市駿河区谷田 53-2
TEL 054-263-5755

委託先 株式会社浜名湖国際頭脳センター
〒432-8003 浜松市中区和地山 3-1-7
浜松イノベーションキューブ 2 F
TEL 053-416-4000

【平成 29 年度第三者評価委員会での意見と対応状況】

〔1〕 達成目標等に対する二次評価

基本方針	意見	対応状況
A 人々の感性を豊かにし、生活に新たな感動をもたらすような展覧会を開催します。	寄贈だけでは必ずしも館が欲しい作品が入手できないため、作品購入を館の方針として前面に考えていくべきである。	今後の継続的な購入予算の確保のため、館蔵品取得基金の活用や拡充を含めた対応方法を検討していく。
	「東西の絶景」展や「美術館に行こう！」展の集客において成果を収めた手法を、他の展覧会にも活用していくべきである。	2 展覧会で好評だった点の一つであるコレクションの有効活用については、その手法や情報発信の方法について今後も館内で検討していく。
	近い将来、新聞社等と共催する文明展のような展覧会は開催が難しくなってくると思われるため、集客を考慮して2、3年先を見越した展覧会の準備をすべきである。	展覧会の企画にあたっての情報収集については、開催準備の中の早い段階から行うように努め、今後も館外との情報交換のため様々なネットワークを構築していく。
B 地域や学校教育との連携を深め、質の高い芸術教育と普及活動を展開します。	学芸員を地元企業に派遣し、新入社員教育の一環としてアートに関する講義を行うことにより、企業との連携を深めてはどうか。	地域との連携については、従来の大学や地元商店会等との連携に加え、今後も様々な可能性を探っていく。
	県庁の広報担当に協力を得ながら、商工会議所や経営者協会と接触しニーズの把握に努めれば、様々なアイデアが生まれてくるのではないか。	美術館に対するニーズについては、地元草薙地域のネットワークへの参加を中心に情報収集に努めている。連携の対象の拡大に向け、今後様々な可能性を模索していきたい。
	文化政策学科を持つ静岡文化芸術大学の学生を、普及活動の担い手として組み込んでどうか。	静岡大学、静岡県立大学との授業を通じた連携は継続して行っており、同様な連携を静岡文化芸術大学との間でも行うよう可能性を検討していく。
	展覧会の特設サイトの作成や運用を学生に任せ、大学のゼ	従来からの静岡大学生によるロダン館ギャラリートークに

	ミ等で単位認定することはできないか。	加え、若年層に教育の一環として美術館の魅力発信に取り組んでもらうよう様々な可能性を検討していく。
	孤独になりがちな留学生に声を掛け、広報活動に参加させてはどうか。	大学との連携については、対象を限定せず幅広いバックグラウンドを持つ学生を取り込めるよう可能性を模索していく。
C さらに積極的な広報を工夫し、美術館活動の情報発信に努めます	SNSの情報発信については、美術館の職員以外のボランティアや、アートマネジメントを学ぶ学生等の若い世代に依頼してはどうか。	従来からのボランティアや学生との協力関係を発展させ、ソーシャルメディア等においても館の職員と協働して美術館活動をPRしてもらうよう方法を模索していく。
	県立美術館周辺の回遊者に対して、スタンプラリーを活用するのは有効ではないか。	近隣施設やJRとの連携を強化し、共同で実施するイベントでのスタンプラリーの実施等、周辺地域の回遊性を高め、幅広い層を美術館に呼び込む取組を行っていく。
	ロダンウィークの期間中はロダン館の観覧料を無料にしてはどうか。	期間中の収蔵品展観覧者について、観覧料を減免する予定である。
	ロダン館の展示内容が変化しているということを周知すれば来館者も増えるのではないか。	ロダン館の魅力発信については、恒例のイベントとして定着しつつある「ロダンウィーク」に加え、今後も様々な形態でロダン館の情報発信を続けていく。
D 常に施設の改善に努め、美術館の快適度を高めていきます。	ただ照明をLED化するのではなく20年、30年先を考え、詳細な制御ができる機器に更新すべきである。	照明改修の設計及び施工の段階で随時専門家からの助言を受けながら、詳細な色温度や照度の調節が可能な照明機器に更新する。
	企画展展示室から収蔵品展の展示室に入る際、収蔵品展の会場に入ったということが分かりにくい。	館内の案内については、これまでの見直しの成果や課題を踏まえ、今後も、来館者に分かりやすい案内方法を取り入れていくための検討をしていく。

	<p>収蔵品展会場が限られているため、コレクションの根幹の部分がほとんど見られない。</p>	<p>コレクション展の展示室については、現在第7室のみの展示となっており、御覧いただける作品も限られている。展示スペースの構成について館内で長期的な検討をしていく。</p>
	<p>8割の来館者が自家用車を利用しているということから、駐車場を確保することは大きな問題である。</p>	<p>駐車場の確保については当館としても苦慮しており、今後も用地の確保や隣接する県有施設の活用を含め包括的な視点から検討していきたい。</p>

〔2〕 その他の意見に対する対応状況

意見	対応状況
<p>図書館の移転は美術館の将来を大きく決定するものである。美術館と設置者の間でコミュニケーションを取り、次の美術館活動が展開できるハードの確保に取り組んでほしい。</p>	<p>本年5月、県庁内の関係各課による図書館跡地活用を考える会議が立ち上げられ、文化政策課もメンバーとなっている。美術館と連携し、今後具体的な活用の方針を取りまとめ、議論に参加していく。</p>
<p>魅力発信や誘客の面において、静岡県全体を考えた取組を行政側も行うべきである。</p>	<p>従前から、観光交流局が中心となって全県的な観光キャンペーンを行ってきたところである。昨年度、平成30年度から32年度にかけJRと共同で実施するデスティネーションキャンペーン（DC）の開催地に本県が選定されたことから、文化政策課としても担当部署に対し積極的に美術館の情報提供を行い、県内全域及び県外への広報の場を確保していく。</p>
<p>29年度予算における、固定費も含めた一律2割削減のシーリングは非現実的であり、知恵を出して財政当局と交渉すべきである。</p>	<p>30年度当初予算では、施設の維持管理等に係る費用について昨年度を上回る金額を確保した。また、作品購入費についても、館蔵品取得基金を活用し1,000万円を確保した。 今後も美術館活動の継続に必要な予算については、県の財政状況を考慮しつつ所要額が確保されるよう財政当局に対し要求していく。</p>

平成 29 年度 設置者の取組状況

(1) 美術館実施事業への協力

- ・美術館企画展等の広報において、報道機関への情報提供や他県への周知等を行い協力した。
- ・県立美術館、グランシップ、SPAC の三館が連携して、今後の企画事業等を共同で実施するよう、推進役として三館の協議の場を設け、各館の年度内の事業計画等について情報交換を行った。

(29 年度開催日：5 月 29 日)

(2) 美術館の企画運営への参画及び支援

- ・月 1 回開催されている美術館企画運営会議に文化政策課長又は課長代理が出席して情報共有を図った。
- ・月 1 回程度開催される美術館の広報委員会に担当職員が出席し、「県民だより」等広報媒体の情報共有を図るほか、随時広報機会の提供を行った。

(3) 施設・設備の計画的更新

- ・経年化に伴い不具合が生じている電気、機械設備の更新を計画的に実施している。29 年度においては主なものとして下記の工事を行った。

案件名	予算額 (工事費)	備考
本館展示室内装断熱改修	80,000,000 円	(工期平成 30 年 6 月 29 日まで)
本館展示室照明設備改修	100,000,000 円	(工期平成 30 年 7 月 3 日まで)
本館空調機器改修	13,268,000 円	
その他小規模工事	5,701,000 円	管財費にて実施
計	198,969,000 円	

- ・今後予定している大規模修繕の内容について、美術館と協議して詳細の検討を行った。(30 年度も引続き協議)

(4) 中学生の美術館展覧会鑑賞の推進

中学生を対象とする芸術鑑賞事業の一環として美術館展覧会の鑑賞をコースに組み入れ、県内の全中学校に参加を呼びかけたうえ、希望する学校に対し貸切バスによる交通費を負担した。

実施日	参加状況	備考
平成 30 年 1 月 23 日	359 人 (5 校)	東部地区 1 校、中部地区 1 校、西部地区 3 校が参加
1 月 24 日	91 人 (1 校)	西部地区 1 校が参加
計	450 人 (6 校)	